

ものづくり補助事業

成果事例集

Vol.4

好機 逸すべからず

平成24年度補正ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金

平成25年度補正中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業

平成26年度補正ものづくり・商業・サービス革新補助金

平成27年度補正ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金

平成28年度補正革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金

長野県地域事務局
長野県中小企業団体中央会

発刊にあたって

「ものづくり補助金」は、リーマンショック及び東日本大震災による景気低迷に対し、民間投資を喚起することにより持続的成長を生み出す成長戦略の一つとして、平成25年3月に「平成24年度補正ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」が創設され、以来平成29年度補正に至るまで6年間継続して予算化されています。本会は、平成24年度から一貫して、ものづくり補助金事業の長野県地域事務局として全国中央会より委託を受け、事業の円滑な遂行に努めて参りました。平成24～28年度補正による長野県の採択件数は、この5年間で延べ1,481件になります。

平成29年4月からは、事業化の進捗状況等を把握するとともに、ものづくり補助金事業により導入した機械装置の確認や試作開発した商品の販路開拓、販売促進に係わる各種の支援活動を行う目的で、全国中央会より委託を受けてフォローアップ事業が始まりました。

本会は、ものづくり補助金の取り組みを周知するために、機関誌「月刊中小企業レポート」の平成25年10月号より、毎号2事例を連載しています。これらを取りまとめフォローアップ事業の一環として成果事例集「好機逸すべからず」Vol. 1～3を発刊しました。

今年度は、平成24～28年度補正ものづくり補助金の成果を内外に広く周知することを目的として、平成30年5月号から平成31年4月号までに掲載予定の24事例を再編集して、成果事例集Vol. 4を発刊致します。

これらの事例をベンチマーキングすることにより今後の経営の参考にしていただきたいと存じます。

最後に、事例集発刊にあたり趣旨をご理解いただき、取材等に快くご協力いただきました事業者の皆様に深謝申し上げます。

本事例集が、県内中小企業・小規模事業者の今後の発展に少しでもお役に立てば幸いです。

平成30年11月
長野県地域事務局
長野県中小企業団体中央会

も く じ

事 例 編..... 3

アスリートF A株式会社..... 4	デイリーフーズ株式会社..... 28
株式会社カミジョウパック..... 6	東京モートロニクス株式会社..... 30
久保田容器工業株式会社..... 8	株式会社中野屋ステンレス..... 32
有限会社小林精螺製作所..... 10	野村ユニソン株式会社..... 34
コムパックシステム株式会社..... 12	有限会社花井精機..... 36
株式会社佐々木工業..... 14	有限会社原製作所..... 38
シナノカメラ工業株式会社..... 16	株式会社ハルディン..... 40
渋江精密工業株式会社..... 18	株式会社広田製作所..... 42
昭和樹脂工業株式会社..... 20	不二越機械工業株式会社..... 44
株式会社スギムラ精工..... 22	株式会社ミツルヤ製作所..... 46
株式会社竹村製作所..... 24	有限会社ヤマイチ小椋口クロ工芸所... 48
有限会社田村製作所..... 26	株式会社ワカ製作所..... 50

資 料 編..... 52

補助事業の概要.....53
フォローアップ事業の概要.....56
平成24年度補正 ものづくり補助事業 採択事業者一覧58
平成25年度補正 ものづくり補助事業 採択事業者一覧66
平成26年度補正 ものづくり補助事業 採択事業者一覧75
平成27年度補正 ものづくり補助事業 採択事業者一覧83
平成28年度補正 ものづくり補助事業 採択事業者一覧88

The background of the page is a grayscale abstract pattern. It features a series of parallel diagonal lines that create a sense of depth and movement. Interspersed among these lines are several circles of varying sizes, some of which appear to be part of a larger, repeating geometric pattern. The overall effect is a complex, textured surface that changes as the viewer's perspective shifts.

事例編

アスリートFA株式会社

Pick Up!

平成28年度

■事業計画名

世界初 $\phi 30\mu\text{m}$ はんだボール搭載技術の開発

■概要

半導体デバイスの微細化・高集積化・高密度化は急激に進展している。この技術革新をチャンスととらえ、弊社保有の複数特許に基づき、世界で初めて、 $\phi 30\mu\text{m}$ の微小はんだボールをウエハ上に整列搭載できる技術を開発し、製造装置として提供することを目指す。

■分類

＜対象類型＞ ものづくり技術
接合・実装
機械制御
測定計測

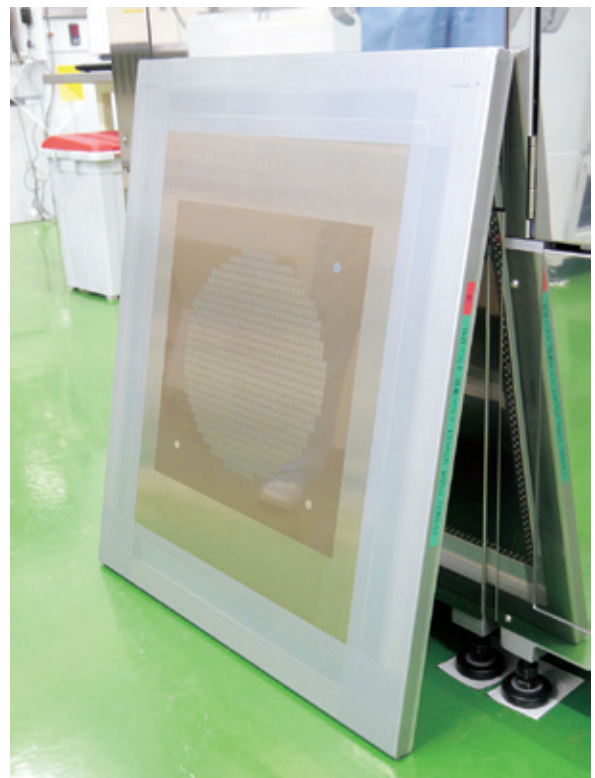
＜事業類型＞ 一般型

■成果

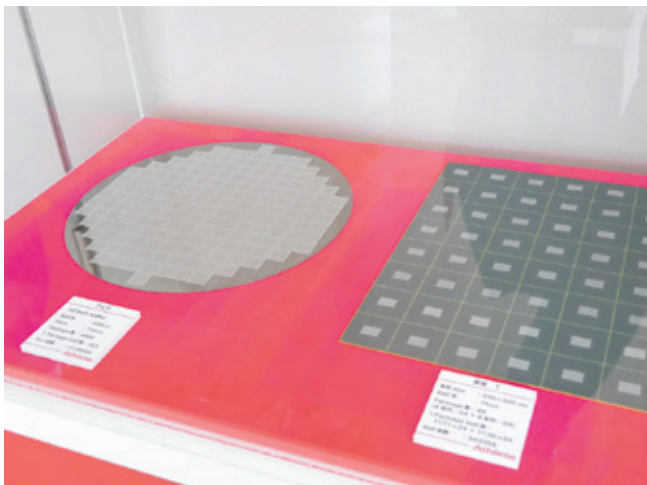
半導体デバイスの微細化・高集積化・高密度化は急激に進展している。この技術革新をチャンスととらえ、弊社保有の複数特許に基づき、世界で初めて、 $\phi 30\mu\text{m}$ の微小はんだボールをウエハ上に搭載できる技術開発に概ね目処を立てることができた。



微小はんだボール搭載機の開発により受賞



$\phi 30\mu\text{m}$ はんだボール搭載用に開発した搭載マスク



数十万～200万個前後のはんだボールが搭載された製品

平成24年度

□事業計画名

ピエゾ素子を用いた「高精度・低荷重」電子部品実装装置の試作開発

□概要

高密度電子部品の実装時の過荷重による不良発生の課題を解決するために、特殊なピエゾ素子を高速制御する技術開発を実施し、荷重0.05Nでの実装可能装置を試作することで、部品実装分野の市場獲得を目指す。

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

アスリートFA株式会社（諏訪市）

未来につながる技術を目指して。
半導体の高密度実装・組立システム開発で世界へ。

“Future Arts” の創造

「Advance（進歩）」「Accuracy（精密）」「Assembly（組立）」の3つの技術の頭文字からとった自社ブランド「アスリート」を社名にした、アスリートFA。カメラレンズ組立機を手始めに、電子部品の組立装置やセンサー、そして半導体関連の自動化装置と分野を拡大してきました。特に自動車、スマホなどの情報端末など多様な用途に高密度・高集積の半導体デバイスが使われ、その需要は大きく伸びています。



新開発はんだボール搭載機BM-1400

「創業以来、位置決め技術、荷重制御技術、接合技術、ボール搭載技術などさまざまな要素技術を蓄積。それを活かして開発した機構、仕組みなどをカスタマイズ、応用し、さまざまな先進システムを提案しています」

2018年6月、創業30周年を期して代表取締役社長に就任した山崎晋社長はそう話します。同社の理念は「“Future Arts” の創造」。強みである開発、設計、製造の社内一貫体制を活かし将来につながる技術を創る集団として、技術の蓄積とその横展開を進めています。

世界初の開発にチャレンジ

「現在、半導体実装装置や液晶関連のポッティング装置など、半導体関連の自動化システムが8～9割。特に主力装置のマイクロボールマウンターは、はんだボールをウエハーに一括で載せる技術を当社が初めて開発し、国内外8割のシェアを誇っています」



微細なプロセスを測定する測定顕微鏡

はんだボールのサイズは $\phi 100 \sim 250 \mu m$ が主流。しかし急激に進展する半導体デバイスの微細化・高密度化により、はんだボールの微細化も進んでいます。

関連特許を多数保有する同社はこの技術革新をチャンスにとらえ、平成28年度ものづくり補助金を活用。世界初の $\phi 30 \mu m$ はんだボール搭載技術の開発にチャレンジし、現在は評価中です。まさに“Future Arts”の創造の実践であり、同社の面目躍如です。



ハイスピードマイクロスコープ

新たなチャレンジに積極的にもものづくり補助金を活用している同社。山崎社長は「とても助かっている」と喜びます。そして、補助金を受けて開発に取り組むことの副次的なメリットもあると言います。

「資金的に助かるのはもちろんですが、補助金という“縛り”が開発側のモチベーションにつながる。（採択申請書類作成のために）自分たちが何をしようとしているのか文章にまとめなければいけないので考え方の整理がつくのも良い。開発の期限があるので計画的に進められるメリットもあります」



新機械振興賞受賞（微小球対応はんだボールマウンタの開発）

これからも補助金をうまく活用して新しい技術をどんどん創り出していきたい、と山崎社長は次のイノベーションを目指しています。



アスリートFA株式会社

代表 代表取締役社長 山崎 晋
創業 1988（昭和63）年9月
資本金 8,580万円 従業員数 80名
本社 諏訪市四賀2970-1



TEL.0266-53-3369 FAX.0266-58-1755

事業内容 各種高精密実装・組立システムの開発・設計・製造・販売、省力化ユニット装置の設計・製作・販売

株式会社カミジョウパック

Pick Up!

平成28年度

事業計画名

生産管理システムの再構築による材料廃棄ロス削減と業務効率化

概要

複数の分散している生産管理系システムを統合構築し、品質データと機械設定条件の統合分析機能を有する生産管理システムを構築することで、不良発生等に伴う材料廃棄ロスの50%削減や、最適化された業務フローへの刷新を実現し、コストダウンにより新たな取引先を獲得し事業拡大を目指す。

分類

＜対象類型＞ ものづくり技術
情報処理

＜事業類型＞ 一般型

成果

事業ごとに分散して稼働していた生産管理系システムの統合構築を行い、一つのシステム内で生産から購買までを管理できるようになった。機械設定条件のデータと品質データとの統合分析が可能となり、不良発生抑制等による材料廃棄ロスの削減に向けた活動が目指せる体制ができた。

リアルタイムな在庫管理や、業務フローの改善が見込まれ、効率的な業務活動の基盤を得ることができた。



平成25年度

事業計画名

真空圧空成形機の導入による、生産プロセスの強化及び品質の向上、短納期ニーズへの対応体制の確立。

概要

現在の真空成形製造において、工程間のバランスが不十分のため仕掛品の滞留があり、納期にも影響している。さらに、生産量に限界があり、品質精度が不安定である。

当該設備の導入により、工程間のバランスをとり、品質の向上及び現在より約4倍の生産性アップを図り、短納期ニーズへ対応する体制の確立を図る。

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社カミジョウパック（安曇野市）

真空成形を強みに多彩な包装ニーズに応える。
最新鋭生産管理システムの導入で働き方改革も。

真空成形容器が6割を占める

農作物などの段ボール容器の製造で創業以来、包装材の設計・製造・販売を手がけてきたカミジョウパック。地元精密機器メーカーとの取引が拡大し、段



真空成形品

ボール加工の際に出る紙埃が精密部品に付着するのを嫌う顧客の要望から、プラスチックの真空成形容器の製造へとシフトしてきました。

現在、真空成形容器が6割、プラスチック段ボールを始めとするプラスチック製品が2～3割を占め、段ボールケースは1割程度。その他、各種緩衝材、プラダン通箱、包装資材なども取り扱い、総合パッケージメーカーとして顧客のニーズに応じています。

上條宏聡社長は、同社は真空成形容器で伸びてきた、と次のように話します。

「段ボールは輸送コスト面で県外への販売は困難。品質、価格面でも他社との差別化が難しく、大手による市場の寡占化も進んでいます。それに対して真空成形容器は一箱に数百枚単位の梱包で県内外の顧客に販売できる。今後さらに伸ばしたいと思っています」

真空成形容器の主力は、生産ラインに組み込まれ、ロボットによる取り出しから出荷まで対応できる工業用トレイ。単なる入れ物にとどまらない品質の高さが求められ、それが同社のノウハウになっています。

最新鋭の生産管理システム導入

もっともプラスチック材料シートを加熱して加工する真空成形は、作業員、機械、設定、材料、室温などさまざまな要因が複雑に影響。あらかじめ最適な成形条件を定めることが難しく、作業員の経験則による



生産管理システムでリアルタイムに管理

微調整に頼り、不良廃棄ロスが大きいことも大きな課題でした。

そのため同社では平成28年度ものづくり補助金を活用し、生産から購買までトータルに管理できる最新鋭の生産管理システムを導入。あわせて無料で使える分析ツール（ビジネスインテリジェンスツール）も加え、不良発生を抑制し材料廃棄ロスを削減し、リアルタイムの在庫管理など効率的な業務体制も実現しました。

システムはクラウド上に構築。担当者がどこにいても利用可能なため、育児休業中の女性社員が在宅で作業するなど働き方改革にもつながっています。

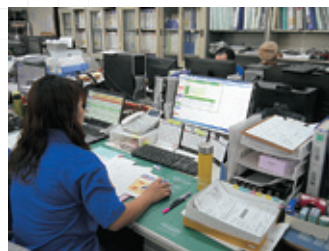
「募集してもなかなか人が集まらないのが現実。そんな中で今回のシステム導入は人材確保にもつながり、当社にとってはまさに画期的な投資でした」

同社では今後さらに真空成形に力を入れ、他社と差別化を図る成形機の導入や金型の内製化で品質向上と顧客ニーズへのきめ細かな対応を目指しています。



自社製品（プラダン「カド吉くん」）

「真空成形はいろいろな可能性が考えられる」と上條社長。工業用製品以外、さらには容器にもこだわらず、新たな用途開発に取り組んでいこうと考えています。



働き方改革も実現



株式会社カミジョウパック

代表 代表取締役 上條宏聡
創業 1963（昭和38）年4月
資本金 3,000万円 従業員数 45名
本社 安曇野市豊科高家1178-8



TEL.0263-71-4649 FAX.0263-71-4666

事業内容 真空成形・プラダン・段ボール・一般紙器、
その他包装資材の製造・販売

久保田容器工業株式会社

Pick Up!

平成25年度

事業計画名

ドラム缶再生設備の能力強化

概 要

再生ドラム缶において、主要用途である食品に対する安全意識の高まりと需要増に対応するためには外観品質の向上が課題となっている。

そこで塗装の前処理に主眼をおいた製造プロセスの再構築を実施し、高品質化を実現し、従来顧客の受注増と新規顧客獲得を目指す。

分 類

＜対象類型＞ ものづくり技術

表面処理

材料製造プロセス

＜事業類型＞ 成長分野型(環境・エネルギー)

設備投資のみ

成 果

再生ドラム缶の主要用途である食品に対する安全意識の高まりと需要増に対応するため、外装品質の向上を目的としてスチールショットブラストの機械設備を導入し、塗装の前処理に主眼をおいた製造プロセスの再構築を実施した。その結果、塗装品質を向上させることができた。

今後は更なる従来顧客の受注増と新規顧客獲得を目指す。



展示会での営業活動



再生するために集められたドラム缶



再生ライン整形機

平成24年度

事業計画名

スチール製18リットル再生缶量産設備の能力強化

概 要

再生缶において、需要増と低コスト品に対応するためには、設備速度の限界とランニングコストが課題となっている。

そこで高機能整形金型と独自駆動プレス機械の開発に主眼をおいたラインの再構築を実施し、高速化・省力化を実現させ、低価格ニーズの新規顧客獲得を目指す。

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

久保田容器工業株式会社（松本市）

食品関係に特化し国内外の缶を再生。
資源リサイクルと環境配慮で需要高まる。

食品用に特化し缶の再生手がける

18リットル缶は、一斗缶、石油缶とも呼ばれ、石油や塗料、食品原料などを入れる古くからなじみ深い鉄製の容器。使い終わった容器は回収され、鉄として再生利用



18リットル缶の再生工程

されたり、再生缶としてリサイクルされています。

久保田容器工業は1963年、18リットル缶の再生事業で創業。後に国産および輸入のドラム缶の再生、各種スチール缶および板金プレス製品の製造を手がけ、業務用発泡スチロール容器なども扱っています。

同社の特徴は、18リットル缶、ドラム缶ともに、食品原料用途に使われた缶の再生に特化していること。そして、海外のドラム缶の再生も手がけていること。海外のドラム缶は日本製と違って板厚が薄く、サイズもまちまちで再生しづらいため、他社はほとんど行っていません。

再生缶は食品関係から産業廃棄物まで、さまざまな内容物の輸送・保管への利用が可能。価格の安さはもとより、資源リサイクルと環境への配慮に合致した商品として需要が高まっています。

集荷・配送をすべて自社の専用トラックで行う輸送力も同社の大きな強み。日本のほぼ中心にある松本の立地を活かし、4トン車6台を含む19台が全国の顧客を効率良く回っています。

再塗装の固着力を高めるために

「使用済みの缶はひとつひとつ違うため、再生



板金工程

加工の自動化が困難。人の目で見て判断するので、どうしても人の介在が多くなってしまいます」と久保田修社長。

とはいえ同社で

は、平成25年度ものづくり補助金を活用して、高機能整形金型と独自駆動プレス機械の開発に主眼を置いたラインの再構築を行い、より高速化・省力化を図り低価格ニーズに応えています。

一方、食品関連に使用されることが多い再生ドラム缶の問題は、現状のドラム缶に塗料を上塗りするため、塗膜片がはがれ食品に混入する恐れがあること。特に海外のドラム缶は塗料の品質も劣化の程度も分からず、その影響が判断できません。

同社は実際その問題に直面したことから、ものづくり補助金を活用し、ドラム缶の塗装をはがすショットブラストを導入。原缶のラベルや旧塗膜を除去し、再塗装の固着力を高めることでこの問題をクリアしました。輸入ドラム缶は板厚が薄いためブラスト時に缶が変形するなどの問題もありましたが、投射材（鉄の粒）の選定、速度の調整など実験を繰り返し最適な装置に仕上げました。



ショットブラスト



再生されたドラム缶

「陸路で日本からヨーロッパへの輸出が増えれば、再生ドラム缶の需要も高まる」。久保田社長は日本の農産物の輸出増加に期待しています。



久保田容器工業株式会社

代表 代表取締役 久保田修
創業 1963（昭和38）年3月
資本金 1,000万円 従業員数 30名
本社 松本市笹賀5960



TEL.0263-26-1232 FAX.0263-26-9036

事業内容 ドラム缶・スチール缶再生、金属製品製造、
発泡スチロール容器製造など

有限会社小林精螺製作所

Pick Up!

平成27年度

事業計画名

複合加工及び加工径拡大のため旋盤複合加工機を導入し顧客の要求に応え、事業拡大を図る

概要

小径NC旋盤加工を事業としてきたが、顧客の複合加工及び加工径の拡大の要求に応え、最新設備導入を実施し、高度技術獲得と新規開発品等の市場開拓を行い、事業の拡大を図る。

分類

＜対象類型＞ ものづくり技術

精密加工

＜事業類型＞ 一般型

成果

最新の旋盤複合加工機を導入したことにより、加工径拡大を可能にし、加工時間の大幅な短縮に成功。

内径交差穴の面取りにも成功し、手動で行っていたバリ取り作業の省略を実現。

今まで以上の複雑な部品加工が可能となったため、これまで辞退していた高度な部品加工にも挑戦できるようになった。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

有限会社小林精螺製作所（長野市）

「バリ取り」の課題をクリアし、加工径の拡大、高度複合形状品、時間短縮、コストダウンを実現。

ろくろもNCも。新旧技術が一体に

「精螺（せいら）」とは、精密なネジの意味。小林精螺製作所は1956年、電気関係のネジの旋盤加工事業で創業しました。「ろくろ旋盤で簡単なものを作っていました」と小林哲三社長。その社名に同社の歴史が刻まれています。



直径25ミリ以下の金属部品が主体

以来、ろくろ旋盤から自動旋盤、NC加工機と最新の機械設備を導入し、より精度の高い金属切削加工技術を追求。電気・機械部品や自動車・建設機械・産業機器など、直径25ミリ以下の小型部品の高精度加工に実績を上げてきました。工場内はNC加工機を中心に設備がぎっしり。一方で創業当時からのろくろ旋盤も現役で稼働し、新旧技術が一体となって同社の品質を実現しています。

ところがリーマンショック以降、主要顧客だった大手企業の海外生産シフトにより受注が激減し、業績が悪化。その後業績は何とか持ち直しましたが、必死の営業活動を強いられました。この経験から、加工径の拡大、高度複合形状品の加工、そしてコストダウンと納期前倒しなどの厳しい顧客要求に応え、さらに新規顧客獲得も図るため、最新設備の導入と技術高度化を図ることが課題となりました。

「バリ取り」の後工程の削除実現



7軸タイプの最新鋭複合加工機

「量産品はすべてNCで加工していますが、穴開け加工時に出るバリが永遠のテーマ」と小林社長。同社では従来、小さな部品一つ一つ手作業でバリ取りを行っています。「例えば、穴が4つある部品を月1千個作る場合、バリ取りを手作業で4千回しなければならない。

その手間と時間、コストたるや大変です」

そこで同社は平成27年度ものづくり補助金を活用し、直径32ミリまで加工できる7軸タイプの最新鋭複合加工機を導入。加工時間を大幅に短縮し、後加工（バリ取り）工程を削除することが可能になりました。価格競争力の強化と生産性の向上を実現し、今後さらに複雑加工品や難削材部品の取り込みも図っていく計画です。

「加工径は広がりましたが、小さい部品に特化していく基本は変わりません。今回導入した機械で地道に実績をつくりつつ、ゆくゆくはさらに複雑な形状や難削材の加工ができる機械を導入したいと思っています」

そう話すのは社長の子息、小林圭吾専務。最新のNCはもちろん、ろくろ旋盤も使いこなす、祖父、父親と三代続く金属加工技術者です。「工場が設備で手狭になり効率が良くない。もう少し広いと



NC加工機でぎっしりの工場

ころにという「野望」はあるんですが…」そう話す小林専務の表情にもどこか余裕が感じられます。



有限会社小林精螺製作所

代表 代表取締役 小林哲三
創業 1956（昭和31）年4月
資本金 300万円 従業員数 6名
本社 長野市大豆島5060-6
TEL.026-221-0546 FAX.026-221-5144
事業内容 金属切削加工



コムバックシステム株式会社

Pick Up!

平成26年度

■事業計画名

段ボール生産機の大幅な生産性向上と品質競争力向上のライン構築

■概 要

平成28年1月更新予定の段ボール箱製造機に、画像処理技術を利用した検査装置を導入し、業界先駆けで業界品質検査基準である目視抜き取り検品をインライン全数検査に切替えコスト及び生産性向上、品質競争力向上につなげる。

■分 類

＜対象類型＞ ものづくり技術
情報処理
＜事業類型＞ 設備投資のみ

■成 果

段ボール生産機の生産ラインを更新（新型機導入）し、投入全数及び高速生産に対応した画像検査装置を導入した。それにより、生産性と品質性が向上。お客様のニーズに応えた段ボール箱の製造にあたり最適な環境を築くことができた。



Pick Up!

平成27年度

■事業計画名

多様化・高度化する顧客ニーズの実現と生産性向上を両立する生産管理システムの導入

■概 要

益々厳しくなる小ロット・多品種・短納期受注等の高度化する顧客ニーズに対応すると同時に生産性向上と業務効率化・コストダウンにも貢献する生産管理システムの導入事業計画

■分 類

＜対象類型＞ ものづくり技術
情報処理
＜事業類型＞ 一般型

■成 果

段ボール業界向け販売生産管理統合システムを導入した。それにより、下記の成果を上げるために必要な環境を築くことができた。

- ・小ロット、多品種、短納期受注等の高度化する顧客ニーズに対応
- ・生産設備との接続により生産性向上と業務効率化・各種分析、コストダウンへの貢献



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

コムパックシステム株式会社（上田市）

社員力と包装設計力を高め、最新鋭設備を武器に、シェアNO.1の会社づくりで「勝ち残り」を目指す。

ソフト・ハード両面を磨く

コムパックシステムは1949年、大蔵省専売局上田たばこ分工場（当時）の創業にともない、たばこ包装用木箱の製造でスタートしました。その後、木箱から段ボール箱への転換にいち早く対応し、地域産業の発展にともなって業容を拡大。現在、東北信地域のJA、製造メーカーなどを顧客に、一般段ボール製品、強化段ボールをはじめ、発泡ポリエチレン緩衝材、パレット、プラスチック製箱などの副資材まで包装を総合的に提案しています。

1985年地元包装資材メーカーとの合併を機に改称した社名は「コンビネーション・パッケージ」の略。鈴木由彦社長は「段ボールにいろいろな商材を組み合わせることで顧客に最適な包装を提案する、という意味を込めています」と由来を話し、こう続けます。

「当社の経営ビジョンは、ソフト・ハード両面を磨き、総合包装メーカーとして地域オンリーワン企業（シェアNO.1）になること。社員力と包装設計力を高め（ソフト）、一級品の設備を整えて（ハード）、東北信地域で圧倒的なシェア獲得を目指しています」



国内外の包装コンテストで多数受賞

という強い思いから。ソフト・ハード両面を徹底して磨き上げることで「勝ち残る」会社づくりを目指しています。

ハードでは、段ボールシートの投入から印刷、けい線・溝切り、折込、結束まで1分間で250枚加工できる最新鋭の自動製函ラインを導入。平成26年度ものづくり補助金を活用し、中小では先がけて画像検査装置を組み込み、人手による抜き取り検査から高速で全数自動検査する体制をつくりました。「検品する社員の負荷がなくなり、時間当たりの生産性は最大2倍近くに。品質と生産性の向上は想定以上でした」

ソフトでは平成27年度ものづくり補助金により、最新の生産管理システムに更新。管理部門で入力したデータを全社共有し、そのデータによって自動生産するシステムを構築しました。「原価や粗利率、その推移など数字を細かく把握できるので、より収益性の高い仕事に注力する経営判断も可能になりました」



ごく小さな印刷不良も見逃さない

もうひとつ大きな成果は社員の残業時間が半減したこと。鈴木社長は「働き方改革」は想定していませんでしたが、ちょうどいいタイミングでした」と喜んでいます。

品質と生産性の向上は想定以上

段ボール業界は、段ボールの素材を作る大手のシートメーカーと、その素材を箱に加工する中小のボックスメーカーに分かれ、後者は地場メーカーがほとんど。しかし近年、大手がボックスメーカーの領域にも進出し、地場メーカーは苦戦しているのが現状です。

鈴木社長が経営ビジョンを社内に徹底しているのは、このような状況に加え、リーマンショックの教訓から、価格勝負では未来はな



自動製函ラインに組み込まれた画像検査装置



コムパックシステム株式会社

代表 代表取締役社長 鈴木由彦
創業 1950（昭和25）年12月
資本金 3,500万円 従業員数 37名
本社 上田市秋和940



TEL.0268-24-9500 FAX.0268-22-2202
事業内容 包装設計、一般段ボール・強化段ボール・緩衝材・包装資材・紙器製品等の製造

株式会社佐々木工業

Pick Up!

平成24年度

事業計画名

高精度ベンディングマシン導入による厚板長尺の一括板金加工システム構築

概 要

現在厚板、長尺の板金加工にて、プレス曲げ加工能力不足により、短尺化、溶接にて対応しているが、加工精度、リードタイム(納期)コストが課題となっている。

本事業により、厚板長尺の一括板金加工システムが構築でき、上記課題の克服が可能になり、顧客の多様なニーズに対して、迅速に対応可能な体制を構築することができる。

分 類

＜競争力強化の形態＞ 小口化・短納期化

＜22分野技術＞ 金属プレス加工

＜事業類型＞ 試作開発+設備投資

成 果

厚板、長尺の板金加工にて、曲げ加工能力不足により、短尺化、溶接にて対応していたが、本事業により、厚板長尺の一括板金加工システムが構築でき、顧客の多様なニーズに対して、迅速に対応可能な体制を構築することができた。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社佐々木工業（佐久市）

積極的な設備投資と人材への投資を続け、精密板金加工の“コンビニ”を体現。

モノの流れを重視した新工場

佐々木工業は1959年、プレス加工業として創業。1972年にベンダーを導入し、板金加工へとシフトし



インテリジェント自動倉庫と広々としたスペース

ました。人材育成による技術力向上と設備投資に力を入れ、±0.1ミリの加工精度を標準レベルとした精密板金加工が事業の柱です。

受注のほとんどが特注品や100個以内の小ロット品。医療機器や計量機器の製造許可も受け、加工精度、納期、コストで顧客の高い信頼を得ています。

「現場社員に作業指示書を出すだけで、一日の仕事の指示はしません。朝来た図面を夕方までに仕上げる、そういう特注・特急品で会社が成り立っているからです」と佐々木正行会長。そして、その“神業”が可能なのは社員23人中、一級技能士



工場に掲げられた一級・二級技能士合格証書

6人、二級技能士7人というハイレベルな技術者集団だからこそ、と胸を張ります。

他社に先がけて最新設備を積極的に導入。さらに独自の生産管理システムを構築し設備のネットワーク化、リアルタイム生産を実現し、高品質・低価格な製品の短納期化を可能にしてきました。

そして2017年7月、手狭になっていた佐久市工場団地内の工場を隣接地に移転し、敷地面積は約3倍、工場床面積は約2倍に。「モノの流れを重視したスペースとレイアウト」で工場内の通路を広く取り、6列10段の自動倉庫から材料を引き出し、加工工程、検査・梱包までワークフローが非常にスムーズになりました。

高い社員満足度

同社では厚板、長尺の板金加工のプレス曲げ加

工を短尺化と溶接で対応。加工精度と納期、コストに問題を抱えていました。



高精度ベンディングマシン

そこで、平成24年度ものづくり補助金を活用。最新鋭の高精度ベンディングマシンを導入し、一括板金加工システムを構築しました。「自動曲げ角度補正システムにより作業効率が上がり、ネットワークにつながったことで省力化とコストダウンが実現できました」と佐々木将臣社長。これにより総合技術力で国内トップクラスの競争力を獲得し、新規顧客拡大を目指しています。業績好調が続くこの機をとらえ、同社ではさらに新たな設備投資も視野に入れています。

設備投資とともに意欲的に行っているのが、人材への投資とワークライフバランスの充実。一級技能士、二級技能士の資格取得を目指した教育投資と取得者へのインセンティブなどを行う一方、社員の家族も含めたイベントの開催や快適な職場環境づくりにより社員満足度を高めています。



一般向けに販売するステンレス製品



株式会社佐々木工業

代表 代表取締役社長 佐々木将臣
創業 1959（昭和34）年10月
資本金 2,000万円 従業員数 24名
本社 佐久市中込3305



TEL.0267-67-1820 FAX.0267-67-1851
事業内容 精密板金加工、プレス加工、医療機器、板金加工設計・製造

シナノカメラ工業株式会社

Pick Up!

平成26年度

■事業計画名

実装工程におけるスループットの改善に向けた評価技術の確立化

■概 要

多品種少量短納期の高密度微細チップ部品実装の量産に対応すべく、リードタイム短縮とコストダウンを両立させるために、量産実施時の実装条件の導出をスピーディーに行うことに関する、評価技術の確立に取り組む。

■分 類

＜対象類型＞ ものづくり技術

接合・実装

＜事業類型＞ 設備投資のみ

■成 果

多品種少量短納期の高密度微細チップ部品実装の量産に対応すべく、リードタイム短縮とコストダウンを両立させるために、量産実施時の実装条件の導出をスピーディーに行うことに関する、評価技術を確立できた。



平成24年度

□事業計画名

新たな実装プロセス開発による、競争力強化と即効的需要喚起への取組

□概 要

当社における競争力強化のためには、微細部品実装への対応が課題である。

そこで、この課題を解決するため、新たな装置の導入とこれに対応したプロセスの開発を実施し、競争力強化を実現させ、新たな顧客ニーズに伴う受注獲得を目指す。

平成25年度

□事業計画名

次世代自動車ECU向け部品実装に関する技術開発

□概 要

「次世代自動車産業」の車載用基板実装に関する顧客ニーズに対応して、ECUに搭載される各種の異形電子部品を、次世代車載搭載用に開発が進んでいる、ハイブリッドECU用セラミック基板に実装する技術開発に取り組む。

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

シナノカメラ工業株式会社（松本市）

ものづくり力と基板実装技術をベースに、あらゆるニーズに対応するEMSメーカー。

事業の再構築で荒波乗り越える

1990年代後半から2000年代前半にかけて、日本の製造業は中国を中心とする海外への生産シフトが進みました。大手に依存する下請け企業にとって非常に厳しい時代。その荒波を事業の再構築によって乗り越えてきたのが、シナノカメラ工業です。

同社はレンズ研磨の会社を前身とし、1974年、カメラのシャッターおよび電子回路基板の組立工場として設立されました。大手カメラメーカーの生産拠点として、数年後にはコンパクトカメラの完成品組立をスタート。その後も順調に実績を伸ばし、90年代半ばには製造650万台を達成します。

ところが、それをピークに急速に海外生産シフトが進み、同社のカメラ受注は一部の部品生産のみに激減。2000年初頭には親会社のコンパクトカメラからの撤退に伴い、同社のカメラ事業も終わりを迎えます。

この苦境を救ったのが、カメラの組立と並行して磨いてきた基板実装技術です。カメラの先行きを見越し、大手情報機器メーカーや製造部門を持たないファブレス企業からの受注を拡大。カメラ製造で培ったものづくりの力を活かし、基板実装に関わる設備投資も積極的に行いながら、多品種少量生産に対応してきました。

現在、高精度3Dプリンターによる試作も含め、あらゆるニーズに対応するEMSメーカーとして、無線通信機器、産業機器、医療用機器、計測機器などの分野で実績を伸ばしています。



カメラに始まるEMSメーカーとして、さまざまなニーズに対応



基板実装ライン

完全週休2日制を導入

同社が平成26年度ものづくり補助金を活用して導入したのが、基板のはんだ付け状態を検査す

る3D画像検査装置。

「電子部品がより微細化し、今までの評価方法では対応しきれない。品質を担保するためには高精度な3D画像検査装置が絶対に必要でした。検査結果を実装工程にフィードバックすることでさらに品質向上を図っています」

河西秀一社長は導入の理由と成果をこのように話し、さらにこう続けます。「今後はロボットを活用した効率の良いものづくりも研究していかなければと考えています」。

そこには深刻な人材確保の難しさもあります。同社では正社員に加え、中国人実習生、パート・アルバイト、派遣など非正規社員の活用にも積極的ですが、「なかなか集まらない」のが実情。

そんな状況の中、同社では2018年4月、完全週休2日制を導入しました。「製造業では珍しい取り組みですが、出勤日数は減っても総合的に生



人による検査工程

産性メリットがあると判断しました」と河西社長。自動化による効率化を進める一方で、働きやすい会社づくりで優秀な人材の確保にも力を入れています。



3D画像検査装置



シナノカメラ工業株式会社

代表 代表取締役社長 河西秀一
創業 1974（昭和49）年5月
資本金 3,000万円 従業員数 80名
本社 松本市寿北3-7-24

TEL.0263-58-2360 FAX.0263-58-8284

事業内容 高密度基板実装・精密機器組立・3Dプリンター造形サービス



渋江精密工業株式会社

Pick Up!

平成26年度

事業計画名

高精度測定器の導入により、成長分野向け製品の事業拡大を目指す。

概 要

複雑形状や難削材で高品質・高精度が要求される医療、自動車分野等において、高精度測定器の導入及び従来にない独自の加工プロセスを開発し、コストダウンと高品質化で他社と差別化を図り、売上拡大と企業価値の向上を目指す。

分 類

＜対象類型＞ ものづくり技術
精密加工
測定計測
＜事業類型＞ 設備投資のみ

成 果

導入した高精度測定器で測定実証を行い、期待した通りの結果を得ることができた。複雑形状の外部測定委託の内製化、測定時間の大幅短縮で、社内加工プロセスの開発及びコストダウン・高品質化に大きく寄与する体制が整った。



微細自動車部品



検査工程



カム式自動旋盤

平成24年度

事業計画名

「半導体チップ吸着用シャフトの最適加工プロセスの試作開発」

概 要

半導体チップ吸着用シャフトは、現在工程の煩雑・処理の不安により高コストになっている。

そこで、工程の同時化・処理の安定化により40%のコストダウンを実現し、顧客へVA提案し、販路拡大を図る。

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

渋江精密工業株式会社（諏訪市）

時計で培った精密部品の切削加工技術を磨き、
高品質・低コスト・安定量産を高度に実現。

カム式自動旋盤が現役で活躍

渋江精密工業は1951年、切削加工によるオルゴール部品の下請け製造で創業。その後、自動旋盤による大量生産体制を整えながら、時計、8ミリカメラ、デジタルカメラ、プリンターヘッドなどの極小精密部品の製造を手がけてきました。

同社のベースをなすのが、時計部品で培った超精密切削加工技術。例えば、日本が圧倒的なシェアを持つ時計の駆動装置（ムーブメント）に組み込まれる0.5～0.6ミリ程度の部品では月産約2千万個を誇り、その精度をしっかりと支えています。現在は半導体製造装置や自動車部品などの比率が高まり、売上げベースでは自動車エンジンのタイミングチェーンに使われる部品が4割を占めています。

極小部品の超精密加工、複合加工や難削材加工の量産化・無人化を実現しているのが、最新鋭のNC複合自動旋盤。と、一口に言えないのが同社のユニークなところ。NCは工場にずらっと並ぶ自動旋盤の半数に過ぎず、残りの半数はスイスで時計部品加工用に開発されたエスコマティックなど、40～50年前から活躍するカム式自動旋盤。



現役で稼働するスイス製エスコマティックがずらり



ムーブメントの部品。これで数万個

ベテラン技術者から若手に技術移転し、整備も完璧に行うことで現役で稼働、高精度部品の低コスト・高品質・安定量産に貢献しています。

最新鋭の画像検査装置を導入

渋江利明会長はその理由をこう話します。

「極小部品の低コスト量産にはカム式が向いているんです。同業社が海外生産や多品種少量に特化する中で、当社は一貫して諏訪で量産を追求し

てきた。それは高精度極小部品は大量生産でも輸送コストがあまりかからず、海外にも十分売れるからです」

課題は、品質の追求と生産体制の効率化。複雑形状部品の検査は外部に委託するなど時間と手間がかかり、製造の段取り替えの効率も悪く、社内検査体制の充実が急務でした。

そこで、平成26年度ものづくり補助金を活用し、複雑形状部品の複数のポイントを瞬時に測定できる最新鋭の画像検査装置を導入。検査結果を即座に製造現場にフィードバックし、段取り時間を約5分の1に短縮するなど、素早く量産につなげることが可能になりました。

「当社にとって画期的な設備。納品時の検査表作成に手間がかからなくなっただけでなく、品質向上にも大きく役立っています」

新しい技への挑戦にも積極的で、多孔構造体を自社開発し特許を取得。成形金型（ダイカスト、

プラスチック）内のガス抜き用フィルターピンヘッドとして高い評価を受ける一方、流量制御が必要な他分野への応用も模索しています。



高精度画像測定器



特許を取得した多孔構造体



渋江精密工業株式会社

代表 代表取締役社長 渋江祐貴
創業 1951（昭和26）年10月
資本金 1,600万円 従業員数 21名
本社 諏訪市中洲4600
第一精密工業団地内
TEL.0266-53-1200 FAX.0266-58-3509

事業内容 金属切削加工



昭和樹脂工業株式会社

Pick Up!

平成26年度

事業計画名

ブロー成形機導入による医薬品用小型容器成形技術の確立

概要

射出成形機では対応できない医薬品小型容器の市場に参入するために、クリーンルーム内、オール電動式ブロー成形機による、効率的・安定的生産を達成する技術を確立し、医薬品関連事業の拡大を図る。

分類

＜対象類型＞ ものづくり技術
製造環境
立体造形
＜事業類型＞ 設備投資のみ

成果

医薬品小型容器の市場に参入するために、クリーンルーム内にオール電動式ブロー成形機を導入し、クリーンであり、効率的・安定的生産を達成する技術を確立するための検証を行った。検証結果は良好であった。



組立自動機



ワンステップストレッチブロー成形機

平成24年度

事業計画名

ディスポーザブル吸引器の製造工程改善計画

概要

現在、弊社が取引先より委嘱されているディスポーザブル吸引器の成長戦略の一貫として、工程改善のための電気式射出成形機の導入を目的とする事業計画

平成25年度

事業計画名

家庭用医療機器（ポータブル電動吸引器）の開発による事業拡大

概要

家庭用ポータブル電動吸引器開発にて、肉厚射出成形品のソリ・ヒケ・クラックの発生対策、及び組立生産性向上が課題である。

低圧型締成形機と自動機の導入により課題解決を図り、医療介護関連事業の拡大を狙う。

平成28年度

事業計画名

ワンステップストレッチブローによるPP樹脂製透明容器の製造

概要

現有設備のダイレクトブロー成形機では、PP樹脂製容器は半透明のものとなる。非結晶状態の保持が可能なワンステップストレッチブロー成形機を導入し、高い透明度が得られるメカニズムを解明することで低コスト・高品質なPP樹脂製透明容器を安定供給する。

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

昭和樹脂工業株式会社（坂城町）

クリーン環境でのプラスチック成形を強みに、
医療・試薬、理化学の製品分野で存在感示す。

プラスチック成形専門メーカー

昔はよく日本酒やウイスキーの小ビンにプラスチック製のコップが付いていました。その小さなコップの生産からスタートしたのが、昭和樹脂工業です。

同社の創業は1960年。「当時、プラスチック製品が台頭してきた時代。坂城町はプラスチック産業の“発祥の地”であり、父も思い切って起業したのだと思います」と鈴木雅視社長。鈴木社長の父で前会長の鈴木太郎氏がウイスキー用コップの生産を思い立ち、国税庁職員から脱サラして創業しました。

数年後、専売公社に食塩紙箱の出し口をプラスチックにすることを提案し、月産100万個を受注。さらに点滴用の吊り具をプラスチックにという要望に応え、全国シェアの8割を押さえる月600万個を生産。この大きな事業展開によって経営基盤が固まり、成形機の充実および自動化を進め、プラスチック成形専門メーカーとして実績を積み重ねてきました。

同社が得意とするのは、吸引器用容器およびディスポーザブルバッグ、理化学検査容器、注射剤キャップなどの医療用プラスチック製品・部品や、食品や化粧品などの各種容器・キャップ。クラス1万、クラス10万のクリーンルーム内に製造環境を備え、射出成形、ブロー成形などプラスチック成形技術を核に、金型設計・製作からアセンブリーまでトータルに対応しています。

より付加価値の高い製品づくりを

「高度にクリーンなものづくり環境の中で、ストレッチブロー成形による、より密閉性の高い小



吸引器用容器など大きな製品群



食品用容器など小さな製品群

型容器を作るというテーマにチャレンジしました」



電動式シングルステーションブロー成形機

需要が高まっている小型の医療用容器・包材の製造に対応するため、平成26年度ものづくり補助金を活用し、電動式シングルステーションブロー成形機を導入。密閉性の高さからガラスが多用されていた小型容器・包材のプラスチックへの転換を図り、大幅にコストダウンを図るとともに、より付加価値の高い製品づくりを可能にしました。

「医療・試薬、理化学分野に特化し、ニッチな製品分野を追いかけていきたい」と鈴木社長。機能性やデザイン性など、容器により高い付加価値を付けるための技術開発を強化していこうと取り組んでいます。

「2010年現在地に移転以降、それまでの約3倍の設備投資をしています」。鈴木社長がこう明かすように、ものづくり補助金を積極的に活用しながら設備投資を続ける同社。



密閉性の高い小型容器

太陽光発電の導入、社員教育を含めた社内環境の整備、人材採用活動にも力を入れ、さらにベトナム人実習生の受け入れも始めています。



昭和樹脂工業株式会社

代表 代表取締役社長 鈴木雅視
創業 1960（昭和35）年10月
資本金 2,000万円 従業員数 41名
本社 埴科郡坂城町坂城9444

TEL.0268-82-2417 FAX.0268-82-7871

事業内容 医療機器類のプラスチック容器・部品、医薬品容器、食品容器・キャップ等製造、金型製作



株式会社スギムラ精工

Pick Up!

平成26年度

事業計画名

ハイテン薄板部品のプレス精密せん断加工後の2次加工ライン構築

概要

多板クラッチ用コアプレートは用途上厳しい寸法精度を要求されるが、1,000MPa級素材が使用されるため非常に難易度が高い。

本事業を通じて、プレス加工および2次加工ラインを構築し、要求精度を満たし安定生産を実現する。

分類

＜対象類型＞ ものづくり技術
精密加工
＜事業類型＞ 試作開発+設備投資

成果

1,000MPa級素材が使用される多板クラッチ用コアプレートの生産を可能にするため、バリ取り機・洗浄機・XYレベラーを導入し、一貫ラインを構築した。本事業を通じて、要求される部品精度を満たし安定生産が可能となった。



プロファイル研削盤



バリ取り機・洗浄機・XYレベラー 一貫ライン



平面度測定検査治具

平成24年度

事業計画名

板鍛造技術の高度化による歯車部品のプレス加工への工法転換

概要

自動車部品において、焼結等で製作される歯車部品のコスト低減が課題となっている。

そこで、塑性理論に基づいた板鍛造技術の高度化によりプレス加工への工法転換を行い、工数削減等によるコスト低減を実現させ、自動車メーカーからの受注を目指す。

平成25年度

事業計画名

超硬金型部品の内製化による板鍛造技術の高度化と量産の安定化

概要

金属プレス金型において超硬合金の使用比率は技術レベルの指標の一つといえる。

超硬合金を精密加工可能な設備の導入と内製化により、超硬合金の優れた特性を生かし塑性理論により忠実な板鍛造成形が可能となり、併せて金型長寿命化により競争力強化を図る。

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社スギムラ精工（岡谷市）

塑性理論と要素実験により独自工法を開発。
精密せん断塑性加工技術で「世界一」を目指す。

独自工法による精密せん断加工

「一見、切削加工しているように見えますが、プレスだけで仕上げています。他社では絶対にできないものもありますよ」。スギムラ精工の杉村博幸社長は手がけた自動車部品を手



破断、ダレの無い加工品

手に、技術への自信を見せます。

同社は自動車部品を中心とする金属プレス加工・金型製作メーカー。塑性理論と要素実験（ものとの対話）によって開発した独自技術「KCF工法」により、“究極の”精密せん断加工など高精度なプレス加工を実現しています。この技術の開発と、精度向上とコストダウンを実現する技術提案が高く評価され、2009年「元気なモノ作り300社」に選出されました。

金属プレス加工メーカーとして1980年に創業。早くから金型を内製化し、家電・カメラ・AV機器関連部品などを中心に順調に実績を伸ばしてきました。しかし03年、新たな投資を模索する中で「より高付加価値・高難度の仕事ができる技術力を身につけよう」と従来路線からの転換を図ります。自動車部品にターゲットを定め、05年に塑性加工研究部門を立ち上げるなど厚板の精密せん断加工技術に着手。



内装部品

「ULB工法（KCF工法のひとつ）」を確立し、汎用プレス機を用いて低コストかつ、従来よりもはるかに高いせん断面品質を実現しました。

「世界一」を取りたい

一連の改革を社員とともに強力に進めてきたのが杉村社長。08年に先代を継いで社長就任後、将来の技術動向を見据えながら、思い切った設備投

資を続けてきました。ものづくり補助金も積極的に活

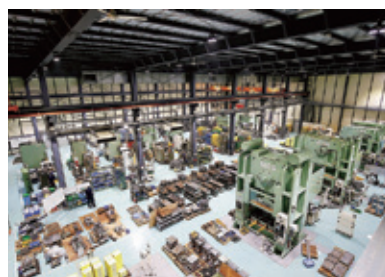


多板クラッチ用コアプレートの2次加工ライン

用し、平成26年度補助金では、1,000MPa級素材が使われる多板クラッチ用コアプレートの精密せん断加工後の2次加工ラインを構築しました。

「古くからの取引先には、以前とは全然違う会社だね、と言われる」と笑う杉村社長。「もともと現場上がり」という社長は就任以来、技術開発はもとより、財務の見直し・強化、社内の労働環境改善など、強い企業体質づくりに力を入れてきました。例えば、金属加工の現場は圧倒的に男性が多いものですが、逆に「若い女性ばかり」と感じさせるほど女性の姿が目立ちます。それも非常に珍しく、職場環境の良さを象徴しているようです。

「もっとお客様の要望に応えられるよう生産体制を拡大し、製品シェア、性能など何かで“世界一”を取りたい」と杉村社長。17年7月、自動車



つるみね工場内

および産業機械部品の一部上場企業と資本業務提携し資本金を1億円に増資するなど、世界一の夢に向かって着実に歩を進めています。



株式会社スギムラ精工

代表 代表取締役社長 杉村博幸
創業 1980（昭和55）年10月
資本金 1億円 従業員数 52名
本社 岡谷市長地御所2-13-32

TEL.0266-28-2478 FAX.0266-28-0319

事業内容 金属プレス加工及び金属プレス用金型の設計・製作



株式会社竹村製作所

Pick Up!

平成25年度

事業計画名

不凍水抜栓の構造変更による生産工程の効率化と製品の高品質化

概要

不凍水抜栓の設計変更による部品点数の削減により、加工時間や加工スペースの改善を行い、生産の効率化と顧客が使いやすい製品作りを進め、鋳造から完成品まで一貫生産できる当社の強みを生かした高効率高品質なものづくりを実現する。

分類

＜対象類型＞ ものづくり技術
精密加工
＜事業類型＞ 一般型
試作開発＋設備投資

成果

不凍水抜栓の設計変更による部品点数の削減（3点→1点）により、加工時間や加工スペースの改善を行った。

今後年間ベースで6,000万円以上の製造原価削減が見込まれ経営に寄与する見込みである。



平成26年度

事業計画名

水質評価サービスを加えた水処理装置の包括提案による顧客満足度向上

概要

排水の再利用など多様化する原水に対して迅速かつ精度の高い水質評価サービスを提供し、最適な水処理装置の提案と定期メンテナンスを通じて安心・安全の提供と顧客満足度を向上させ、水環境装置事業のさらなる拡大を図る。

平成27年度

事業計画名

62年の殻を破った鋳物部品加工の無人化・見える化による高度生産体制実現

概要

基幹部品である鋳物の加工工程において、最新の切削機械とロボットを導入し連携させることで、段取り時間の短縮と加工の無人化・遠隔監視を実現して、多品種小ロットのニーズに対応できる高度な生産体制を実現する。

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社竹村製作所（長野市）

「使う人の身になって」の理念を追求する
シェアトップクラスの不凍栓総合メーカー。

顧客の声を反映したものづくり

不凍栓の総合メーカーとして、北海道と東北6県を中心とする東日本一帯を主要マーケットにトップクラスのシェアを誇る、竹村製作所。

戦後、家業の瀬戸物屋隣に「よろず機械加工業」を興した創業者が、1つのハンドルを回すだけで水道の水が抜ける不凍バルブを発明したのが始まりでした。

1954年会社設立後、現在地に本社工場を移転し、さまざまな不凍栓を開発。そして57年、水抜栓「MT型防寒止水栓」が盛岡市の指定を受けたのをきっかけに東北各都市に採用され、東北、北海道へと拠点展開を進めていきました。その後、浄水部門（現・水環境装置）を発足。プールなどのろ過装置を開発・製造し、長野県内小中学校の多くで採用されています。

「使う人の身になって」。この創業以来の理念のもと同社が心がけているのは顧客の声をきめ細かくスピーディーに反映したものづくりです。「それを実現しているのが、研究・開発から製造・加工、組立、販売・メンテナンスまでの完全一貫体制」と竹村國彦社長。



本社工場内



不凍水栓柱ユニット「サナンド」

本社工場のほか、1万8千坪の鋳物工場（アクアゾーン三水工場）など充実した製造環境がそれを支えています。

西日本への拡大戦略を強化

激しい競争が続く水道業界。同社も体質強化とさらなる発展のため、さまざまな取り組みをしています。

より効率的なものづくりを目指し、営業、製造、技術の各部門が一体となって、年間10万台強を生産する不凍水抜栓（MT2型）の構造を根本的に見

直す活動を展開。平成25年度ものづくり補助金を利用して最新鋭のマシニングセンターを導入し、精度向上、加工時間と作業スペースの削減に取り組み、大幅なコストダウンを実現しています。

今後は、他製品に水平展開することで、さらなる経営安定化と企業体質強化を目指します。

同社が主要マーケットとする寒冷地は全国世帯数の約15%で、残りの85%は西日本を中心とする非寒冷地域。竹村社長は「さらにシェアを伸ばすため、西日本への拡大戦略を強化していきたい」と力を込めます。寒冷地向けの従来製品ではなく、同社技術を活かした非寒冷地向け高付加価値製品



デザイン水栓柱

の開発・販売です。

「カラフルなもの、環境にマッチしたものなどデザインが重要。開発から製造、販売・サービスまで自社で手がけている強みを活かし、最終ユーザーの目に止まる商品を提案していきたいと考えています」



最新鋭マシニングセンター



株式会社竹村製作所

代表 代表取締役 竹村國彦
創業 1954（昭和29）年4月
資本金 9,800万円 従業員数 221名
本社 長野市小島127



TEL.026-251-0211 FAX.026-251-0233
事業内容 不凍水抜栓・不凍水栓柱をはじめとする給水器具の製造・販売、学校プールや業務用浴場、噴水などの循環ろ過装置をはじめとする各種浄水装置・水環境装置の製造・販売・メンテナンス

有限会社田村製作所

Pick Up!

平成27年度

事業計画名

測定困難な精密プレス部品の測定方法改善による精度保証と競争力の強化

概要

近年の自動車部品は高機能化により複雑な形状となっている。数十カ所の測定を求められる物もあり、月産数万個を量産するには製品の測定作業がボトルネックとなっている。測定方法を改善し、精度保証を向上させつつ、コスト競争力を強化する。

分類

＜対象類型＞ ものづくり技術

測定計測

＜事業類型＞ 一般型

成果

自動車の高機能化により複雑な形状で数十カ所測定する自動車部品がある。今回の補助事業により導入した測定機で、測定精度を向上させつつ、測定時間を大幅に短縮したことで客先からの信頼性の向上、コスト競争力の強化を図ることができた。



厚板の打抜は10mmまで可能



新規受注に伴い多忙な日々が続く



サーボプレスロボットライン

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

有限会社田村製作所（東御市）

業界が認めた厚板の精密プレス加工技術の高さ。
試作、金型製作から量産まで一貫して取り組む。

金型技術で厚板の精密プレスを実現

田村製作所は1969（昭和44）年9月、オートバイ部品をメインとする金属プレス加工で創業。厚板の精密プレス加工、精密打ち抜きを得意とし、自動二輪、自動車、建設機械などの特に強度が求められる部品を手がけています。



打ち抜きされた厚板部品

同社の強みは金型をすべて自社製作していること。長く手がけてはいましたが、2006年に金型工場を建設して取り組みを本格化。新たな加工方法の開発を目指してトライアンドエラーを繰り返し、その成果を次の製品づくりに活かしています。

金型製作の本格化にともなってスタートしたのが厚板加工。厚物を精密に打ち抜く場合、ファインブラッキングプレスでの加工が一般的ですが、同社では高精度金型とサーボプレスを駆使し、遜色のない精度と低コストを実現しています。

田村直樹専務取締役はその取り組みを次のように話します。「金型工場の完成を受けて厚板加工



自社製造金型

の研究開発をスタートしました。ちょうど需要が高まっていたタイミングの良さもあり、他社がマネできないことに取り組もうと」

MF技術優秀賞を受賞

その高い技術力を活かして取り組んだのが、非常に複雑かつ高い精度が求められる自動車用パーキングブレーキ関連部品の量産。自動二輪車の部品で培った技術を応用し、高品質で低価格な部品を生産するため試作段階から開発に携わりました。

量産技術として同社が選択したのが、得意とする総抜き金型による精密打ち抜き加工。サーボプレスで独自の加工モーションを開発、さらに金型

を作り込み、平滑で鏡面のようなせん断面を実現しました。この画期的

な量産技術で同社は「MF技術大賞2014-2015」（日本鍛圧機械工業会主催）で技術優秀賞を受賞。全国にそのプレス技術の高さをアピールしました。

実はこの量産体制の実現に欠かせなかったのが、平成27年度ものづくり補助金で導入した画像測定器。部品1個につき30カ所も測定しなければならず、既存の三次元測定機では非常に時間がかかり管理も難しいため、測定方法が一番のネックになっていたのです。

「ちょうど良いタイミングでものづくり補助金を活用することができました。画像測定器は数秒で測定が完了し、合否判定、帳票類の作成も自動



MF技術優秀賞

に行うため経費削減にもつながりました。さらに受賞により工程能力の高さが顧客に評価され、新たな仕事の引き合いも来ています。画像測定器がお金を生んでいるんです」

建設機械部品の受注が増えている同社では、大型化への対応など、さらなる生産体制の充実を目指しています。



画像測定器



有限会社田村製作所

代表 代表取締役 田村光雄
創業 1969（昭和44）年9月
資本金 500万円 従業員数 9名
本社 東御市鞍掛508-16
TEL.&FAX.0268-62-1011
事業内容 厚板精密プレス加工、サーボプレス精密打ち抜き



専務取締役
田村直樹

デイリーフーズ株式会社

Pick Up!

平成28年度

事業計画名

圧力技術を活用した生食感で風味保持可能な果実・野菜食品の開発

概要

中高压 (10～100MPaの圧力) 技術を応用して、殺菌と調味液含浸の同時処理が可能な製造プロセスを確立し、保存性がよく「生より美味しい」食感と風味を有する新規な果実・野菜食品を提供する。

分類

＜対象類型＞ ものづくり技術
製造環境
バイオ
＜事業類型＞ 一般型

成果

中高压 (10～100MPaの圧力) 技術を応用して、殺菌と調味液含浸の同時処理が可能な製造プロセスを確立し、保存性がよく「生より美味しい」食感と風味を有する新規な果実・野菜食品を開発できた。



第1プラント



小規模試作室



アップルファーム

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

デイリーフーズ株式会社（坂城町）

一貫して「安全・安心とおいしさ」にこだわり、「生よりおいしい」製品と技術力で高い評価。

「安全・安心とおいしさ」にこだわって

「当時は合成添加物の全盛時代。しかし時代は大きく変わると感じていました。勤めていた大手ジャムメーカーが倒産後、安全・安心な製品を作りたいと創業しました」

そう話すのはデイリーフーズの高松宏副会長。1970年、高見澤正代表取締役会長と二人で会社を立ち上げ、主に開発製造部門に携わって会社をけん引してきました。

同社は創業以来一貫して「安全・安心とおいしさ Made in 長野」にこだわり、ジャムやシロップ漬け、フルーツプレパレーション（業務用）、ジュース及びピューレなど、国産、地元産にこだわったフルーツ・野菜の加工品の製造販売を行っております。創業間近に商品化したストロベリーグラッセが今でも根強い人気を誇っているほか、植物性乳酸菌により原料を発酵させた「発酵ジャム」もオリジナル商品として好評を博しています。

長野、東京にある自社カフェ「アップルファーム」では新しい商品やレシピを消費者に提案するとともに、消費者の声を商品開発に活かしています。さらにグループの農業生産法人がさまざまなフルーツや野菜を生産し、長野工場内にある大きな温室では安心・安全でおいしい原材料の栽培研究も行っています。

「生よりおいしい」がキャッチフレーズ



高圧処理装置

「手間のかかること、面倒くさいこと、人のできないこと、そして人のやらないこと。それらに挑戦することをつねに目標に



素材そのものを活かした商品

してきました」と高松副会長。他社との差別化戦略は

さまざまな先進的技術開発につながっています。

例えば、食材に直接通電し自己発熱させることで短時間加熱殺菌を可能にした「DFCジュール加熱殺菌」。素材の色や香りを活かす技術が高く評価され、日本食糧新聞社主催の「新技術・食品開発賞」をはじめ多くの表彰を受けています。

また生に近い食感と味を持つ画期的な製品が期待できる中高圧処理による殺菌浸透加工技術にチャレンジ。平成28年度ものづくり補助金を活用し、商品としての生産量を確保できる50リットル処理槽を持つ高圧処理装置を導入。あんずやほおずきのシロップ漬けなどで品質向上が認められています。

「装置の導入により、素材そのもののおいしさをより引き立てる製造体制が整いました。『生よりおいしい』をキャッチフレーズに、商品化を目指して取り組んでいます」

研究開発の対象は容器にも及び、軽くて割れない



技術などでの受賞多数

日本初のPETボトル入りのジャムを開発。環境負荷を低減するエコ商品として評価されています。



デイリーフーズ株式会社

代表 代表取締役 國広義信
創業 1970（昭和45）年7月
資本金 5,000万円 従業員数 175名
本社 東京都千代田区外神田5-2-5
長野工場 埴科郡坂城町上平1434
TEL.0268-82-3671 FAX.0268-82-3670

事業内容 各種果実、蔬菜の加工品の製造販売、和洋菓子・パン・冷菓の各種原料及び清涼飲料の製造販売、食用油脂の販売 その他



副会長
高松 宏

東京モートロニクス株式会社

Pick Up!

平成26年度

事業計画名

先端産業向けモータに対応した着磁ヨークの高精度・高密度化の実現

概要

高精度・高精密化が求められる先端産業向けモータに対応した着磁ヨーク（着磁を行う際に、マグネットが磁性を得るための磁界を発生させる機器）を顧客に提供する際、着磁ヨークの部品検査工程における測定精度が課題となっている。

そこで、磁界解析シミュレーションソフト及び安定した精密接合を可能とする接合装置、高精度画像寸法測定器を検査工程に導入する。

結果、部品検査工程において精度の高い測定、測定データの活用、検査結果バラつき防止、測定時間の大幅な短縮を実現。品質向上、短納期化による受注拡大と、顧客先の不良率の減少を図る。

分類

＜対象類型＞ ものづくり技術
精密加工
接合・実装
測定計測

＜事業類型＞ 設備投資のみ

成果

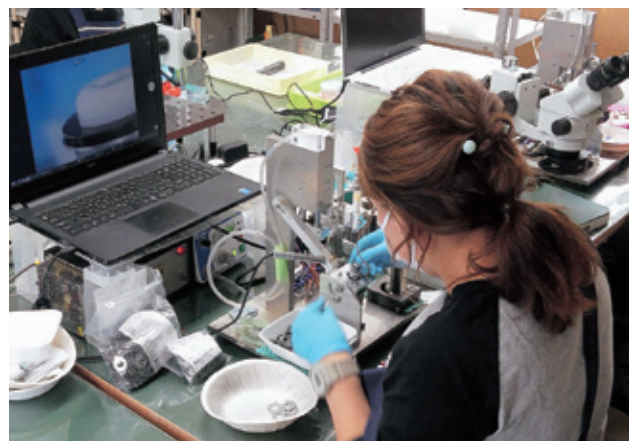
磁界解析シミュレーションソフト及び安定した精密接合を可能とする接合装置、高精度画像寸法測定器を検査工程に導入した結果、部品検査工程において精度の高い測定、測定データの活用、検査結果バラつき防止、測定時間の大幅な短縮を実現。品質向上、短納期化による受注拡大と、顧客先の不良率の低減ができた。



モータ検査



社内風景



接着作業

特性を最大限引き出す着磁ヨークの技術から「超多極モータ」へ。磁石で拓く新たな世界。

56極に着磁した超多極モータ

東京モートロニクスは1987年、永年にわたってモータ開発に携わってきた長谷部洋一社長が精密機器メーカーから独立創業。当初はモータの技術コンサルタントとして、香港企業



超多極モータ

と提携しモータの開発・設計・製造を行っていました。その後、拠点を小諸市、さらに御代田町に移し、各種モータに加え、マグネットの特性を最大限引き出す着磁ヨークの独自設計・開発・製作を手がけ現在に至ります。

モータは小型で特殊なものやオーダーメイドが中心。ネオジムという非常に強力なマグネットを使用した小型ハイパワーのモータが組み込まれた、大手釣り具メーカーの高級電動リールは釣りマニアの憧れになっています。

同社ではさらに、低コギング、軽量化を実現した「超多極ブラシレスDCモータ」を独自開発。日米で特許出願し、中国でも特許申請を準備する一方、用途開発に取り組んでいます。「軽量コンパクトなのに、低速で高トルクが得られる今までになかったモータ。電動車イス、電動アシスト自転車などのパーソナルモビリティや小型ロボットの動力に向いています」と長谷部社長。磁石といえばS/N 2極が一般的なイメージですが、このモータに載る磁石は実に118極に着磁しています。

企業同士のマッチングが大事

それを実現したのが、同社のもう一本の柱である着磁ヨークの技術。着磁とはマグネット材料に



モータの品質検査

磁気を付けることで、着磁ヨークは必要なマグネットの仕様にあわせて発生磁界の形状に着磁する装置です。モータメーカー自ら手がけるの

は珍しく、モータやマグネットへの強いこだわりから磨いてきた高性能・短納期・低価格の製品づくりにより市場で大きな競争力を誇っています。

着磁ヨークのさらなる高精度・高密度化を実現するため、同社は平成26年度ものづくり補助金を活用し、磁場解析ソフト、画像検査装置、溶接機を導入しました。

「磁場は目に見えないので経験による感覚に頼っていましたが、磁場解析ソフトは数値で明確に分かり、画像検査装置も細かい部品の寸法が瞬時に分かる。どちらも効率的なものづくりに大いに役立っています。溶接機はモータのコイルの溶接で品質の安定化が図れました」

同社が力を入れるのは、超多極ブラシレスモータのように、小型・軽量、高性能なモータを独自開発し低価格でつくること。それを実現するためには「企業同士のマッチングが大事」と長谷部社長。「製造、販売で国内外のマッチングパートナーと組み、新たな顧客とのマッチングも図っていきこうと考えています」



溶接装置



画像検査装置



東京モートロニクス株式会社

代表 代表取締役 長谷部洋一
創業 1987（昭和62）年4月
資本金 2,000万円 従業員数 28名
本社 北佐久郡御代田町御代田2797-2

TEL.0267-32-8514 FAX.0267-31-1088

事業内容 電気機器・電子部品の開発・製造・販売及び技術コンサルタント



株式会社中野屋ステンレス

Pick Up!

平成27年度

事業計画名

曲げ・切削工程の生産性向上とブランク・曲げ工程のIoT化の実現

概 要

切削設備を導入し社内LANに接続させることで切削及び板金工程のネットワーク化を実現させるとともに、曲げ工程に設備を導入しブランク工程と曲げ工程をIoT化(監視・保守・分析)することで、社内の生産性を向上させる。

分 類

＜対象類型＞ ものづくり技術
精密加工
製造環境
＜事業類型＞ 高度生産性向上型
IoT

成 果

事業実施前の3つの課題に対して、それぞれ設備投資を行い課題解決の検証を行った。当初の計画通り、曲げ工程の精度向上と加工時間短縮が可能となり、ブランク・曲げ工程のIoT化が実現できた。また、切削工程の社内LAN化が実現でき、当社全体の社内LAN化が完成した。

この結果を踏まえ、本事業が寄与する売上高を1年後には1,200万円、5年後には1,500万円を見込んでいる。



平成25年度

事業計画名

高速チップソーの導入による加工技術の高度化と高効率・短納期生産体制の確立

概 要

現在、各部品切断加工を個別ラインで行っており組立精度、製造法のマンネリ化、工程間のリードタイムが課題となっている。本事業により切断ラインをワンライン化し、高精度加工部品での新たな組立て方法の開発により高効率化・短納期生産体制を実現し自動車業界ほか、成長分野での市場獲得を目指す。

平成28年度

事業計画名

革新的な酸化皮膜除去手法の確立と生産性向上による差別化の実現

概 要

板金業界で初となる酸化皮膜除去専用機を導入することで、生産性を向上させ競合他社との差別化を図るとともに、競争優位を構築する。また、酸化皮膜除去を新たな付加価値として顧客に提供することで収益性を向上させる。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社中野屋ステンレス（伊那市）

ネットワーク構築とIoT化を積極的に進め、
より先進的な社内一貫体制とコストダウンを実現。

大型加工の社内一貫体制が強み

中野屋ステンレスは1902（明治35）年、ブリキ製品を扱う「中野屋ブリキ店」として創業。やがてブリキの流し台を板金加工し販売するようになりました。その後、素材がステンレスに変わり、1955年「中野屋ステンレス」を設立。以来、鉄、ステンレス、アルミなどの素材を扱い、産業用装置をはじめさまざまな製品を精密板金から溶接、塗装、組立まで社内一貫体制で製造しています。



クーラントろ過装置をはじめ大型加工に強み

事業の柱となっているのが、切削加工中に出る切粉と冷却液を分離する切削加工専用機向けクーラントろ過装置。自動車メーカーなど国内外の生産工場に出荷しています。さらに高速道路などのLED電光表示板や各種看板などのフレーム、商業施設や病院などの入口の大型ステンレスドア、屋外のモニュメント、食品関係の自動化設備など。大手コンビニ2社の店頭に置かれているサインスタンドも同社が手がけています。

クーラントろ過装置をはじめ、大型加工ができることが同社の強み。さらにレーザー溶接機の導入により、今までにない画期的な構造の提案が可能になり、顧客に大きなメリットを提供しています。

生産性向上とIoT化を実現

平成27年度ものづくり補助金を活用して取り組んだのが「曲げ・切削工程の生産性向上とブランク・曲げ工程のIoT化の実現」。

従来、板金加工では人が曲げと測定を繰り返して精度を追いついていきますが、ハイブリッドベンダーの導入により、その工程を機械が自動で瞬時に短い加工時間を大幅に短縮。各工程の設備



ネットワークにつながったCAD/CAM

をネットワークでつなぎ監視、保守、分析を行うIoT化を実現しました。

「離れたところから機械の状態が分かり、異常が発生した形状を把握し排除したり、今後の設計に生かすことができます」。そう話すのは、小坂博志社長の子息で社内のネットワーク構築、IoT化の旗振り役を担う、小坂賢一さん。全社員がタブレット端末やスマホで機械の動きやCAD情報を確認できたり、会議資料等の共有化を実現しています。

さらに板金と切削を複合したロボドリルと最新のCAD/CAMを導入。プログラミング室で作成したデータを社内LANを通じて工場内のロボドリルを操作することで、現場の機械を動かしながら次のプログラム作業を行い、生産性向上を図りました。

「大幅なコストダウンと、従来よりもかなり高い精度を実現。熟練度の低い社員でも高度なプログラミングが可能になり、人手不足の中、早く戦力になってもらえる環境づくりにも寄与しています」



スマホで工場内をリアルタイムに確認



ハイブリッドベンダー

新規製品比率が圧倒的に多い同社。「毎日違うものが作りたい」というものづくりの好きな若手社員が多いようです。



©AMADA CO.,LTD.

株式会社中野屋ステンレス

代表 代表取締役 小坂博志
創業 1902（明治35）年
資本金 1,250万円 従業員数 31名
本社 伊那市西箕輪2701-5



TEL.0265-72-4413 FAX.0265-73-5153

事業内容 建築装飾金物・ステンレス各種加工 モニュメント・ステンレス流し台 その他金属加工

野村ユニソン株式会社

Pick Up!

平成25年度

事業計画名

省エネ改善及び生産性向上を実現する
中空鍛造生産ラインの構築

概 要

給湯機器に使用する黄銅鍛造製品について、市場及び顧客要求に応えるために原価低減すること及び市場拡大することを目的として、加熱炉と当社保有の中空鍛造技術を融合させ鍛造生産ライン改善の構築を目指す。

分 類

＜対象類型＞ ものづくり技術
精密加工
製造環境

＜事業類型＞ 成長分野型(環境・エネルギー)
設備投資のみ

成 果

給湯機器に使用する黄銅鍛造製品について、ガス式加熱炉を電気式高効率誘導加熱炉に入れ替え、当社保有の中空鍛造技術を融合させ鍛造生産ラインの改善を図った。

その結果、①製造時間短縮、②エネルギー削減、③材料費削減、④製品原価削減及び⑤販売価格低減が達成された。



中空鍛造による材料費削減



切断方法改良による原価低減

平成24年度

事業計画名

3次元ケーブル操作ロボットの高度化と実用化に向けた開発

概 要

8本のケーブルで空中に吊られた撮影カメラを、従来にない協調制御駆動方式により3次元空間を高速かつ低振動で移動できるロボットを開発し、映像製作・放送業界含め多方面での実用化に向け開発を行う。

平成27年度

事業計画名

3次元ツール活用による構想設計プロセスの構築

概 要

産業製造装置は高機能化及び品質向上が進む中、コスト競争力が求められている。当市場に応えるためには上流工程である「構想設計力の向上」が不可欠であり、原価低減及び市場拡大を目的に、3次元ツール活用による構想設計プロセスの構築を行う。



生産ラインの自動化

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

野村ユニソン株式会社（茅野市）

FA、ロボット、医療機器からワインまで、
“お客様に向けたビジネス”の成果多彩。

ロボットからワインまで

FA関連装置の設計・製造、産業ロボットの開発・製造から、金型設計・製作、精密中空鍛造品、ダイカスト品、バルブ関連製品、医療関連製品、フィルタ製



黄銅鍛造製品

品等の製造まで。その一方、フランスに当地の有名醸造家が醸す自社ワイナリーを持ち、自然派ワインおよび洋酒の輸入販売を手広く行う。

野村ユニソンは多彩なものづくりとワインでグローバルに事業を展開し、いずれもハイレベルな技術、製品で高く評価されているユニークな企業です。

同社は1954年、亜鉛・アルミダイカストおよび金型製造で創業。当時珍しかった金型の自社製造にこだわり、技術を磨いてきました。「それがものすごい技術の集積となり、時計製造機械から、現在の半導体製造装置、液晶検査・製造装置などのハイテク機械の開発・製造へとつながってきたのです」。金型技術がすべての源にある、と野村稔社長は強調します。2000年代には生産ラインの自動化・合理化ニーズを受け、産業用ロボット事業を積極的に展開。グローバルに展開する大手メーカー向けのOEM生産を中心に各種産業ロボットの開発・製造が拡大しています。

同社の強みは自社の合理化設備を自社で開発できること。同社の生産ラインには多彩な製品それぞれに最適化した最新鋭製造設備が稼動し、合理的な製造を実現しています。

商売はお客様に向いていることが大事

同社では新たな開発にもものづくり補助金を積極的に活用。平成25年度ものづくり補助金では給湯機器用に使用する鍛造製品の原価低減と市場拡大を目指し、加熱炉とコア技術のひとつである中空鍛造技術を融合した合理化ラインを構築しました。

「働き方改革は生産性向上しかない」と言い切

る野村社長。「改善・改革にもものづくり補助金がとても役立ち、社員のモチベーションも上がって成果につながっています」

ものづくり会社がワインの輸入販売をなぜ始めたか。その理由をたずねると、こんなエピソードを明かしてくれました。

「商売はお客様に向いていることが大事。お客様のためになることをすればビジネスになるのは、製造業もワインの輸入販売も同じこと。思いついたらとにかくやってみると。ホテルやサービスエリアなども手がけた先代がそう言って始めたんですよ」

すべての事業分野で好調を維持し、医療機器分



フランスの自社ワイナリーで自然派ワインを生産

野では国内外市場をターゲットにした新たなプロジェクトが進行中という同社。その元気の源がここにあるようです。



中空鍛造生産ライン



ロボットが活躍する生産ライン

野村ユニソン株式会社

代表取締役社長 野村 稔
創業 1954（昭和29）年11月
資本金 5,000万円 従業員数 373名
本社 茅野市ちの650

TEL.0266-72-6151 FAX.0266-73-6559

事業内容 産業機器設計・製造、ロボット製造、金型設計・製作、素形材加工（鍛造・ダイカスト）
洋酒・ワイン輸入卸、仏自社ワイナリー運営



有限会社花井精機

Pick Up!

平成24年度

事業計画名

医療器メーカーからの試作(小口・短納期)対応策事業

概要

医療器メーカーなどから試作品開発のために小ロット短納期に対応してほしいという要望がある。しかし弊社は量産型の設備が多く一つの注文での機械占有率が高いため対応が難しい。

そこで汎用NC機械を導入し試作から量産まで一貫した受注を目指す。

分類

＜競争力強化の形態＞ 小口化・短納期化

＜22分野技術＞ 切削加工

＜事業類型＞ 設備投資のみ

成果

医療機器メーカーからの試作開発のための協力依頼があった。それは見積依頼から注文、納品までのサイクル時間の短縮と、コストダウンである。ロットは従来より弊社が得意としてきた量産品ではなく小ロットである。

そこで新規設備を導入し加工工程を分散化することにより同時進行を可能とし、小ロット受注対応と納期の短縮を行った。



昭和50年代のカム式自動旋盤



イングリッシュハンドベルの原型(鋳造品)



小型マシニングセンター

平成25年度

事業計画名

医療器部品の試作から量産への一貫した生産体制と品質保証体制の確立

概要

本事業は、当社における現行事業である医療器の試作を中心とした小ロット部品の加工から、顧客要求である量産移行に対してのQCD保証体制の構築を行う。また、設備投資を起点とした人材育成及び今後中小企業にも求められる問題解決体制の構築を行う。

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

有限会社花井精機（飯田市）

難切削材の高精度加工で試作・小ロットに対応。
オリジナルハンドベルの開発に世界が注目。

難切削材の高精度・超微細加工に強み

医療機器を中心に、空気圧機器、通信機器、航空機などに使われる超精密部品の加工を手がける花井精機。ステンレスの難切削材（SUS316、SUS304）の高精度・超微細加工技術を強みに、試作から小ロット生産への対応に力を入れています。



オリジナルハンドベル

1967年に創業し、時計・カメラ部品を数万個から数十万個のロットで生産していましたが、90年代に入るとメーカーの海外シフトにより状況は一変。そのさなかに家業を継ぎ、社長に就任したのが花井孝文社長でした。当時2台だったNC加工機を10年間で10台増設し、通信機器部品、自動車部品などの受注拡大に努めましたが赤字体質は変わらず。

「経営理念もなく、経営ができていなかった」との反省から、花井社長はまず経営理念『理想探究』を作ります。「社員の理想をかなえられる会社、お客様の理想に応えられる会社、社会が理想とする会社、理想的なものづくり環境のある会社を目指しています」

さらに若手技術者を積極的に採用し一人一人の技術力を上げ、試作・小ロット品中心のものづくりへとシフトしました。

その効果が業績に現れてきたのが、中期経営計画をスタートした8年ほど前。追い風を受け、同社は積極的な展開を模索し始めます。平成24年度ものづくり補助金で汎用NC機とマシニングセン



社員教育で若手社員が作った鈴

ターを、翌年度は複合機を導入。医療機器メーカーなどの試作（小口・短納期）対応の要望に応え、試作から量産までの一貫生産体制を構築しました。

オリジナルハンドベルをつくる

一方、社員教育の一環として製作したオリジナ

ルの鈴が展示会等で評判になり、本格的な「オリジナルハンドベル」の製作プロジェクトを立ち上げたのも8年前。ハンドベルは演奏技術では日本がトップレベルですが、メーカーはアメリカの2社のみ。楽器づくり未経験にも関わらずのチャレンジでした。

全社員がチームに分かれ、期限を区切ってハンドベルづくりに専念。月1回のミーティングも欠かしません。ベル本体の鋳造、持ち手の皮革加工のほか、樹脂加工、精密板金などは地元企業に発注し、地域活性化に寄与するプロジェクトに発展しています。

「最初はハンドベルの音が鳴るしくみすら分からなかった。ベルの形を少しずつ変え、音がどう変わるのか、周波数、倍音、3倍音など基礎データ集めに何年もかかりました。良い音づくりに取り組み、ようやく2018年内には商品化をというところまでできました」



試作から量産までの一貫生産を実現する複合加工機

試作品の試奏評価も上々で、日本ハンドベル連盟はじめ国内外から大きな期待が寄せられる同社。超精密部品とハンドベルで「理想探究」に邁進しています。



有限会社花井精機

代表 代表取締役 花井孝文
創業 1967（昭和42）年8月
資本金 600万円 従業員数 14名
本社 飯田市北方1540



TEL.0265-25-6855 FAX.0265-28-1117
事業内容 医療機器・通信機器・航空機等の精密部品加工

有限会社原製作所

Pick Up!

平成25年度

事業計画名

3Dスキャナ用高精度レンズの設置と3DCAD導入による設計データ作成方法の開発

概要

自動車業界において増産等のため、金型を複製する際、修正や老朽化により設計データと型形状が異なるため、高精度に復元した設計データの製作方法が課題となっている。

そこで、当社保有の3Dスキャナの測定精度を高め、高精度に設計データを製作する方法を開発し、販路拡大を目指す。

分類

＜対象類型＞ ものづくり技術

情報処理

製造環境

測定計測

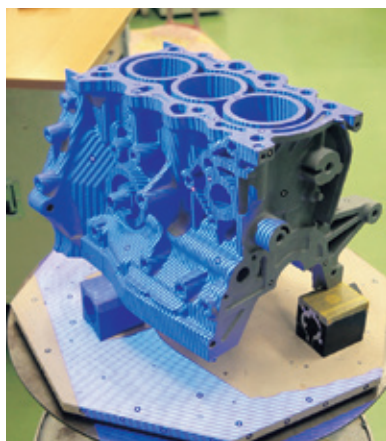
＜事業類型＞ 一般型

試作開発＋設備投資

成果

弊社保有の3Dスキャナの測定精度を高めるためにレンズの増設を行った。また、高精度に設計データを製作するために3DCAD、ワークステーションを導入し、データ製作方法の開発が完了した。

3Dスキャナの高精度化に伴い、精密金型、大型金型の計測が可能となった。また、作業効率も向上し併せて計測から設計データ作成の社内一貫体制が確立でき、機密保持の管理体制が整った。



鋳造品を3Dスキャン



高精度3Dスキャナ ATOSⅢ triple scan



導入した高精度レンズ

平成28年度

事業計画名

航空宇宙産業参入へ向けた大型構造物高精度計測技術の開発

概要

航空機製造では大きな製品を高精度に計測するニーズがあるが、製造会社の装置だけでは対応できないことが多く、計測手法の確立が課題となっている。

当社にて広範囲高精度計測装置を導入し計測技術を開発し販路拡大を目指す。

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

有限会社原製作所（上田市）

昆虫から航空機まで高精度に3D計測する技術で
3Dスキャンから3DCAD化までワンストップ対応。

形状の見える化を可能にする3Dスキャン

モノを立体的にとらえながら設計する3DCADは、ものづくり企業の設計・開発の現場で今やなくてはならない技術。しかし、できあがったモノの検査、品質管理などではほとんどアナログの世界に戻ってしまいます。そのギャップを埋めるのが、原製作所が手がける非接触の3次元計測（3Dスキャン）サービスです。



非接触光学式3次元デジタイザ

原製作所は1952年、原社長の祖父が始めた菓子製造業がルーツ。その後、電機部品の加工組立、マグネット治工具の製造などで実績を積み上げてきました。2008年、後継者として入社した原社長が新規事業として3Dスキャンをスタート。2017年5月にマグネット事業を分社化し、現在は3次元計測事業に特化して展開しています。

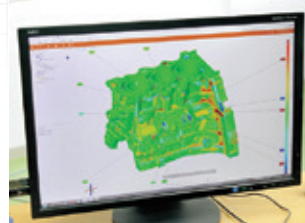
3次元デジタイザや3次元位置計測システムなど、各種3次元測定システムを駆使し、あらゆる立体形状を計測し3Dデータを作成する3Dスキャン。そのメリットについて、原社長は「形状の見える化を可能にすること」と話し、次のように説明します。

「古い金型は壊れたり摩耗しますが、まったく同じものを作り直すのは不可能。図面が残っていない場合が多く、仮にあって職人が現場で修正したりしているからです。しかし現物を3Dスキャンして高精度な3Dデータを作れば、それをもとに再設計し復刻することができます。3DCADは複雑な形を設計できますが検査・検証が難しい。それもあって3Dスキャンの需要が高まっています」

3Dスキャンはタイムマシン

同社には自動車、航空機、重工業、電気など産業界からはもちろん、文化財、美術品、さらには昆虫などの計測依頼も舞い込みます。その守備範囲の広さは3DCADに関する高い技術ノウハウを

持ち、いち早く3Dスキャンを手がけてきた原社長だからこそ。「3Dスキャンサービスを専門で行う会社はほとんどない」というのもフロントランナーならではの。



3DCADの解析画面



社内

同社ではより高精度・高品質な設計データの作成を目指し、平成25年度ものづくり補助金を活用。3Dスキャナの測定精度を高めるためレンズを増設し、高精度に設計データを作成できる3DCADを導入しました。細かいものをより正確に測ってほしいという要望が高まる中、細かいものから大きなものまで高精度に計測する体制は同社の大きな武器になっています。

「3Dスキャンはタイムマシンのようなもの」と原社長。「モノは壊れてもデータは変形しない。3Dスキャンデータをどう活用するか、発想次第でいろいろな使い方ができる夢の技術だと思います」

ものづくりとは一線を画した事業を展開してい



大型クレーンと2柱リフトを完備した計測スペース

ますが、3Dスキャンの技術ノウハウを活かした装置の開発・製造も始めたという同社。創業以来のものづくりのDNAは脈々とつながっています。

有限会社原製作所

代表 代表取締役社長 原 洋介
創業 1952（昭和27）年
資本金 400万円 従業員数 8名
本社 上田市保野248-7



TEL.0268-38-3520 FAX.0268-38-3843
事業内容 各種3Dデータ・リバースモデリング・試作・3次元計測

株式会社ハルディン

Pick Up!

平成28年度

事業計画名

長野農場での接木ロボットの導入による
リレー生産体制の構築

概要

長野農場で接木ロボットの導入によるリレー生産体制の構築を行い、日本が目指しているオランダ型施設園芸農業の進展の後押しと、低下する営農人口問題の解決となる野菜苗の取り扱い量の拡大を行います。

分類

＜対象類型＞ ものづくり技術

機械制御

＜事業類型＞ 一般型

成果

当該事業を推進するためにハード面とソフト面の対応を行いました。ハード面としてはリレー生産体制を構築するために半自動接木ロボットの導入を行い、テスト運用を実施いたしました。ソフト面としては安定的な生産体制に必要な知識レベルを高めるための勉強会や運用体制の構築を行いました。

その結果、野菜苗の生産時期の拡大と安定的な生産が行える状況となりました。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社ハルディン（千葉県印西市）

接木ロボット導入で生産性大幅アップ。
製造業の発想で農業のシステム化を進める。

「リレー生産体制」が大きな特徴

農家の高齢化が進み、後継者不足から日本農業の先行きが不安視されています。その一方で、企業が大規模農業に取り組む動きも活発化しています。

ハルディンは、千葉県印西市で数百年続く農家の跡取りだった篠原茂社長がビジネスとして農業に取り組もうと1979年に設立。植物生産に

製造業の発想を取り入れ、花と野菜の苗の生産を中心に農業生産のシステム化を進めてきました。

現在、印西市に4農場（合計8万3000平方メートル）を展開。第1農場は新品種の試験、新商品の開発、第2農場は野菜の播種、接木、苗作り、第3農場は挿木によるプラグ苗の生産、第4農場はポット苗の生産などを行っています。各農場で役割分担し、リレーして商品を仕上げていく「リレー生産体制」が同社の大きな特徴です。

同社が生産・販売する園芸関連と野菜の苗は、大手総合食品メーカーなど自社農園を展開する企業等の生産者向けと、全国のホームセンターなどで販売する一般向けがほぼ半々。「ハルディン」ブランドに加え、PB商品も増えています。

接ぎ木ロボットを導入

長野農場（東御市）は89年に開設。本社で生産した種苗からポット苗を生産し、98年に開設した浅間、軽井沢（夏場のみの生産）と合わせて11万平方メートルの敷地面積を誇る一大拠点です。「野菜苗を作る上で大事なのは気候差。標高差を利用していろいろな気候が得られる長野ならではのメリットを活かしています」と篠原社長。



種苗からポット苗を生産



野菜苗の生産プラント

同社では日本向け苗の供給を目的に展開した中国農場が中国国内向けにシフト。それを補うため、長野農場でもリレー生産体制を構築し、気温差を活かした生産可能時期の拡張と多品種少量生産を前提とした商品ラインナップの充実に取り組んでいます。

平成28年度ものづくり補助金を活用し、農業先進国オランダ製の接木ロボットを導入したのもその一環。さらに中国やベトナムからの実習生を積極的に受け入れ、研修を終えた人材が現地に帰り活躍する仕組みづくりも行っています。

「オランダは九州ほどの国土にも関わらず世界第2の農産品輸出国。農業技術は日進月歩です。日本も集約農業で生産性を上げていかないと乗り遅れてしまう。我々も人とロボットをセットにして継続的に成長していこうと考えています」



活躍するベトナム人実習生

独自の生産体制を構築し、さらにシステム化・効率化・ロボット化を進める同社。新しい日本農業のあり方が垣間見えるようです。



株式会社ハルディン

代表 代表取締役社長 篠原 茂
創業 1979（昭和54）年12月
資本金 1,000万円 従業員数 60名
本社 千葉県印西市竹袋470-4
TEL.0476-42-5858 FAX.0476-42-3114
長野農場 東御市八重原3533-692
事業内容 花・カラーリーフ・野菜苗の生産・販売



株式会社広田製作所

Pick Up!

平成24年度

事業計画名

汎用的な組込みLinuxを活用したSSD評価試験システムの開発

概要

当社のSSD試験装置開発においては、新しいSSDのInterfaceとして見込まれている“PCI Express Generation3”の顧客ニーズに対して、開発期間の長期化による販売機会の損失リスクや、開発費の肥大が課題となっている。

そこで、これらの開発速度の向上を図るため、そのベースシステムとして組込みLinuxを採用した評価試験システムを開発し、それを元にした装置を商品化させ、そのSSD評価試験装置の市場の獲得を目指す。

分類

＜競争力強化の形態＞ ニッチ分野特化

＜22分野技術＞ 組込ソフトウェア

＜事業類型＞ 試作開発＋設備投資

成果

汎用的な組込みLinuxを活用したSSD評価試験システムを構成するハードウェアおよびソフトウェア開発を行いました。

ハードウェアは、基板設計を行い、外注加工にてA/W、基板製作、部品実装を経て、完成し、動作確認まで終了しました。また、ソフトウェアについてもLinuxOSの最適化作業も含めて終了させることができ、動作確認も終了しました。



製造・組立風景

Pick Up!

平成25年度

事業計画名

大容量磁気ディスクの高速／高品質データコピー技術の開発

概要

大容量の磁気ディスク装置を組み込んだ製品の課題は磁気ディスク装置にデータを書き込むためのコピー時間で、容量増大に比例しこの時間が増大している。

本事業は独自の高速／高品質コピー技術を開発し、コピーシステムの販売と、これを付加価値とした大容量データのコピー業務の事業化を計画する。

分類

＜対象類型＞ ものづくり技術

情報処理

＜事業類型＞ 一般型

試作開発＋設備投資

成果

大容量磁気ディスク装置の高速／高品質のデータコピー技術を開発し、得られた技術から小規模～大規模の磁気ディスク装置コピーシステムの販売や、大容量磁気ディスク装置のデータコピーの請負に対し、事業化の目処を立てることができた。

特に高速データコピーの性能は、市販汎用コピーに比べ10％～20％優れており、台湾／中国製の安価な製品と比較しても20％以上の高速性が報告され、開発技術の有効性を実証することができた。

高品質に対しては、データの安全性とセキュリティを確保した独自の機能を実現できた。



HDD試験装置



基板

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社広田製作所（須坂市）

自社製品とOEM/ODMの二本立てで、
組み込み電子機器製品の開発・製造・販売を手がける。

二度の業態転換を経験

「売上げが3分の1になったリーマンショック後、まったく違う会社とっていいほどの業態転換を図りました」



車載用クレーン制御ユニット（OEM/ODM）の組立

広田製作所は、組み込み電子機器製品の開発・製造から販売まで行うメーカー。独自のHDD/SSD用各種評価装置の設計・開発・製造と、OEM/ODMによる電子機器・メカトロニクス製品の開発・試作・評価・量産の二本立てが同社の大きな特徴です。

広田文雄社長が話す同社の大きな「業態転換」はそれ以前にも経験しています。

明治、大正と隆盛を極めた日本の製糸業の一翼を担った須坂市で、広田家は生糸の仲買商として大成功を収めました。その後、製糸産業が衰退。戦中工場疎開していた富士通の協力会社として1958（昭和33）年に同社を設立し、生糸から精密工業へと最初の業態転換を図りました。2000年前後まで、コンピュータ記憶装置部品および関連機器、試験設備や製造設備の開発・製造を担い、高い技術力で大きな信頼を得てきました。

ところが富士通のものづくり事業の移転、そしてリーマンショックが同社を襲います。それを機に、培ってきた開発・製造技術をより多くのセットメーカーに売ろうと自社製品化。さらにさまざまなメーカーへのOEM/ODMを推進し、車載用クレーン制御ユニット、信号機の車両感知装置など、多彩な製品分野で開発から評価・量産まで手がけています。

多彩なものづくりに対応



HDD用評価装置

「国内外の記憶装置メーカーやセットメーカー各社に当社のHDD評価試験システムを使ってもらっています」
同社では平成24年度

ものづくり補助金を活用し、SSDの新しい通信プロトコルに対応したSSD評価試験機器を開発。ハードウェアおよびソフトウェアの改良で、データを読み書きする速さの試験時間を大幅に短縮しました。「補助金を戦略的かつ有効に活用することで、ものづくり体制を確立できました」

平成25年度ものづくり補助金では、大容量磁気ディスクの高速/高品質データコピー技術を開発。コピーシステムの販売と、大容量磁気ディスク装置のデータコピー請負の事業化を目指しています。

かつて親会社一社の要求に応じてものづくりを行っていた会社から、苦境を機に、品質保証までできる自社の技術を活かして多彩なものづくりに対応する会社へと転換を図った同社。「現在、売上げ構成はHDD/SSD関連が3割、OEM/ODMが



大容量磁気ディスクの高速・高品質データコピー

6割といったところ。今後さらにOEM/ODMを増やしていきたい」と広田社長。独自路線をさらに極めていく考えです。



株式会社広田製作所

代表 代表取締役社長 広田文雄
創業 1958（昭和33）年11月
資本金 1,000万円 従業員数 142名
本社 須坂市大字小河原3954-13



TEL.026-245-1212 FAX.026-248-2974
事業内容 HDD/SSD用各種試験装置の設計・開発・製造、HDD/SSD各種ソリューションサービス、各種電子機器製品およびメカトロニクス製品の開発・設計・製造

不二越機械工業株式会社

Pick Up!

平成28年度

事業計画名

超難加工材料の新規研磨プロセス（スマート研磨）の開発

概要

次世代のパワー半導体材料のSiCやGaNは難加工材で、長時間に及ぶ研磨加工がコスト高の一因となっている。

本事業では、高性能デバイスを低価格で普及させるために、高速・高圧研磨プロセスを開発し、高効率・高品位加工プロセスを確立する。

分類

＜対象類型＞ ものづくり技術

精密加工

＜事業類型＞ 一般型

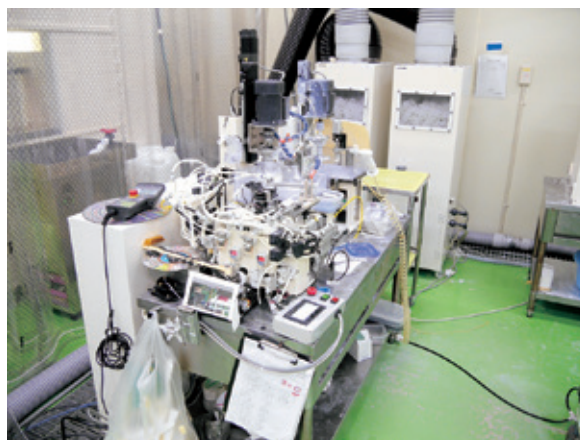
成果

次世代パワー半導体材料のSiCやGaNは難加工材で、長時間に及ぶ研磨加工がコスト高の一因となっている。

本事業では、高性能デバイスを低価格で普及させるために、高速・高圧研磨プロセスを開発し、導入した表面形状測定システムでスマート研磨の性能を確認した。



サファイア用ポリッシングマシン



0.5" ウェハ製造ライン



高精度鏡面ウェハ

平成25年度

事業計画名

硬質材料等の高荷重・高速による研磨装置の開発

概要

サファイア等の硬質材料の研磨において研磨時間の短縮が大きな課題となっている。

開発する研磨装置は高荷重・高速による研磨時間の短縮、生産コストの低減を目的とした装置である。

平成26年度

事業計画名

ミニマルファブに供給する0.5" ウェハ高効率製造ラインの構築

概要

国プロで進めてきたミニマルファブに供給するウェハは、現在手作業で作られているが、ミニマルファブ構想を推し進めるために、ウェハの安定的な供給が求められている。

そのために、生産ラインを高度に自動化し、高品質・高生産性・低コスト化を実現する世界初の高効率製造ラインを開発する。

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

不二越機械工業株式会社（長野市）

新たな半導体の開発を支える究極の研磨技術。
「半歩先」を基本に新分野に積極的に挑戦。

最先端技術とハンドメイドの融合

不二越機械工業は戦時中の疎開企業を引き継ぎ、旋盤、木工機など各種工作機の製造・販売会社として設立。昭和39年、当時実用化され始めた半導体シリコン



ポリッシングマシン

の特殊加工機械の試作に成功し、ラッピングマシンの研究開発をスタートしました。

以来、シリコンウェーハを研磨する加工装置の開発メーカーとして「切る・磨く」技術を追求。その精度は東京ドームのグラウンドを0.1ミリの凹凸もなく平準化するレベルまで極めてきました。

つねに「半歩先」がものづくりの基本。シリコンウェーハの加工径の大型化や、サファイヤなどシリコン以外の幅広い特殊素材の加工など新しい技術に挑戦してきました。そうして培った最先端技術と、顧客の要望を満足する製品を一台一台作り込んでいく“ハンドメイド”の融合が、ラッピングマシン、ポリッシングマシンで世界トップクラスのシェア獲得につながっています。

新たな開発にはものづくり補助金を積極的に活用。これまで硬質材料等の高荷重・高速による研磨装置の開発や、ミニマルファブに供給するウェーハの高効率製造ラインの構築などに取り組んできました。

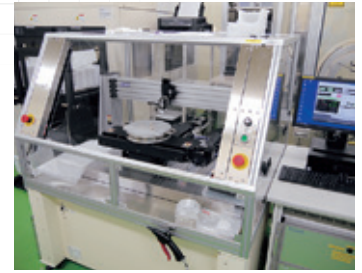
積極的に新分野に挑戦



高速高圧研磨対応装置

さらに平成28年度ものづくり補助金で超難加工材料の新規研磨プロセス（スマート研磨）の開発に欠かせない測定機を導入。従来の5分の1から6分の1の加工時間を実現する新規研磨プロセスの開発に取り組んでいます。

「省エネの切り札」として電力会社や自動車メーカー、電機



測定システム

メーカー等が大きな期待を寄せる次世代パワー半導体材料、SiC（炭化ケイ素）、GaN（窒化ガリウム）。どちらも超難加工材のため長時間の研磨加工が必要で、それがコスト高の一因となっています。

高性能デバイスを低価格で普及させることが本開発の目的。開発の総責任者である市川大造専務は「大学との共同研究であり、理論と実際のマッチングを検証するためにも新しい測定機が必要不可欠でした」と話します。

半導体のさまざまな用途に対応し、国が進めるミニマルファブ構想など新たな製造方法の研究にも積極的に取り組む同社。旗振り役の市川専務は「社会貢献の一環として協力しながら新しいことにチャレンジしていこうと取り組んでいます」と話し、こう続けます。

「研磨機から周辺の自動機、設備機器の開発へ



ミニマルファブに供給するウェーハ製造ライン

と広げていきたい。さらに新規事業としてスタートした医療分野も伸ばしたい。新分野に挑戦するためにも、より幅広い分野の人材の育成を目指しています」



不二越機械工業株式会社

代表 代表取締役社長 市川浩一郎
代表取締役専務 市川大造

創業 1952（昭和27）年5月

資本金 6,000万円 従業員数 202名

本社 長野市松代町清野1650

TEL.026-261-2000 FAX.026-261-2100

事業内容 半導体・電子材料加工装置および周辺装置の開発／製造／販売



代表取締役専務
市川大造

株式会社ミツルヤ製作所

Pick Up!

平成24年度

事業計画名

再生発泡ポリエチレン樹脂製家具「リポ
ス家具（リサイクル ポリ スチレン家具）の
短納期化と多品種小ロット生産への対応

概 要

リポス家具製造販売事業において、板材の品質が安定しないことにより、顧客への納期遅延とロスコストが収益に影響を及ぼしている。また、顧客ニーズも多品種小ロットであり、これらに対応すべく、金型等の設備投資を行い、品質と生産性を向上させる。

分 類

＜競争力強化の形態＞ 小口化・短納期化

＜22分野技術＞ プラスチック成形加工

切削加工

高機能化学合成

＜事業類型＞ 試作開発＋設備投資

成 果

新規金型3機種を導入し、リポス製品用の3種の材料を試作した。その結果、一部改善の余地はあるものの形状については安定的に出るようになり、今後の生産リードタイムの短縮、ロスコストの低減が見込める。加えて、新商品の試作も進め、一部試作品については量産の目途もついた。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社ミツルヤ製作所（松本市）

人と環境にやさしい自社ブランド循環型エコ商品で
新たな販路開拓を目指す。

造作家具で建築工事の一翼を担う

ミツルヤ製作所の創業は1900年。繭の糸を紡ぐ座繰りの製造を主力とし、明治・大正・昭和と世界を席卷した日本の製糸業の発展を支えました。

その後、ステンレス製の流し台を手がけたのをきっかけに住宅用木工製品ヘシフト。公共施設等の造作家具の製造、施工を主体に建築工事の一翼を担っています。2011年に本社・工場を現在地に移転。広々とした家具販売スペースを併設し、オーダー家具から世界の一流ブランドまでクオリティーの高い品揃えにより、より豊かなライフスタイルを提案しています。

田中徹社長は「今後力を入れていきたいのは個人向けオーダー家具をデザインから製作していくこと。より豊かな暮らしのための家具づくりを目指しています」と話します。

一方、10年ほど前から手がけているのが、使用済み食品トレー等のリサイクル樹脂素材（ポリスチレン）を100%使用した再生発泡ポリスチレン樹脂製家具「リポスファアーニチャー」です。雨や紫外線に強く、割れや色落ち、トゲやささくれなどの劣化がない屋外用オーダー家具として自社ブランド商品化。主力の保育園の下足入れは情報・オフィス関連の大手専門商社のカタログにも掲載され、新たな販路開拓につながっています。

「リポスファアーニチャー」で特許

もっともリポスファアーニチャーの板材は生産ロスが大きく、コスト高が難点。品質が安定しないことから納期遅延の問題も抱えていました。

同社では短納期化と多品種小ロット生産に対応するため、平成24年度ものづくり補助金を活用。新たに金型3種を製作し生産スピード向上とロス



「リポスファアーニチャー」の板材と製品



原料となるリサイクル樹脂素材（ポリスチレン）



公共施設等の造作家具

低減に取り組み、2017年には特許を取得しました。

「取り組み成果は表れていますが、板材の品質安定が難しい」。当初から開発を主導してきた禰津吉通専務はそう話し、こう続けます。「幅350ミリ・厚さ20ミリの大きさの板材は当社しか作れません。生き残るためには自社ブランド、しかも他社にマネできないものが必要。さらに開発を続けていきたい」

低価格の家具が人気を集める中、長く使えるワンランク上の家具づくりを進める同社。同専門商社、安曇野市と共同で、松枯れ病で伐採された地域の松材を使用した学校用机を試作するなどのユニークな取り組みも行っています。

「使い捨ての家具を売るのはではなく、良いもの、



家具販売スペース「+VITA」

本物を売るのが当社の使命。その姿勢は今後ずっと持ち続けたいと思っています」。田中社長はそう結びました。



株式会社ミツルヤ製作所

代表取締役社長 田中 徹
創業 1900 (明治33) 年4月
資本金 1,500万円 従業員数 37名
本社 松本市野溝木工1-7-14



TEL.0263-25-8333 FAX.0263-26-8889
事業内容 建築工事、木製家具・建築金物及び鋼構造物工事、エクステリア商品の企画・施工・販売、家具・インテリア商品及び家庭用日用雑貨の製造・販売

有限会社ヤマイチ小椋口クロ工芸所

Pick Up!

平成27年度

事業計画名

真空吸着方式ロクロ導入による付加価値
南木曽ろくろ細工の開発と生産効率の向上

概 要

真空吸着方式ロクロを導入して、今まで技術的に加工が困難であった極薄や芯をズラした南木曽ろくろ細工の新商品を製作して付加価値を向上させ、また、作業時間短縮等による生産効率の向上を実現、高級志向の若い世代をターゲットとした事業展開を図る。

分 類

＜対象類型＞ 革新的サービス

○付加価値の向上

新規顧客層への展開

独自性・独創性の発揮

ブランド力の強化

＜事業類型＞ 小規模型

試作開発等

成 果

真空吸着方式ロクロを導入して、今まで技術的に加工が困難であった極薄や芯をズラした南木曽ろくろ細工の新商品を製作して付加価値を向上させると共に作業時間短縮等による生産効率の向上を実現。高級志向の若い世代をターゲットとした事業展開を図った。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

有限会社ヤマイチ小椋ロクロ工芸所(南木曾町)

「木地師」の伝統と技術を守りつつ、 新たな加工法導入と職人育成に活路を見出す。

南木曾ろくろ細工の伝統を守る

妻籠宿にほど近い南木曾町漆畑地区。明治以来「木地師の里」として知られ、南木曾ろくろ細工の工房が軒を連ねます。



「木地師」の歴史をさかのぼると、1100年以上も前、文徳天皇の第一子・^{これたか}椎嵩親王の家臣で、木地挽きの技術を習得した小椋実秀と大蔵惟仲の末裔とされています。良い木を求めて全国各地へ散らばった木地師たちの子孫は10万人とも。ヤマイチ小椋ロクロ工芸所の小椋一男社長もその系統を継ぐ一人です。

「この地に木地師が移り住んできたのは350年ほど前ともいわれますが、定住したのは明治になってから。ヤマイチとしては私で5代目です」

木曾に生育するトチ、ケヤキ、セン、ナラなどの落葉広葉樹を活かした南木曾ろくろ細工は、木目の美しさ、自然の風合いと手ざわりの良さで結婚式の引き出物や記念品として人気を集め、大量生産をしていた時期もありました。しかし安価なプラスチック製品等を押され、需要が減少。職人も減り、後継者不足に不安を抱える状況が続いています。

小椋社長は伝統工芸士として南木曾ろくろ細工の伝統を守る一方、企業経営者として経営のあり方を模索。同社製品が購入できるインターネットサイトを運営するほか、UFO型の花器、フタが立つ急須台（特許取得）など、新しい顧客の開拓を目指した商品開発も積極的に行っています。



UFO型花器

新たな取り組みに活路

「もっと変化に富んだものができないか。さらに、木をムダにしたくないという思いからこの機械を導入しました」

同社は平成28年度ものづくり補助金を活用し、

真空吸着式ろくろを導入。削る木を真空吸着するため機械に



真空吸着式ろくろを使った加工

固定するのに必要だった余分な木が不要になり、真円を容易にずらすことも可能になりました。今まで技術的に困難だった極薄や新しいデザインの商品開発により他社との差別化を図り、新たな顧客開拓にもつながると考えています。

「新しいことに取り組んで活路を見出したい」と力を込める小椋社長。「お客様に店に来ていただく商売が基本」という同社だけに、近年インバウンドの人気スポットになっている妻籠宿からの誘客は喫緊の課題です。

海外への情報発信にも積極的で、2018年11月には（一財）日本伝統産業振興協会のフランス・パリのショールームで展示会を開催。商品や技術をPRし、現地業者との商談会や一般販売も行いました。

もうひとつは職人の育成です。同社は南木曾町と相談し地域おこし協力隊員を採用。工房で働きながら職人としての技術習得に努めてもらっています。「地域おこし協力隊の3年間はじっくり教え込むことができる。ここに定住して伝統工芸を担ってくれることを期待しています。これは他町村ではやっていないので良い前例になるのではないかと。町も前向きなので楽しみです」



店内



有限会社ヤマイチ小椋ロクロ工芸所

代表 代表取締役 小椋一男

創業 1976（昭和51）年7月

資本金 2,000万円 従業員数 4名

本社 木曾郡南木曾町吾妻4689-239

TEL.0264-58-2041 FAX.0264-58-2665

事業内容 ろくろ工芸など木製品の製作・販売



株式会社ワカ製作所

Pick Up!

平成27年度

事業計画名

日本初、次世代0.8mm (DC～145GHz)
ミリ波 コネクターの開発

概 要

次世代大容量高速通信技術を担う、日本初のミリ波0.8mm (DC～145GHz) コネクターの開発を、測定器を販売しているアンリツより、測定方法等についての協力を得て、世界に先駆けて同コネクターの生産体制を確立する。

分 類

＜対象類型＞ ものづくり技術
接合・実装
＜事業類型＞ 高度生産性向上型
最新モデル

成 果

次世代大容量高速通信技術を担う、日本初のミリ波0.8mm (DC～145GHz) コネクターの開発を行い、目標とする電気特性を持つ製品を開発できた。

2016年度マイクロウエーブ展で、同サンプルを展示し、2017年以降、サンプルの出荷・販売を開始した。

ミリ波コネクターにて「第8回ものづくり大賞 NAGANO 2017」受賞。



ものづくり大賞 NAGANO 2017
NAGANO ものづくりエクセレンス 2017 受賞



開発した0.8mm (DC～145GHz) コネクター

平成24年度

事業計画名

世界初の可視光通信による超小型衛星に使用する高信頼性電源システムの開発

概 要

リチウムイオン電源は高容量・高出力が期待できるが、反面破裂や発火などの危険性が課題となっている。極限環境でも使用できる電源システムの開発を行うことでリチウムイオン電源の市場を獲得する。

平成25年度

事業計画名

人工衛星用セミリジッドケーブル国内唯一の生産体制構築

概 要

人工衛星用のセミリジッドケーブルは、現在、全て海外製であり、国内航空・宇宙産業関連企業の規格を満たす精度の加工機を導入することで、国内唯一の同ケーブル製造が可能となり、競争力の強化を図る。

平成26年度

事業計画名

世界初、JAXA規格による宇宙用同軸ケーブルアセンブリの開発。

概 要

新規JAXA規格と新規半田接合技術を採用し、業界最上位グレードとなる「宇宙産業用」として開発を行う。その耐環境特性の証明のため試作品に信頼性試験を実施し、生産および競争力強化のため生産設備の新規導入を行う。

好機逸すべからず

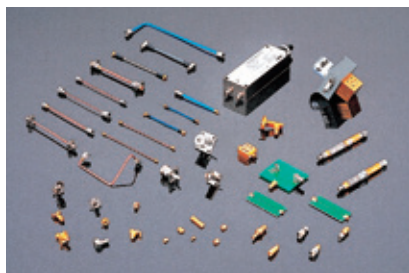
「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社ワカ製作所（東京都）

世界最高レベルの高周波同軸コネクタの開発で次世代大容量・高速通信技術の実現に貢献。

日本初の0.8mmコネクタを開発

麻績村の田園地帯に静かにたたずむワカ製作所麻績工場。ここは無線通信用高周波同軸コネクタ・ケーブルの開発・製造



高周波同軸製品

で日本をリードする同社のメインファクトリーです。

1958年東京で創業当初からソニーと取引を始め、AV関係のピンジャックやコネクタを多数供給。携帯音楽プレーヤー「ウォークマン」やゲーム機「プレイステーション」のコネクタや電子部品なども開発から手がけました。64年にはより広い生産拠点を求め、創業者の父親の出身地だった麻績村に工場を移転。73年には安曇野市明科に松本工場を開設しました。

しかし80年代後半、民生用製品を韓国の子会社に生産移管し、国内では無線通信用の高い周波数が求められる同軸コネクタの開発・製造に特化することを決めました。

「87年に18GHz（ギガヘルツ）、90年代に40GHz、65GHzに対応、99年には、日本初の110GHz対応コネクタの開発、量産化に成功しました。実際にはまだ用途がなかったのですが、市場に需要が生まれる前に高い技術を確立しておきたいと考えたのです」と若林佳之助社長。さらに2016年、平成27年度ものづくり補助金を活用し次世代大容量・高速通信技術の実現に貢献する日本初の0.8mm（～145GHz）コネクタを開発しました（「NAGANOものづくりエクセレンス2017」認定）。

同軸メーカーから高周波部品メーカーへ



0.8mmコネクタの設計・検証を行うネットワークアナライザ

同社の高周波同軸コネクタ・ケーブルは無線通信設備、光伝送装置、MRIなどの医療機器の他、半導体デバイス計測装置、管制レーダー、

航空レーダー、衛星通信、人工衛星など多くの先端分野で活躍。



宇宙用同軸ケーブルアセンブリの開発を可能にしたケーブル曲げ機

同軸コネクタ分野で国内唯一のJAXA認定メーカーであり、JAXA規格による宇宙用同軸ケーブルアセンブリの開発など宇宙レベルの品質が高く評価されています。さらに研究開発が進む、8K映像の非圧縮信号無線伝送や建設機械の自動運転システムなどに使われる高精度レーダーなどで、0.8mmコネクタの需要の高まりが期待されています。

もっとも若林社長は、同軸で実現できる周波数帯は頂点に達しつつあると考えています。「同軸コネクタメーカーから、高周波部品メーカーへ。金属加工だけでなく、いろいろな構造を考えながら、あらゆる方法で高周波信号を送るという視点で事業展開していきたいと考えています」

松本工場は産業用ケーブル、金属切削加工の製



人工衛星用セミリジッドケーブル国内唯一の生産体制構築

造拠点。新規事業としてリチウムイオンバッテリーに対応したソーラー充電モジュールの開発も手がけ、新たな事業軸の確立を目指しています。



株式会社ワカ製作所

代表 代表取締役社長 若林佳之助
創業 1958（昭和33）年4月
資本金 2,300万円 従業員数 94名
本社 東京都新宿区西新宿1-20-3
西新宿高木ビル6階



TEL.03-6635-5410 FAX.03-6635-5420

事業内容 高周波同軸事業、デジタルインターフェース事業、リチウムイオン電池事業、機械加工事業



資料編

補助事業の概要

補助事業名	平成24年度 ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金		平成25年度補正 中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業	
事業の目的	ものづくり中小企業・小規模事業者が実施する試作品の開発や設備投資等に要する経費の一部を補助することにより、ものづくり中小企業・小規模事業者の競争力強化を支援し、我が国製造業を支えるものづくり産業基盤の底上げを図るとともに、即効的な需要の喚起と好循環を促し、経済活性化を実現することを目的とする。		ものづくり・商業・サービスの分野で環境等の成長分野へ参入するなど、革新的な取組にチャレンジする中小企業・小規模事業者に対し、地方産業競争力協議会とも連携しつつ、試作品・新サービス開発、設備投資等を支援する。	
補助対象者	日本国内に本社及び開発拠点を有する中小企業者。本事業における中小企業者とは、「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」第2条第1項に規定する者をいいます。		日本国内に本社及び開発拠点を有する中小企業者。本事業における中小企業者とは、【ものづくり技術】で申請する者は「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」第2条第1項、【革新的サービス】で申請する者は「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」第2条第1項に規定する者をいいます。	
補助対象要件	ものづくり中小企業・小規模事業者であり、以下の要件をすべて満たす者 (1) 顧客ニーズにきめ細かく対応した競争力強化を行う事業であること (2) どのように他社と差別化し競争力を強化するかについての事業計画を提出し、認定支援機関に事業の実効性等が確認されていること (3) 「中小ものづくり高度化法」の特定ものづくり基盤技術を活用した事業であること		認定支援機関に事業計画の実効性が確認された中小企業・小規模事業者であり、以下の要件のいずれかを満たす者 【ものづくり技術】 「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用していること 【革新的サービス】 革新的なサービス提供等を行い、3～5年計画で「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成する計画であること	
事業類型等	「試作開発」 補助上限額 1,000万円	① 小口化・短納期化型 グローバル競争が激化し、顧客ニーズが多様化する中、顧客からの多品種少量生産・短納期化のニーズに対応可能な体制を構築	1. 成長分野型 補助上限額 1,500万円 設備投資 ^注 が必要	ものづくり技術 革新的サービス 「成長分野」とは「環境・エネルギー」「健康・医療」「航空・宇宙」の3分野 専ら、上記3分野のいずれかに関する試作品・生産プロセスの改善・新サービス開発に取り組む者とする。
		② ワンストップ化型 複数の技術を組み合わせた一貫生産体制の導入などを通じて、顧客の幅広いニーズに迅速に対応可能な体制を構築		
	「試作開発＋テスト販売」 補助上限額 1,000万円	③ サービス化型 長年培った知恵と経験を活用し、顧客のニーズに対して中小企業側から積極的な提案を行うなど、製品以外の付加価値をつけた形での商品提供が可能な体制を構築	2. 一般型 補助上限額 1,000万円 設備投資 ^注 が必要	補助対象要件を満たす案件は、全て申請可能 「1. 成長分野型」「3. 小規模事業者型」に該当する申請も、一般型に申請可能だが、複数の申請はできない。
	「設備投資」 補助上限額 1,000万円	④ ニッチ分野特化型 潜在的なニーズがあるにもかかわらず、他社が気付かないまたは市場規模が小さいため参入しない隙間となっているニッチ分野について、ものづくり中小企業・小規模事業者の高い技術力と機動力・柔軟性を活かし、経営資源を集中して競争力を強化する体制を構築 ⑤ 生産プロセス強化型 新興国企業との競合や原材料価格の高騰などを背景に、低価格化のニーズに応えるべく、ものづくり中小企業・小規模事業者の柔軟性と技術力を活用して、従来の生産プロセスを見直し、生産性を向上させることで、品質を落とさずに低コスト製品に対抗しうる製品を生産	3. 小規模事業者型 補助上限額 700万円 設備投資 ^注 は不可	「中小企業基本法」第2条第5項（昭和38年7月20日法律第154号）の「小規模事業者」に限る。おおむね常時使用する従業員の数が20人（商業又はサービス業に属する事業を主たる事業として営む者については、5人）以下の事業者
補助下限額	100万円以上			
補助率	補助対象経費の2/3以内			
補助対象経費	原材料費、機械装置費、外注加工費、技術導入費、直接人件費、委託費、知的財産権等関連経費、専門家謝金、専門家旅費、運搬費、雑役務費			

注) 設備投資とは専ら補助事業のために使用される機械・装置、工具・器具及び専用ソフトウェアの取得のための経費（「機械装置費」といいます）のうち、補助対象経費で単価50万円(税抜き)以上を計上する場合を指します。

補 助 事 業 名	平成26年度補正 ものづくり・商業・サービス革新補助金			平成27年度補正 ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金	
事 業 の 目 的	国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、認定支援機関と連携して、革新的な設備投資やサービス・試作品の開発を行う中小企業を支援する。			国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、認定支援機関と連携して、革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行う中小企業・小規模事業者の設備投資等を支援する。	
補 助 対 象 者	日本国内に本社及び開発拠点を有する中小企業者。本事業における中小企業者とは、【ものづくり技術】で申請される方は「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」第2条第1項、【革新的サービス】、【共同設備投資】で申請される方は「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」第2条第1項に規定する者をいいます。				
補助対象要件	認定支援機関に事業計画の実効性が確認された中小企業・小規模事業者であり、以下の要件のいずれかを満たす者 【革新的サービス】 「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出等であり、3～5年計画で「付加価値額」年率3％及び「経常利益」年率1％の向上を達成できる計画であること。 【ものづくり技術】 「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した画期的な試作品の開発や生産プロセスの革新であること。 【共同設備投資】 事業実施企業により構成される組合等（中小企業組合、共同出資会社又は社団法人）が事業管理者となり、複数の事業実施企業が共同し、設備投資により、革新的な試作品開発等やプロセスの改善に取り組むことで、事業実施企業全体の3～5年計画で「付加価値額」年率3％及び「経常利益」年率1％の向上を達成できる計画であること。			認定支援機関に事業計画の実効性が確認された中小企業・小規模事業者であり、以下の要件のいずれかを満たす者 【革新的サービス】 「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出・サービス提供プロセスの改善であり、3～5年計画で、「付加価値額」年率3％及び「経常利益」年率1％の向上を達成できる計画であること。 【ものづくり技術】 「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した革新的な試作品開発・生産プロセスの改善を行い、生産性を向上させる計画であること。 高度生産性向上型は上記に加え、「IoT等を用いた設備投資」（IoTを用いた設備投資」「最新モデルを用いた設備投資」のいずれかを指します）を行い生産性を向上させ、「投資利益率」5％を達成する計画であること。	
事 業 類 型 等	革新的サービス	ものづくり技術	共同設備投資	革新的サービス	ものづくり技術
	1. 一般型 補助上限額 1,000万円 設備投資 ^注 が必要	補助上限額 1,000万円 設備投資 ^注 が必要	補助上限額 共同体で5,000万円 (500万円/社) 設備投資 ^注 が必要 「機械装置費」以外の経費は、事業管理者の「直接人件費」を除き補助対象経費として認めません。	1. 一般型 補助上限額：1,000万円 設備投資 ^注 が必要 「機械装置費」以外の経費については、総額で500万円（税抜き）までを補助上限額とします。	
	2. コンパクト型 補助上限額 700万円 設備投資 ^注 不可			2. 小規模型 補助上限額：500万円 設備投資 ^注 可能（必須ではない） 設備投資を行う場合は「設備投資のみ」、行わない場合は「試作開発等」となり、補助対象経費が異なります。	
	3. 高度生産性向上型 補助上限額 3,000万円 設備投資 ^注 が必要 「機械装置費」以外の経費については、総額で500万円（税抜き）までを補助上限額とします。				
補 助 下 限 額	100万円以上				
補 助 率	補助対象経費の2 / 3以内				
補助対象経費	機械装置費、原材料費、直接人件費、技術導入費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費、運搬費、専門家経費、雑役務費、クラウド利用費 設備投資のみの場合は、機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費が対象となります。			機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費 小規模型の「試作開発等」は、原材料費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費、クラウド利用費も対象となります。	

注) 設備投資とは専ら補助事業のために使用される機械・装置、工具・器具及び専用ソフトウェアの取得のための経費（「機械装置費」といいます）のうち、補助対象経費で単価50万円(税抜き)以上を計上する場合を指します。

補助事業名	平成28年度補正 革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金		
事業の目的	国際的な経済社会情勢の変化に対応し、足腰の強い経済を構築するため、経営力向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための中小企業・小規模事業者の設備投資等の一部を支援します。		
補助対象者	日本国内に本社及び実施場所を有する中小企業者。本事業における中小企業者とは、【ものづくり技術】で申請される方は「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」第2条第1項、【革新的サービス】で申請される方は「中小企業等経営強化法」第2条第1項に規定する者をいいます。		
補助対象要件	認定支援機関に事業計画の実効性が確認された中小企業・小規模事業者であり、以下の要件のいずれかを満たす者 【革新的サービス】 「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出・サービス提供プロセスの改善であり、3～5年計画で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。 【ものづくり技術】 「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した革新的な試作品開発・生産プロセスの改善を行い、生産性を向上させる計画であること。 第四次産業革命型は、上記に加え「IoT・AI・ロボットを用いた設備投資」を行うこと。		
事業類型等	革新的サービス		ものづくり技術
	1. 第四次産業革命型		
	補助上限額：3,000万円		
	設備投資 ^注 が必要 「機械装置費」以外の経費については、総額で500万円（税抜き）までを補助上限額とします。		
	2. 一般型		
	補助上限額：1,000万円		
	設備投資 ^注 が必要 「機械装置費」以外の経費については、総額で500万円（税抜き）までを補助上限額とします。		
	3. 小規模型	設備投資のみ	※雇用増（維持）をし、5%以上の賃金引上げについては、補助上限を倍増
		補助上限額：500万円	
		設備投資 ^注 が必要	
		右記により補助上限額を増額した場合は、「機械装置費」以外の経費については、総額で500万円（税抜き）までを補助上限額とします。	※最低賃金引上げの影響を受ける場合については、補助上限をさらに1.5倍
		試作開発等	
		補助上限額：500万円	
	設備投資 ^注 可能（必須ではない）		
補助下限額	100万円以上		
補助率	補助対象経費の2/3以内		
補助対象経費	機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費 小規模型の「試作開発等」は、原材料費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費、クラウド利用費も対象となります。		

注）設備投資とは専ら補助事業のために使用される機械・装置、工具・器具及び専用ソフトウェアの取得のための経費（「機械装置費」といいます）のうち、補助対象経費で単価50万円（税抜き）以上を計上する場合を指します。

フォローアップ事業の概要

目 的	平成24年度から平成28年度までのものづくり補助金事業に取り組まれた補助事業者に対し、事業化の進捗状況等を適切に把握するとともに、ものづくり補助金事業により導入した機械装置や試作開発した商品の販路開拓、販売促進に係わる各種の支援活動を行うこと	
対 象 者	「平成24年度補正ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」、「平成25年度補正中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業」、「平成26年度補正ものづくり・商業・サービス革新補助金」、「平成27年度補正ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」及び「平成28年度補正革新的なものづくり・商業・サービス開発支援補助金」(以下「ものづくり補助金事業」という)を実施した補助事業者	
実 施 期 間	平成29年4月1日～平成34年1月末までの5年間 ただし各事業年度ごと実施終了時期が異なります。平成24～26年度補正事業はそれぞれ事業化状況報告終了年度までになります。	
事 業 内 容	事業計画	長野県地域事務局(長野県中小企業団体中央会)の取組
	1. 補助対象機械装置(試作品)等及び事業化進捗状況等の確認 (平成24～27年度補正) (1) 平成29年度に現地確認を実施した補助事業者 機械装置(試作品)等の現況確認、事業化の進捗状況のヒアリングと事業化状況報告システムに正しく反映されているかどうかの確認及び販路開拓・販売促進などの支援希望の有無を確認する。 (2) 平成30年度に初めて現地確認を実施する補助事業者 (1)に加え、改ざん防止のため補助事業で使用した領収書への押印を行う。 2. 成果事例集の作成、展示・商談会の開催 (平成24～28年度補正) (1) 成果事例集の作成 ものづくり補助金活用事例や事業化成功事例などを集めた事例集を作成し、関係機関等に配布したうえで、ものづくり補助金事業での成果の周知を図る。 (2) 展示・商談会等の開催 展示・商談会等の開催・出展にあたっては、必ず商談の場を設けること(又はその機会があること)。開催場所は、来場者の利便性や集客等を勘案すること、大きな成果が見込める特定の地域での開催・出展が可能である。 平成28年度補正事業の補助事業者が出展する場合は、すでに事業化を図っていること。	長野県地域事務局のサポーターが、平成24～27年度補正ものづくり補助金事業に取り組まれた補助事業者を訪問し、左記の事項について現地調査による確認等を行います。 年度内に対象となる全補助事業者を訪問させていただく予定です。 (1) 成果事例集 平成24～28年度補正事業の成果を内外に広く周知することを目的として、平成30年11月に「好機逸すべからず Vol.4」(ご覧いただいている冊子)を発刊します。本会ホームページ(http://www.alps.or.jp/)のものづくり補助金のコーナーでPDF版をご覧いただくことができます。このコーナーでは、過去に発刊したVol.1～Vol.3のPDF版もご覧いただけます。 掲 載 数：24事例 掲載費用：無料 (2) 展示・商談会 「新価値創造展2018」に共同出展し、平成24～28年度補正事業の成果をPRし多くのビジネスマッチングを目指します。 会場：東京ビッグサイト(東京国際展示場) 会期：平成30年11月14日(水)～16日(金) 長野県出展社数：19社(全体では660社を予定) 出展費用：無料



長野ものづくりホームページ

事業内容	3. 長野県地域事務局独自の販路開拓・販売促進支援活動の実施 (平成24～28年度補正) 長野県地域事務局が独自の支援事業を実施する。	(1) 信州フード銀座商談会 ものづくり補助金を活用した、ナショナルブランドにはない個性と魅力を備えた信州ならではの食品を、首都圏を中心とするバイヤーに提案するためのマッチング商談会を行います。 会場：ビジョンセンター東京有楽町 東京都中央区銀座1-6-2 銀座Aビル 会期：平成30年11月20日(火) 出展社数：15社 出展費用：無料 (2) 長野ものづくりホームページ ものづくり補助金事業者のまとめサイト。企業情報、技術／製品／サービス情報、ものづくり補助金情報、担当者情報に加え、代表者の性格や趣味も登録されています。興味を惹かれる事業所や代表者を見つけたら、簡易SNS機能により、簡単にコンタクトできます。 ケース1：ものづくり補助金事業の成果の商談を進めたい、Win-Winの関係となる事業者を探したい。 ケース2：試作品の量産化をしたい、受け入れてくれる協力事業者を探したい。 ケース3：ものづくり補助金事業で導入した設備の稼働率を上げたい、ついては近くで事業者を探したい。 ものづくり補助金事業に取り組んだという共通事実を持つ中小企業・小規模事業者の経営者・担当者が、これらのケースのいずれについても、適切なパートナーを探し、簡易SNS機能を使ってコンタクトすることができます。 ものづくり補助金事業者同士のこのようなコミュニケーションだけでなく、長野県内外の企業・関係者等との情報交換やパートナーづくりのツールとしてもご利用いただけます。 開設：平成29年4月 https://n-mono.org/ 登録可能事業者：平成24～28年度補正ものづくり補助金事業者 登録費用：無料
	4. 全国事務局(全国中小企業団体中央会)が行う販路開拓・販売促進支援活動 (平成24～28年度補正) 全国事務局が支援事業を実施する。	(1) 中小企業 新ものづくり・新サービス展 ものづくり補助金事業に取り組み、事業化段階1以上(平成28年度補正の場合は事業化が見込めること)の事業者が事業の成果をPRし、販路開拓、市場創出、企業間連携の実現、情報収集・交換などのビジネスチャンスの提供を受けて、事業化促進を図ることを目指します。 大阪会場 会場：インテックス大阪(大阪国際見本市会場) 会期：平成30年11月27日(火)～29日(木) 長野県出展社数：8社(全体では426社を予定) 東京会場 会場：東京ビッグサイト(東京国際展示場) 会期：平成30年12月11日(火)～13日(木) 長野県出展社数：20社(全体では736社を予定) 出展費用：無料(両会場とも) (2) ものづくり補助金事業関連サイト 全国の成果事例、展示・商談会等のイベント情報、ものづくり補助金事業の採択結果等を掲載して情報提供を行う。平成30年度は動画による成果事例、ケーススタディを追加します。 開設：平成29年10月 http://www.monodukuri-hojo.jp/

平成24年度補正～平成28年度補正 ものづくり補助事業 採択事業者一覧

平成24年度補正分

(受付順。事業者名は発刊時、事業計画名は平成24年度採択時の申請内容を記載)
(Vol.1～4は当該事業者が掲載されている成果事例集の巻を示します。本会ホームページでもご覧いただけます)

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
1	榎山金型工業株式会社	金型への新しい加飾デザイン技術「D3テクスチャーR」の開発	
2	株式会社イングスシナノ	高性能中小型液晶パネルモジュール実装技術の開発	
3	東新精工株式会社	新型EGRクーラープレス部品の金型及び大型プレスの開発・実用化	
4	株式会社石原産業	非磁性・エリンバー特性を持つZr基金属ガラスのインサート鋳造技術の開発	
5	株式会社マイクロジェット	インクジェット式DNAチップ製造装置の試作開発	
6	渋江精密工業株式会社	半導体チップ吸着用シャフトの最適加工プロセスの試作開発	Vol.4
7	株式会社サイベックコーポレーション	表面テクスチャ鍛造金型を用いた歯科用CAD/CAM材の高度化研究開発	Vol.2
8	株式会社ライト光機製作所	「倍率クイック切り替え・照準パターン変化式」特殊性能ライフルスコープの開発	Vol.2
9	株式会社ちくま精機	次世代液晶パネル点灯検査用信号発生装置の開発・試作	Vol.1
10	吉田工業株式会社	金型寿命向上のための摩耗進捗管理技術開発	Vol.1
11	東洋精機工業株式会社	工作機械の高精度化・短納期化・内製化に対応する為の高精度平面研削盤導入	
12	アルティメイトテクノロジーズ株式会社	電子機器の開発期間短縮のためのシミュレーション技術の確立と事業化	
13	新和工機株式会社 ファーマックメディカル株式会社	フレキシブル性を有する整形外科用手術器械の開発と溶接技術の確立	
14	コーデンシDH株式会社	半導体ウエハー部品の両面測定装置開発	
15	多摩川精機株式会社	超小型衛星向け姿勢制御システム(姿勢制御系)の組込みソフトウェアの開発	
16	有限会社米山金型製作所	鏡面加工品の磨きレス化	
17	株式会社小松精機工作所	マイクロテクスチャ機能表面を実現するプラズマ窒化金型工具の開発	Vol.3
18	株式会社オサチ	測定負担を低減した高精度動脈硬化検査装置の開発	
19	株式会社仙醸	一年を通じた「どぶろく」の製造・販売体制の構築	
20	アスザック株式会社	セラミックス研削加工における工具破壊ゼロ加工方法の開発	Vol.1
21	ミカドテクノス株式会社	真空・熱・加圧・光技術の複合化により凹凸面へ均一な加熱加圧が可能な装置の開発	
22	株式会社共進	冷間プレスによる塑性変形を用いた新たな金属部品接合方法の開発	Vol.2
23	大和電機工業株式会社	Sn、Sn合金めっきの加熱実装時に発生するボイドを抑制するためのめっきプロセスの開発	
24	株式会社フォワード	超硬材微細切削加工の実用化に向けての試作開発	
25	有限会社斉藤精工	最新鋭CNC旋盤の導入による多品種小ロット受注での高精度・超短納期対応強化	
26	太陽工業株式会社	自動車部品の生産性向上を実現するリニア駆動高速搬送装置の開発	
27	株式会社協和精工	ブレーキ用新摩擦材料の開発と実用化	Vol.1
28	株式会社丸信製作所	高周波熱処理工程と研磨工程のワンライン化	Vol.1
29	株式会社スギムラ精工	板鍛造技術の高度化による歯車部品のプレス加工への工法転換	Vol.4
30	株式会社大東製作所	プラズマ溶射による多層・複合層の均一被膜の生成	
31	有限会社花井精機	医療器メーカーからの試作(小口・短納期)対応対策事業	Vol.4
32	株式会社ミゾグチ	電子デバイス部品の接合におけるコスト低減のための代替材料を使用した部品の量産方法の確立	
33	株式会社SPIエンジニアリング	細穴検査装置の試作開発	
34	岡谷熱処理工業株式会社	高速度工具鋼の高度熱処理技術の試作開発	Vol.1
35	三和ロボティクス株式会社	試作から量産までのスピード供給を実現する生産管理システムICT化事業	
36	ナビオ株式会社	溶解ルツボ直接加熱方式を利用した溶解保持兼溶炉の開発	
37	株式会社デジタル・スパイス	アイススティック挿入機異物混入ゼロ化装置試作	
38	ナパック株式会社	CMC(カーボンマイクロコイル)を用いた触覚・近接センサー機構の開発	Vol.3
39	株式会社ミノス	高密度に配置されたプローブを有する高速な半導体集積回路検査装置の開発及び生産	
40	株式会社システムアドバンス	IC-Package用フォトマスクの短納期体制構築	
41	株式会社アルプスツール	工作機械用スピンドル事業	
42	株式会社松一	金属新素材に対する新しい研削研磨手法の開発による腕時計部品の実用化	
43	株式会社カサイテクノ	部品製造機器増設による生産プロセス強化事業	Vol.1
44	サイミックス株式会社	超小型赤外線センサー用ウェハレベルパッケージの試作開発	
45	株式会社ニシムラ	レンズ洗浄技術の高度化による組立行程の効率化	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
46	アスリートFA株式会社	ピエゾ素子を用いた「高精度・低荷重」電子部品実装装置の試作開発	Vol.4
47	株式会社ニチワ工業	金属セラミックスと耐衝撃吸収繊維板の開発	
48	株式会社ケントク	超高真空ターボ分子ポンプ用、ダイガスト製固定翼の高効率加工法の確立	
49	株式会社東陽	内視鏡下手術用鉗子等の高速・高能率切削加工技術の開発	Vol.1
50	ミナト光学工業株式会社	小型軽量の高精度1軸粗微動調整装置の開発	Vol.2
51	株式会社ダイヤ精機製作所	インライン型・微細ミーリング加工機の開発	Vol.3
52	株式会社河西精機製作所	CAM導入による携帯通信端末の検査用接触端子の試作対応力改善	
53	株式会社牛越製作所	Au基金属ガラス及びPt基金属ガラスのダイガストによるネットシェイプ成形技術の開発	
54	株式会社ミヤサカ工業	「自動車、変速機部品の研削工程での高精度化と不良ゼロ工程確立の試作開発」	
55	株式会社NEXAS (採択時：株式会社赤羽製作所)	CATIA V5導入により切削加工と測定精度を確保して、航空機構造部品加工を行う	
56	株式会社テーケー	圧入プロジェクション接合による低コスト高信頼性の自動車部品の試作開発	
57	コーエー精機株式会社	新規参入（宇宙・航空機産業等含む）のための最先端技術レベルの向上。加工の蓄積による顧客対応力強化を目指した設備投資-NC複合旋盤導入	
58	有限会社デザイン アンド テクノロジー	低価格新プラズマ発生装置の試作開発	
59	株式会社長野三洋化成	100%再利用樹脂を用いた耐水性・耐久性に優れた環境型リサイクルボード提供事業	
60	株式会社日本点眼薬研究所	多ユニット液中異物・容器外観検査機の開発	
61	有限会社平出製作所	整備導入により生産効率を上げ受注拡大を図る。	
62	株式会社マルヒ	導水管理込型マイクロ発電機の小型化と内製化	Vol.1
63	株式会社LADVIK	エアバックバンドの国産化、開発	
64	株式会社サンクゼール	ワインのぶどう残渣を利活用した高機能食品の試作開発	
65	野村ユニソン株式会社	3次元ケーブル操作ロボットの高度化と実用化に向けた開発	Vol.4
66	株式会社ショーシン	スピードスプレー専用動力伝達装置の開発・生産	
67	株式会社長野サンコー	カシメ強度全数保証自動機の開発	
68	株式会社イー・アイ・エヌ	高齢者、障害者向け杖用スタンドライトの開発	
69	株式会社荻原製作所	家庭用燃料電池システム向け複合センサの開発	Vol.2
70	株式会社ミツルヤ製作所	再生発泡ポリエチレン樹脂製家具「リパス家具（リサイクル ポリ スチレン家具）の短納期化と他品種小ロット生産への対応	Vol.4
71	株式会社矢崎製作所 (採択時：有限会社矢崎製作所)	小ロット・短納期に向けた治工具システムの開発	
72	有限会社手嶋製作所	新発電システムの電極部品加工事業	
73	有限会社フィット	プラスチック非球面レンズを用いた広視野眼鏡	
74	株式会社ヤマザキアクティブ	鍛造・プレス加工技術向上による、「新開発ゆるみ止め座金の量産体制確立」にむけた試作開発	Vol.1
75	有限会社イタクラ	同時切削加工化による競争力アップ	
76	株式会社コミヤマ	大物加工品の加工原価低減による受注拡大	
77	株式会社ミスズ	諸外国との競争力強化を目的とした新たな生産プロセスの構築と、次世代を担う若い技術者の育成	
78	株式会社ミヤタ	塑性加工における工法改良に依る試作開発事業	
79	株式会社平出精密	極薄板精密板金加工における高精度歪計測装置の開発	
80	株式会社サンジェム	高精度デジタルマルチメータ用リニアリティ校正装置の開発	
81	有限会社デーデック	ばね製造の技術を活用した農業や家庭菜園における支柱締結部材の商品化	
82	飯山精器株式会社	切削加工での最新ITを活用したシステム開発による生産性向上や売上拡大	Vol.1
83	株式会社フロンティア	高耐圧プラスチックポンプの開発	Vol.1
84	株式会社駒ヶ根電化	次世代ハイブリッド車搭載抵抗器向けの新たな「めっき工法」の開発	
85	プラテック工業株式会社	測定技術高度化による金型競争力の向上	
86	アルファデザイン株式会社	電子式ディスプレイを有する高効率スターリングエンジンの試作開発	
87	三共化成株式会社 (採択時：三共プラスチック工業株式会社)	生産性の良いFPC用狭ピッチコネクタ部品の試作開発	
88	有限会社桜企画	光造形によるインサート試作工法の開発	
89	株式会社松原ニット	安曇野市特産「穂高天産糸」を活用したゴム地成型による試作品開発	
90	長野精工株式会社	環境整備機械（乗用芝刈り機）のアルミ鋳造部品の特殊鋳造工法と部品加工技術の試作開発	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
91	中村製作所株式会社	プレス加工に於ける生産革新に挑戦し、海外工区との大幅な競争力向上を図る為の生産プロセス開発。	
92	福源酒造株式会社	アルプス湧水・ひとごち米を利用した低温醸造法による「吟醸発泡酒」の開発	
93	三全精工株式会社	自動車燃料系複数部品の一体化金属プレス加工技術の開発	
94	株式会社ダイシン	複合旋盤の導入による生産プロセスを強化した生産体制の実現	
95	株式会社カウベルエンジニアリング	NFCリーダー/ライタの開発	Vol.1
96	飯田精密株式会社	新規生産管理システムの導入による品質管理の向上、低コスト化、納期短縮の実現	
97	株式会社リバーセイコー	細径内視鏡による画像の鮮明化に資する試作機の開発	
98	株式会社宮坂ダイカスト	難易度高い大型インサートダイカスト部品の鋳造体制の確立	
99	株式会社和光電子	スクリーン印刷厚膜プロセス技術の高度化実現を目指す多重印刷技術の試作開発	
100	小野ゴム工業株式会社	食品業界向けの金属探知機に反応するゴムシート及び製品の開発と製造設備の増強	
101	株式会社アルゴル	顧客ニーズに対応する産業用低価格画像処理装置の組み込みソフトウェアの開発	
102	株式会社中外製作所	導電性繊維センサを使用した介護用睡眠状況モニタシステムの開発	
103	日本青銅株式会社	鉛等の有害物質を使わない、超耐磨耗自己潤滑性鋳物の開発	
104	株式会社南安精工	超小型・高性能コンプレッサー(マイクロポンプ)の開発及び実用化	Vol.1
105	株式会社アップルハイテック	高性能自動画像測定機導入による製品計測の合理化と品質管理能力の向上、納期短縮、コストダウンの実現	
106	株式会社小沼技研	平板型高温水蒸気電解セルの大型化試作	
107	豊田化工株式会社	インサートプラスチック成形加工の無人化	
108	株式会社キンポーメルテック	品質向上と生産性向上を兼ね備えたスタッド溶接工程の強化計画	
109	昭和樹脂工業株式会社	ディスパーザブル吸引器の製造工程改善計画	Vol.4
110	高島産業株式会社	確実で低コストな履歴・品質管理を行う医療機器製造システムの構築	Vol.3
111	株式会社ケー・アイ・エス	ハイブリッド・パネル(太陽光発電・集熱一体型パネル)の事業化	
112	株式会社NEXAS (採択時：株式会社エヌ・イー)	航空宇宙関連開発品の試作加工	Vol.1
113	レゾネット・エアフォルク株式会社 (採択時：レゾネット合同会社)	高品位音声の多チャンネル伝送装置の開発・製造・販売	
114	株式会社エヌ・ティー・エス	省エネ型ポリエステル電着塗料の開発	
115	株式会社エフプラス	新製品立上げ評価の迅速化および評価精度の向上	
116	株式会社フェイス	ワイヤレス給電技術の開発と商品化	
117	オリオン機械株式会社	真空ポンプの製造に必要な部品切削技術の高度化	Vol.2
118	株式会社ユニコン	生産管理・販売管理統合システムウェア導入による効率化と短納期化	
119	信州吉野電機株式会社	金属インサート成形による自動車センサー部品試作開発短納期化の体制構築	
120	浅南工業株式会社	3次元一気通貫システムによる防災用高効率ポンプユニットの開発	
121	株式会社MOLE'S ACT	熱間成型金型における拡散接合技術の高度化	
122	株式会社シムノン	金属箔レーザ加工の特異性研究と実用化開発	
123	株式会社おといち	マンモグラフィ画像石灰化部分強調化ツールの開発と事業化	
124	株式会社エグロ	多様な機械開発の能率向上と短納期化を実現する生産管理システムの構築	
125	株式会社ハマツール	特殊切削工具へ不減印刷による普遍的識別方法の確立	
126	有限会社ミュートクノ	金型用パンチ、切削工具等の寸法精度向上の為に超精度測定機の導入	
127	有限会社大庭金型製作所	高精度金型の品質、生産性向上による高付加価値化の実現と成長分野での販路拡大	
128	日本装置開発株式会社	検査物固定型工業用CTスキャナの開発	Vol.1
129	株式会社マブチエスアンドティー	新インクジェットを用いた機能膜塗布装置の試作開発	
130	株式会社広田製作所	汎用的な組込みLinuxを活用したSSD評価試験システムの開発	Vol.4
131	信濃機工株式会社	高圧クワラント装置用スクリュポンプの開発	Vol.1
132	有限会社ウインテック	F1向けエンジンの心臓部部品加工のための超高精度研削盤の導入	
133	有限会社ESアドバイザー	イオン交換樹脂の再生技術における高度化の試作開発	
134	リオン熱学株式会社	光触媒を使用した、環境物質の分解除去方法の確立と大型処理装置の開発、製造、販売	
135	松本スプリング株式会社	角形の絶縁銅線の精密曲げ加工の試作開発	Vol.2
136	株式会社三葉製作所	最新生産管理システム導入による、「生産性3割アップ」プロジェクト	
137	株式会社シミズテクノ	精密板金用金型製作の低コスト・短納期化を目的としたMC専用クランプの開発と新研磨技術の導入	
138	株式会社石川製作所	手押し運搬車の安全ロック装置の開発	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
139	有限会社ナツバタ製作所	長尺深穴切削における高精度加工技術の確立	Vol.1
140	株式会社マル井	高品質な加工わさび原料を適宜に供給する冷凍保管システムの開発	
141	株式会社ワカ製作所	世界初の可視光通信による超小型衛星に使用する高信頼性電源システムの開発	Vol.4
142	パーフェクトゲージ工業株式会社	デジタル出力を付与した、耐脈動小型アナログ圧力計の開発	
143	有限会社フォレスト	NC用特注アタッチメントの開発によるワンストップサービスの提供	
144	株式会社エスケー精工	航空機・宇宙関連の部品及び治具の受注対応に向けた高精度加工技術の獲得と短納期化の実現	Vol.3
145	株式会社ナンシン	電気鍛造による高精度大口径薄肉パイプの鍛造	
146	株式会社オオタ	他品種・小ロット化とリアルタイム見える化のプレス生産管理システムの開発	Vol.3
147	中村工業株式会社	バーコード導入による工程進捗管理及び原価管理システムの構築	Vol.1
148	株式会社宇敷製作所	高精度・複雑加工技術の習得と最新設備の導入で多品種少量生産・短納期化ニーズに対応可能な生産体制を構築	
149	東京精電株式会社	電力モニター装置の組込ソフトウェア開発、及び制御システムの試作研究開発	
150	日進精機株式会社	金型設計製作に関する熟練技術者への依存からデジタル化による納期短縮化	
151	株式会社丸眞製作所	水素雰囲気下における金属部品の脆化を防止する表面処理部品の試作開発	
152	Nikki Fron株式会社	長繊維熱可塑性プラスチックの成形加工サイクル短縮による量産化	Vol.2
153	イデアシステム株式会社	高速検索機能を組み込んだハイブリッドデジタルレコーダーシステムの試作開発	Vol.1
154	ゴコー電工株式会社	分割コアモータの超高出力等の技法開発と製品化	
155	有限会社スワコ精密工業	難削材加工の技術開発による光学・医療分野への進出	
156	株式会社西澤電機計器製作所	ロービジョン(弱視)患者の“視”生活を快適にする拡大読書器の開発	Vol.1
157	株式会社桜井製作所	プレス加工における小径絞り部品の内側バリ無側面穴加工順送金型の開発	
158	株式会社ナディック	卓上型微細パイプ横穴プレス加工機の開発	
159	中野スタンピング株式会社	先端加工設備導入による超短納期試作が対応可能な生産体制の構築	Vol.1
160	株式会社竹屋	大豆煮汁の水素発酵を利用したエネルギー変換システムの開発	
161	株式会社エプテック	抗菌・防かび・防藻昨日を付加した無電解ニッケルめっき皮膜の開発	
162	長野鍛工株式会社	熱間+冷間複合鍛造工法による小ロット高精度鍛造品の生産技術の確立	
163	株式会社八光	液状シリコン成形における多品種生産方式の試作・開発・商品化	
164	株式会社小松製作所	小水力向けポンプ逆転水車の低コスト・高効率化に関する開発事業	
165	ミマキ電子部品株式会社	小型画像認識装置の開発	Vol.1
166	株式会社カンノ	アルミニウム合金製造品種の多様化	
167	塚田理研工業株式会社	真空成膜法による機能性及び加飾付加の方法の確立	
168	株式会社ソーデナガノ	複雑多様な金属片へのチップ接合モンジュール品の試作開発	
169	オリオン精工株式会社	薄肉ステンレスパイプ冷却器の溶接技術開発・確立と設備投資	
170	株式会社メクトロン	マテリアルフローコスト会計(MFCA)プロセスを見える化する生産管理システムの開発	
171	株式会社長鍛豊田製作所	エンジンバルブ鍛造用加熱装置の高度化による超多品種小ロット生産ラインの構築	
172	信光工業株式会社	省エネ環境配慮型・多機能対応試作開発ラインの導入	Vol.1
173	オリジンバイオテクノロジー株式会社	液体培養菌糸植菌装置の開発	
174	株式会社ミナミサワ	省スペース型後付け自動水栓機器の開発	
175	ジェーシーシーエンジニアリング株式会社	高速トップビューパッケージ受発光素子検査装置の開発	
176	サン工業株式会社	車載オートマチック機構部品への高機能アルマイト処理試作開発	
177	株式会社みやま	金属の樹脂への代替によるスーパーエンプラ自動車部品の試作開発	
178	多摩川テクノクリエイション株式会社	ボーイング737MAX搭載LVDTの試作開発と高精度自動巻線機の開発	
179	株式会社オーク電子	LED曲面発光型防犯灯の開発	
180	株式会社サーキットデザイン	小型動物用GPS首輪の開発	Vol.1
181	有限会社シナノ精密	受託加工品の高精度、短納期化に対する対策の強化	
182	有限会社ファインフォーミング	アルミ鋳造鍛造法における小口化、短納期化に対応できる金型鋳造プロセスの構築	
183	中央印刷株式会社	アルミ蒸着コールドホログラム箔による偽造防止印刷の開発	
184	株式会社オリジナルマインド	セミプロ向け低価格CNC工作機械シリーズの開発	
185	株式会社日邦バルブ	エネルギー損失を半減した水道用逆流防止器の事業化	
186	株式会社ニューオーディオ	高出力発光ダイオード向けの耐光性・耐熱性に優れた高機能放熱材の試作開発	
187	株式会社小松プレジジョン	プレス化への工法転換を可能とする精密圧縮プレス加工技術の確立とこの技術利用による事業拡大	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
188	有限会社高橋製作所	マイコンガスメーター用新構造小型感震器の開発	
189	株式会社セリオテック	高トルク駆動伝達小径シャフト連結部の構造強化部品量産化にむけた開発	
190	株式会社アコース	超小型通式活動量計及び健康管理システムの開発	
191	株式会社スカイワークス	ロジックICを用いた新しいタイプの水位計・浸水計の開発	
192	株式会社三鷹金属化工所	アルミ素材への高耐食性ノックロム化成被膜の開発	
193	有限会社丸源鋸工場	新型目立て機による切れ味と丈夫さを兼ね備えた高性能鋸の開発	
194	きそミクロ株式会社	貫通穴付ガラスウエハー基板の位置決め機能付特殊加工装置の開発・実用化	
195	株式会社サワイ	新・生産管理システム開発・構築による国際競争力 強靱化 と 差別化 を実現	Vol.1
196	サンエシステムズ株式会社	製品含有化学物質のJIS化に沿ったエビデンス管理システムの研究・開発	
197	信越明星株式会社	流水解凍タイプ茹で冷凍そばの開発にかかる事業計画	Vol.1
198	株式会社CMC総合研究所	カーボンマイクロコイル (CMC) を塗布した高機能性繊維製品の試作開発	
199	有限会社久保田工作所	非磁性材の研削加工における高精度微細加工技術の開発	
200	株式会社アクセス	人々に安全安心を提供する『見守りシステム』の開発と新たな『見守り手法』の確立	
201	澤田産業株式会社	長野事業所精密高速切断ライン導入プロジェクト	
202	マリモ電子工業株式会社	HTML5を使用したWeb計測装置の製品試作開発	Vol.2
203	株式会社カミイナ	最新アパレルCAD・CAMの活用による、衣服縫製品の「多品種少量生産及び短納期化」への対応力強化	
204	有限会社中山ステンレス	板金加工品の面取りブラシの研究開発と設備の導入	
205	カインシエレクトロニクス株式会社	プリント基板加工用極小径ドリルの自動研磨装置の試作開発	
206	株式会社ネハシ	ワイヤカット放電加工機導入によるプレス加工部品の短納期立上げ	
207	株式会社玉村本店	自家栽培ホップを活用したビールの生産力強化	
208	株式会社ハヤシ	多品種小ロット短納期の幅広い受注に応えるための、ローダー付NC旋盤導入	
209	有限会社フジ精密工業	3次元設計による金型標準化と図面簡略 (3次元図面の開発) でリードタイムを削減する。	
210	株式会社佐々木工業	高精度ベンディングマシン導入による厚板長尺の一括板金加工システム構築	Vol.4
211	株式会社イトウテック	自動弁バルブ部品の溶接品質・生産能力向上のためのシステム開発	
212	株式会社ピーエムオフィスエー	3Dレーザースキャナー測量並びに3Dプリンターを活用したプラスチックキット開発	Vol.1
213	株式会社彩世	ラインマン (Lineman) 商品化プロジェクト (高均一光輝度レーザラインジェネレーター)	
214	株式会社シンセイツール (採択時：株式会社NYツール)	大型特殊切削工具の高精度製作技術の開発と、既存商品の高精度化。	
215	安曇野本多通信工業株式会社	高性能3次元測定器による金型技術力の向上	
216	有限会社南安鐵工所	高速プラズマ鋼板切断機導入による短納期対応強化と競争力強化	
217	シスマック技研有限会社	複合加工技術の高度化によるステアリング用特殊ボスユニットの試作開発	
218	有限会社宮山電子製作所	実装マウント工程の生産性・精度向上を実現する専用治具開発及び最新マウンター導入	
219	株式会社エヌ・ピー・シー	微細精密金属プレス製品の生産工程効率化による価格競争力強化と受注拡大	Vol.1
220	株式会社高崎製作所	プレス部品自走式外観検査装置の開発	Vol.1
221	有限会社プロセスクリエイション	外科手術用特殊メス及び生体親和性向上人工歯根の製作のためのレーザー加工技術の開発	
222	株式会社ミハマ	高機能クランプの試作開発と、多品種・少量生産・カンバン納入に対応可能な生産管理システムの開発導入	
223	ハード技研工業株式会社	極薄金属材料コイル材の低ひずみ化熱処理技術と表面処理加工技術の開発	
224	株式会社伸和精工	板鍛造技術の高度化による超精密軸受切削部品のプレス加工技術の開発	
225	株式会社シナノ	デザインの優れた歩行杖の加飾工程の開発と設備の最適化	Vol.1
226	株式会社浜島精機	旋盤とマシニングセンターでの高精度共通治具運用システムの開発と運用	Vol.1
227	オリオンワイヤリング株式会社	塗装工程の生産性/品質向上を図る付着塗料剥離機開発及び新型焼付炉導入	
228	日本電熱株式会社	小型移動式 冷却・加熱装置 (ニュークックチル) の新規開発	
229	日野製薬株式会社	ブドウ種子等の抗酸化物質を配合した機能性集積型健康食品の開発	
230	立信精機株式会社	漁業定置網用の同期点灯フラッシュライトの製品開発	
231	株式会社山崎屋木工製作所	生産システム構築と部材開発による、20%のコストカット実現への高断熱性木製サッシ開発事業	Vol.3
232	大永工業株式会社	セルフ・クリンチング・スパーサー圧入作業時間短縮のための試作開発	
233	丸金パイプ株式会社	ポリエチレン管プレファブ加工商品の品質安定と普及促進計画	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
234	株式会社マイクロネット	ANC(能動騒音制御)装置の小型・省スペース化の試作開発	
235	株式会社ワークソリューション	プラズマと紫外線を併用した簡易殺菌装置の試作開発	
236	株式会社荻窪金型製作所	刃物形状の測定と加工条件の最適化による微細切削加工技術の確立	
237	株式会社ジェナジー	スパッタリング用Auターゲットの結晶粒制御技術確立及びその量産化	
238	株式会社矢沢光学	医療機器用光学レンズ面精度向上試作開発	
239	株式会社大久保西の茶屋	手打ちそばの風味を生かした自然食、美味しい冷凍生ソバの試作・開発	
240	湖北工業株式会社	切削加工部品の「小口・短納期化、低コストへの新工法」開発	
241	有限会社プライムシステムズ	モバイル型汎用計測器制御機器の試作・開発	
242	二光光学株式会社	高精度サファイア製品の試作、開発	
243	株式会社アルプス鋼	大型異形状溶接加工物・大物非鉄加工物の高精度・短納期加工技術の確立	
244	芙蓉酒造株式会社	高原野菜由来ミネラル豊富な高機能新リキュール開発と関連生産設備整備	
245	株式会社山岸製作所	高精度・難削材加工技術の習得と最新設備の導入による短納期・変種変量生産体制の構築	Vol.1
246	久保田容器工業株式会社	スチール製18リットル再生缶量産設備の能力強化	Vol.4
247	中島工業有限会社	超極薄板材を高品質化のための旋削を応用した新加工法開発	
248	山清電気株式会社	高齢化社会に向けたハイブリッド式コードレス温熱ヘルスケア機器の開発	Vol.3
249	有限会社滝沢工研	上下駆動リンク機構開発と応用市場販路開拓	
250	有限会社オノガワ精機	同時5軸加工による航空機用複雑形状部品の迅速作成技術の開発	
251	有限会社アイテック	グラファイト電極の放電加工によるプラスチック金型の工法の確立	
252	株式会社ミクロン精工	『インフィールド研削盤による高精度部品加工の多品種少量生産』	
253	株式会社マスターマインド	円筒形容器側面全周に直接印刷するプリンタの試作開発	Vol.1
254	ハーバー電子株式会社	小型フィルムコンデンサの溶射及び溶接技術の高度化による製品コストの低減	
255	株式会社進和製作所	パルプを原料とする射出成型品の開発(PIM成形)	
256	株式会社東京電機	地滑り計測用高深度ひずみセンサーの開発と生産プロセスの構築	
257	株式会社エーアイテック	車載電子部品の低高温検査装置用省エネ型熱風発生機(CO ₂ ヒートポンプ)の開発	Vol.2
258	白鳥ガasket製造株式会社	絶対数納品に対応する計数機アタッチメントの試作開発	
259	有限会社ハイメック	液晶ディスプレイ製造に必須な配向露光工程を2倍以上の高いエネルギー効率でフィルムに転写する機能を持った光学エンジンの開発	
260	株式会社エスイー工業	下請脱却のための製品開発:「連続割れ事故」を100%防ぐ、注射剤反転機構の試作開発	
261	有限会社エフ・クリエート	高効率小容量ソーラーパネル充電システムの試作開発	
262	プロスク株式会社	アミューズメント顧客よりの短納期化及び小Lot化要求を満たす設計・開発システムの実現	
263	株式会社タカモリ	EV&HEV向け高効率材の積層金型の試作開発	
264	カイン工業株式会社	上下駆動をガイドする高精度・長寿命摺動部品の試作開発	
265	松川光学有限会社	光学(医療機器・理科教材)メーカー等からの要求による試作及び少ロット・短納期対応事業化の推進	
266	株式会社スター精機	低コスト・短納期対応のための複合切削加工技術の開発	
267	株式会社タカギセイコー	眼科で使用する新しいスリットランプマイクロスコープとその付属品の開発	Vol.1
268	セラテックジャパン株式会社	パワーエレクトロニクス用セラミック基板の高精度加工技術の開発	Vol.3
269	武重本家酒造株式会社	低アルコール濁酒の効率的な火入れ方法の確立	
270	有限会社サンプラスチック	海外とのコスト競争に耐えうる成形ラインの開発	
271	株式会社キャドソン	微小な精密部品の低コスト生産を実現する冷間鍛造技術の試作開発	
272	有限会社浅間精機	円筒・万能研削盤導入により、金型高精度化・高品質化の実現をし、有力市場を獲得する。	
273	株式会社ハルピンフーズ	『四年仕込み発酵味噌だれ』の製造期間短縮と製造原価低減のためのプロセス開発	
274	株式会社BMEユニバーサル	義足・歩行支援スーツへの適用を目指し、人への親和性の高い膝関節継手の試作開発	
275	株式会社協和設備	FPシステム(フレアプレハブシステム)導入による配管工法の高付加価値化	
276	株式会社サンリエ	高精度ベンディングマシン導入による金属プレス試作製品の短納期化	
277	株式会社精工舎(採択時:精工舎)	自動車メーカー向け複雑形状部品の高速・高精度化による試作開発。	
278	GAST JAPAN株式会社	プラスチックへの高機能コーティングにおける先端工法の開発	Vol.2
279	株式会社松本製作所	建設用機械部品に係る試作立上げから量産までの期間短縮化	
280	有限会社五味精工	高精度化・複雑形状化・短納期化を実現する切削加工技術の高度化	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
281	株式会社イツミ	衣料仕上プレスの加圧コテ型の機械加工化	Vol.1
282	株式会社日誠イーティーシー	車載モーター用ステーターの巻線とはんだ付けの自動化及び連動化	Vol.1
283	シナノカメラ工業株式会社	新たな実装プロセス開発による、競争力強化と即効的需要喚起への取組	Vol.4
284	アスザックフーズ株式会社	高齢者に優しく美味しい、非常食にも活用可能な食品の開発	
285	株式会社シード・アドバンス	小ロット・難塗装のニーズに挑戦する「塗装の110番」	
286	有限会社プロテック	歯科用の補綴物を機械を用いて加工する計画	
287	株式会社アルカディア	鉄道駅ホーム可動柵扉および省力化システムの開発計画	
288	有限会社山田精機製作所	軸受け機器製品検査における新技術導入での自動車部品不具合低減の実現	
289	株式会社飯沼ゲージ製作所	スマートフォン、タブレットPC用カバーガラス製造装置の試作開発	
290	みやま工業有限会社	アルミダイカスト新鑄造技術 低温低圧鑄造の構築	
291	合資会社山万加島屋商店	味噌作りの一貫した製造ライン構築による新製品・新サービスの開発	
292	株式会社タキワ	「新材料供給装置導入による生産プロセス強化」	
293	株式会社クラフト小松	受注の多品種小口化、短納期化ニーズへの対応のための設備改善	
294	有限会社近藤鉄工	製函品に適用する溶接ロボット応用技術の開発とそれに伴う生産工程の改革	
295	株式会社ツバサ	セラミック等難削材の加工精度の高度化	
296	株式会社アビックス	公共施設向け案内表示LED内照式ピクトグラムの事業化	
297	株式会社高和製作所	日本ブランドの次世代型鋳物製薪ストーブの開発	
298	株式会社世界最速試作センター	先端三角折り機能付全自動トイレトペーパーホルダーの商品開発	
299	コトヒラ工業株式会社	クリーン化機器用の高機能樹脂ノズル開発と商品化による事業拡大	Vol.2
300	大澤酒造株式会社	アルコール清酒の新作製造に関わる冷蔵庫化と新圧搾機導入	
301	株式会社信越工機	3D CAD CAM CAE導入による省エネ建材切断切削加工用特注機械製造業のNEWビジネスプラン開発実証を行う	
302	有限会社二光精機製作所	医療器部品の信頼性向上のための難削材における深穴加工技術の開発	
303	株式会社乾光精機製作所	高輝度LED曲面発光照明器の試作開発(意匠権登録予定)	
304	株式会社つばくろ電機	金属加工部品表面仕上げ(バフ研磨)自動化装置の開発	Vol.1
305	小松工業株式会社	冷間鍛造加工における連続加工を可能とする『3次元サーボトランスファー加工方式』の開発	
306	株式会社柳原製作所	3Dプリンター活用による金型製作時間の短縮とオリジナル金型の開発	
307	三立電機株式会社	設備導入によるPT板ユニット試作製造の短納期・低コストプロセスの確立	
308	鈴木プレス工業株式会社	高精度ワイヤーカット放電加工機導入による「板鍛造部品」の国内外のシェア拡大	
309	宮坂ゴム株式会社	コリ緩和商品の低コスト化に向けた試作開発	
310	株式会社小松製作所	油圧ショベルのフレームハウス溶接工程の削減と一体化の試作開発で低価格化を実現	Vol.1
311	株式会社光和	放電加工機導入による金型製作短納期化と付加価値向上の実現	
312	有限会社八剣技研	医療機器分野の部品加工における、難削材の微細且つ高精度な加工技術の高度化	
313	株式会社ユウワ	狭ピッチコネクタ成形品の成形機連動画像検査機の開発	
314	有限会社GENCORPORATION	災害遭難支援用二重反転型ヘリコプタの開発	
315	フィット工業株式会社	建築・金物用切り板及び太陽光フレーム関連分野へ参入する生産体制の構築	
316	日機工業株式会社	歯科用インプラントの開発改良による医療機器事業の拡充	
317	株式会社シンエイ・ハイテック	エンコーダーセンサーモジュールの開発	
318	有限会社中澤製作所	介護用上半身不安定な人向け歩行補助(リハビリ)装置の開発	
319	有限会社古川製作所	工業用ランプの口金をコスト削減する新しいプロセス	
320	有限会社小林精工	5軸加工機を軸とした短納期化システムによる微細金型部品の試作開発	
321	株式会社マイクロ化学	きのこキャップ自動組立て製造装置の開発	
322	有限会社多田プレジジョン	高精度放電加工機導入による医療機器部品の形状複雑化、短納期の対応強化	Vol.1
323	株式会社ピーエーイー	新製品開発における時間短縮と開発精度向上のための体制づくり。	
324	アタゴシステム株式会社	土壌汚染原位置浄化用の樹脂製薬剤投入管の試作開発	
325	株式会社関一精機	3Dモデルからの直接変換によるNCプログラム作成システムの開発	Vol.1
326	株式会社山田製作所	地域の防災力の底上げにつながる新たな消火設備の開発	
327	有限会社カイセイ	薄肉形状加工品の高精度化、低コスト化、短納期化の実現	
328	有限会社福沢製作所	複合旋盤導入による加工精度の向上と生産性のアップ	
329	ウインテック株式会社	ロボット活用による製品の自動整列を行う生産プロセス強化事業	
330	有限会社ニシキ精機	多品種少量の難削材製品での「短納期」実現による競争力強化への取組	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
331	株式会社協電社	成長分野である医療・工業分野への新製品開発による新規参入事業	
332	株式会社小野酒造店	日本酒の国際化に対応した火入れ酒の高品質化による新しい市場の開拓	
333	有限会社キットウ	「両頭側面フライス盤を用いたリードタイムの圧縮と小ロット・短納期生産の実現」	
334	株式会社プロノハーツ	中小企業の設計製造現場で利用可能なカスタマイズ型3Dプリンタの開発	
335	株式会社カスケード資源研究	発酵技術による難分解性バイオマス資源「リグニン」の低分子化成功と試作品の開発	
336	株式会社高島計器	新しい市場に応えた、高性能高圧ガス圧力計の開発	
337	株式会社吉野電機	3D複雑形状金属部品の低価格化に応える冷間鍛造工法の試作品開発	
338	株式会社安曇野漬物	酵素の働きと高圧殺菌との組み合わせで、漬物で新しい需要を掘り起こす。	
339	有限会社テクノロジーサービス	小型軽量の多自由度関節力学試験装置の開発	
340	株式会社ジェルモ	超高性能ハンダ印刷機を導入し電子部品・デバイスの超高密度実装を実現する	
341	辰野光学株式会社	アルカリ電解水を用いたガラス素材に対する切削研磨技術の高度化	
342	株式会社ホシバ	多種少量製品の架枠溶接作業における組み方と溶接作業の開発	
343	株式会社サンテム	光学機器性能向上の為に光反射現象を抑える事が出来る絞り羽根の開発	
344	株式会社ダイエン지니어リング	電気制御式真空ダイカストシステムの試作開発	
345	株式会社キョウユウ技研	高速道路等工事・事故処理作業者の2次災害防止用、後方警戒装置の開発	
346	有限会社山岸製作所	ワイヤーカット放電加工機・3次元CAD導入による金属プレス金型製作の生産効率向上・短納期化・低コストを実現する生産体制の構築	
347	有限会社伸和工作	増大する超精密短納期試作要求に対応する高速加工機の導入と高水準の切削加工技術を組み合わせた高効率・短納期生産体制の確立	
348	日邦電機株式会社	超軽量・小型DCブラシレスモータの開発	
349	インダストリーネットワーク株式会社	老朽化した建造物の検査等に資する壁面走行ロボット2号機の試作開発	
350	関本CAPA株式会社	精密砂型鋳造法を用いた金型試作鋳物の代替品開発	
351	株式会社ダイワテック	地中熱・太陽熱・空気熱のハイブリッド農業用ヒートポンプの開発	
352	株式会社オーイーエス	車載部品のはんだ付け工程におけるボイドレス化製品の試作・開発	
353	有限会社武村精機	大型・高精度CCTVレンズ鏡枠の低コスト化・短納期化の実現	
354	株式会社赤羽電具製作所	自動実装可能なアキシャル型・超高抵抗・耐高電圧抵抗器の開発	
355	檜山工業株式会社	新機構ベーン式ドライ真空ポンプの開発	
356	有限会社デンタルクラフト	歯科技工工程のデジタル化によるもの(金冠)づくりの高度化	
357	チヨダエレクトリック株式会社	有機ELの貼り合わせ工程の高生産効率に対応する真空オープンの研究開発	
358	有限会社金森軽合金	受注拡大に向けた生産プロセスの効率化と資源エネルギーの再利用	
359	株式会社ミクロ発條	自動車向け高度化加工技術開発による精密スプリング製造	Vol.1
360	カンリウ工業株式会社	新たな米粉製粉技術の開発による小型製粉機の事業化	Vol.1

平成25年度補正分

(受付順。事業者名は発刊時、事業計画名は平成25年度採択時の申請内容を記載)
(Vol.1～4は当該事業者が掲載されている成果事例集の巻を示します。本会ホームページでもご覧いただけます)

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
1	信越明星株式会社	手打ちに近い食感の生そば製造を実現するための真空ミキサー導入事業計画	Vol.1
2	株式会社川辺製作所	金属歯車の知見を応用した（環境配慮型）プラスチック歯車の新規開発	
3	株式会社マイクロジェット	インクジェット式1細胞スポッター装置の試作開発	
4	株式会社サイベックコーポレーション	燃料電池用金属セパレータの自動外観検査装置に係る開発	Vol.2
5	株式会社ダイシン	パーツフィード用コントローラの開発	
6	岡谷熱処理工業株式会社	PVDコーティングと電子ビーム照射による革新的金属表面処理技術の試作開発	Vol.1
7	株式会社玉村本店	自家栽培米美山錦をつかったビールの販売強化にともなう充填設備導入	
8	株式会社SPIエンジニアリング	スマホ対応wifi内視鏡カメラの開発	
9	カイン工業株式会社	コンピューター制御NC（CNC）自動旋盤加工機導入による高度技術の確立と新事業の創出	
10	オリオン機械株式会社	水素ステーション用プレクール熱交換器の設備導入による試作開発	Vol.2
11	七笑酒造株式会社	川下ニーズに対応する特定名称酒の温度管理技術高度化のための設備投資	
12	株式会社イツミ	小ロット化の為に板金加工機の導入による医療介護用ベッドマットレス洗濯乾燥機の開発	Vol.1
13	株式会社東陽	「歯科用インプラントの高精度・高能率加工技術の開発」	Vol.1
14	株式会社セルコ	高密度コイルの自動巻線機（連結型）開発と工程削減による新工法の開発	
15	株式会社荻原製作所	家庭用燃料電池システムに於ける定期交換不要な水処理装置の開発	Vol.2
16	きそミクロ株式会社	蛍光染料による光合成促進植物育成資材設備ラインの試作開発	
17	信濃化学工業株式会社	熱硬化性プラスチック製食器の生産の自動化	Vol.2
18	日本装置開発株式会社	量産製造ライン全量検査用高速X線CTスキャナを試作開発	Vol.1
19	株式会社大東製作所	自社開発材「冷間用マンガン系ステンレス」の実用化と特許出願	
20	久保田容器工業株式会社	ドラム缶再生設備の能力強化	Vol.4
21	株式会社アンドー	UAV（小型無人航空機）に搭載可能なレーザー計測装置の開発	Vol.2
22	株式会社イングスシナノ	次世代ディスプレイにおける3次元曲面貼り合わせ実装技術の開発	
23	株式会社南安精工	精密加工部品の製作リードタイム短縮と複雑形状対応の実現	Vol.1
24	飯山精器株式会社	「CAMとCNC三次元測定機導入による複合加工の高効率生産で受注を拡大する」	Vol.1
25	株式会社セリオテック	生産性向上及び製造能力増強を図るための二次加工機新規開発・導入	
26	有限会社米山金型製作所	医療系超微細形状試作への挑戦と試作対応の迅速化	
27	株式会社ヒラバヤシ	「有機溶剤使用ゼロ洗浄設備開発による低負荷環境作業の実現」	Vol.1
28	長谷金属工業株式会社	レンズ筐体のピンホール問題を解消するためのダイカスト製造プロセスの改善	
29	コトヒラ工業株式会社	熱電変換モジュール耐久試験機の開発と事業拡大に向けた設備導入	Vol.2
30	ミサキ工業株式会社 (採択時:有限会社ミサキ工業)	深絞りケース（圧力容器）のリーク不良外観検査装置の開発	
31	株式会社日誠イーティーシー	次世代自動車ノイズ対策用の大容量チョークコイル製造装置の開発導入	Vol.1
32	アルティメイトテクノロジーズ株式会社	小型船舶向け全方位カメラ搭載の高機能レコードシステムの開発	
33	有限会社テクノパック	包装材のオールプラスチック化による3Rの推進と生産性・低コストの実現	
34	株式会社エーアイテック	自動車用ECUの低高温検査装置における冷熱風制御の最適化による高度化	Vol.2
35	アスザックフーズ株式会社	真空凍結乾燥製品の市場拡販のための真空凍結乾燥装置及び技術の開発	
36	株式会社アジャイルシステム	産学連携「先導的技術」による木造住宅腐朽予知モニタリングシステムの開発	
37	株式会社長野食料	付加価値の高い冷凍漬物によるクールジャパン戦略	
38	株式会社長野セラミックス	A重油と溶存水素水の混合液の燃焼による化石燃料燃焼装置の開発	
39	アイテック株式会社	バッテリーレス無線センサーを使用した高齢者見守り機器の開発	
40	株式会社ライト光機製作所	抗がん剤による副作用軽減をはかる冷却装置・冷却シートの開発	Vol.2
41	株式会社タカノ	高性能溶接機導入による、医療機器用アルミニウム精密板金難溶接加工技術の革新	Vol.2
42	株式会社ピーエムオフィスエー	構造変更及びフィルム貼付により強度を増した雪かきの開発	Vol.1
43	有限会社中村金型製作所	世界最高水準の「車両前照灯用LED冷却部品型」製作方法改善	
44	株式会社石原産業	自動車メーカー向け精密複雑形状部品の量産事業拡大	
45	株式会社シナノ	インクジェットプリンターを活用した曲面印刷システムの確立	Vol.1
46	三和ロボティクス株式会社	精密切削加工におけるエッジ品質向上に資するバリレス加工技術の構築	
47	株式会社牛越製作所	構円振動切削による超精密微細加工のシステム構築	
48	株式会社みすずコーポレーション	油揚げの試作環境整備と高付加価値油揚げ開発	Vol.2

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
49	ハーバー電子株式会社	小型フィルムコンデンサの材料変更と製造工程の高度化によるコストダウン	
50	株式会社星光技研	超音波噴霧器の腐食対策および消耗品交換構造・高効率化改良	
51	有限会社セルバ	次世代型電力量計メーター部品に対する錫めっき装置の開発	
52	株式会社中外製作所	『居宅用高齢者見守りホンの開発』	
53	株式会社JMC (採択時:株式会社ジェイ・エム・シー)	非接触測定機を活用したマグネシウム砂型鋳造の高精度・短納期化プロセスの開発	
54	株式会社スギムラ精工	超硬金型部品の内製化による板鍛造技術の高度化と量産の安定化	Vol.4
55	野村ユニソン株式会社	省エネ改善及び生産性向上を実現する中空鍛造生産ラインの構築	Vol.4
56	大和電機工業株式会社	世界初の医療機器向けニッケルレス無電解めっきプロセスの開発	
57	株式会社永田製作所	内視鏡用極小レンズ加工時に使用する超微細治工具の試作開発	
58	株式会社サワキ	複合加工技術の高度化による低コスト・リードタイム短縮の実現	
59	有限会社花井精機	医療器部品の試作から量産への一貫した生産体制と品質保証体制の確立	Vol.4
60	株式会社エクセル	省電力、小型化、高品質な赤外線SMDLED基板の実装方法の開発	
61	株式会社八光電機	鋳込みヒーターでの信頼性の高い検査方法と、高品質の製造システムの構築	
62	旭松食品株式会社	納豆菌を使用した発酵おからの家畜飼料への有効利用	Vol.2
63	株式会社飯島精機 (採択時:有限会社飯島精機)	マシニングセンター導入による高効率プレス試作技術の開発	
64	株式会社コスミック恵歯研	CAD/CAM設備による新たな歯科補綴物の生産方式の導入	
65	日本ミクロン株式会社	航空機分野を含む、近距離無線通信向け部品内蔵デバイスの開発	
66	松本スプリング株式会社	スパイラル状構造用補強金具の生産工程自動化による生産性アップと精度向上	Vol.2
67	アスザック株式会社	バイコン製法によるコンクリート2次製品自動化製造設備の導入	Vol.1
68	株式会社LADVIK	目視検査の課題解決へ、ホースクランプ自動外観検査装置の開発	
69	有限会社ケーアンドケーメディカル	長時間座っていても疲れづらく、蒸れない椅子の開発	
70	巴協栄リネン株式会社	医療関連サービスマーク認定取得による医療機関寝具類洗濯事業の拡大	
71	ナノファーム株式会社	超高压プロセスを用いてナノ分散化したガラス用水性遮熱剤の試作	
72	株式会社ジェルモ	最新鋭リフロー装置を導入し、生産性向上と環境負荷低減を実現する。	
73	イー・ジーシステム株式会社	顧客の要望する機械設計 (CADとCAE) ツールと回路解析ツール導入	
74	株式会社志賀精工	車載用IGBTパワーモジュール部品のプレス化によりコスト低減等を図る。	
75	株式会社リョーシン	小型・軽量の着成型身体冷却装置の開発	
76	株式会社旭	3Dプリンター導入による金型製作の短納期化・コストダウン	
77	有限会社インフィデント	歯科用CAD/CAM導入による最先端新素材技工物の品質・生産性の向上	
78	株式会社ミヤタ	プレス機械加工からスピニング機械加工にすることにより、自動車エアバッグ部品の生産効率化と低コスト化の実現。	
79	株式会社eco・カンパニー	液状化対策としての、環境に極めて優しいecoな地盤改良工法の導入	
80	夏目光学株式会社	航空宇宙分野に使用される脆性材料の精密研削加工の高度化	Vol.1
81	株式会社マスダ	最新複合旋盤導入と技術者養成による高精度・短納期・試作生産体制の確立	
82	株式会社中野屋ステンレス	高速チップソーの導入による加工技術の高度化と高効率・短納期生産体制の確立	Vol.4
83	有限会社喜多屋醸造店	納豆菌を用いた高機能、高品質な低食塩味噌の製造プロセスの開発	
84	高島産業株式会社	量産用の高精度3次元レーザ加工機による医療機器の事業化	Vol.3
85	株式会社エヌ・ティー・エス	ワンコート可能な無機系耐水・難燃性コーティング剤の開発	
86	株式会社共進	次世代自動車の二次電池における新たな電極部品接合方法の開発	Vol.2
87	平澤電機株式会社	5軸加工機用CAMの並列運用による生産性の改善	
88	株式会社プリンティアナカヤマ	製本機能付最新デジタル印刷機導入による小ロット冊子超短納期生産体制の確立	
89	株式会社イズモヘルス	イソプレングム製カテーテルの開発	
90	光葉スチール株式会社	新素材鋼板の使用による高耐食（防錆）鋼製家具の開発、製造構築	
91	長野システム開発株式会社	訪日外国人旅行者向けサービスコンテンツを搭載したホテルシステムの開発	
92	山京インテック株式会社	最新の複合加工機導入による航空宇宙部品加工の効率化と品質安定化	Vol.3
93	株式会社丸信製作所	多軸複合数値制御旋盤によるロッカーアームシャフトラインの品質向上と統合化	Vol.1
94	サンエスシステムズ株式会社	ISOに準拠した生産部品承認プロセス管理システムの試作・開発	
95	株式会社ワカ製作所	人工衛星用セミリジッドケーブル国内唯一の生産体制構築	Vol.4
96	株式会社共栄測量設計社	多関節角度センサーを用いた配管位置計測システムの試作・検証	
97	アルファードesign株式会社	多ヘッド一括接合装置のための4軸高精度制御ヘッドユニットの開発	
98	株式会社コシナ	次世代高機能・高性能レンズ評価のためのMTF測定機の開発	Vol.3
99	株式会社タク技研	メタルマスク製造専用ソフトの開発と設計支援サービスの提供	Vol.1

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
100	株式会社長鍛豊田製作所	次世代エンジン用エンジンバルブの耐摩耗合金溶接技術の確立	
101	長野鍛工株式会社	先端設備導入による低燃費エンジン用難削部品加工の自動化	
102	株式会社オルツ	薄紙デジタル印刷による3,000ページ超の本の印刷・製本	
103	株式会社アクセス	安心して点滴を受け、施すことができる輸液監視システムの開発	
104	有限会社スワコ精密工業	高機能洗浄機導入による切削加工品の品質向上と環境汚染防止	
105	株式会社テレビ信州エンタープライズ	ナローキャスト放送システム（送出及び受信装置）の新規開発	
106	株式会社イクシス	立体造形で作った試作品を、実用部品へ応用展開する技術の導入と実用化	
107	ミナト光学工業株式会社	精密位置決め装置の製造工程改善による納期の大幅短縮実現と市場拡大獲得	Vol.2
108	ミマキ電子部品株式会社	深紫外LEDの開発	Vol.1
109	伴野酒造株式会社	低アルコール純米“濁り酒”の開発による新しい日本酒ファンの開拓	
110	株式会社キザキ	リハビリ訓練用の水中ウォーキングボールの試作開発及び設備導入	Vol.2
111	有限会社大西製粉	信州産「丸抜き」そばの実の製造ノウハウ確立による量産体制の構築	Vol.1
112	多摩川マイクロテック株式会社	航空機用センサ・モータ及びアクチュエータ内蔵の多段歯車加工技術の事業	
113	株式会社山岸製作所	複雑形状な鋳造・鍛造部品のNC旋盤加工技術の確立と新規受注の拡大	Vol.1
114	株式会社ズー	調剤薬局内外で適切な服薬指導を行うタブレット型薬歴管理システムの構築	
115	有限会社エフ・アンド・エフ	パーソナルユーザー用「書籍の自動読み取り機」の開発及び試作	
116	NiKKi Fron株式会社	PTFEダイヤフラムの成形技術改良に伴う機能及び、製造技術向上	Vol.2
117	イデアシステム株式会社	手軽に幅広い環境で利用できる移乗・移動を補助する福祉用具の試作開発	Vol.1
118	株式会社ハヤシ	多品種少量生産のコストで海外に勝つ。廉価な装置+独自の工夫で自動化に挑む	
119	株式会社ケントク	ターボ分子ポンプ部品の試作、量産加工用複合加工機の導入	
120	若穂紙器有限会社	軽くて丈夫なダンボールの特性を生かした新事業	
121	株式会社シュタール	門形プレートミル機の調達、加工改善による納期短縮、高精度、コスト低減の実現	
122	株式会社明工精機	金型型枠表面加工における高精度・高品質化のための加工技術の確立	
123	有限会社花岡光学	高級一眼レフデジタルカメラにおける高精度・高品質な交換レンズ鏡筒の製造プロセスの構築	
124	株式会社西飯田酒造店	花から分離された酵母を使用し個性的な酒類を製造し提供する。	
125	長窯株式会社	大型光電子増倍管用ガラス新規開発ならびに量産体制構築	Vol.2
126	株式会社ホクタン	農業事業者向けソーラーシェアリング及びICTシステムの開発	
127	株式会社マツキ	通年製造型「本来のところてん」（生天）の製造プロセス開発	
128	株式会社江口技研（採択時:江口技研）	顧客ニーズを満たす「異形状円筒研削盤導入」による「一貫生産体制」の構築	
129	宮坂醸造株式会社	水質環境に影響されない“ブランド銘柄・清酒製造技術”の開発	Vol.2
130	株式会社ニチワ工業	新用途向け色材開発用分析機器設備導入及び分析手法の開発	
131	株式会社カヤマ	多結晶ダイヤモンド特殊工具の内製化による自動車部品試作品の短納期化	
132	株式会社信州KornuKopia（コルヌコピア）	製品の保存性の向上と機能性の研究によるブランド化事業	
133	株式会社西軽精機	自動車エンジン圧力センサー用外筒ケース量産化	Vol.3
134	株式会社三田精機	ボビンコイルの巻線技術確立による生産力強化と新規事業展開	
135	伸和テクノス株式会社	飛躍的に革新する試作品加工納期・コスト管理等の生産プロセス構築	
136	有限会社双葉製作所	光学部品の内径ローレット加工における革新的加工方式の開発	
137	株式会社メディック	金型用入駒の高精度内外周カット加工・短納期加工技術の確立	
138	株式会社マイナック	服飾用新素材開発（タテ編み、3層、2層構造）と新素材を使ったオリジナル製品の試作	
139	三経樹脂工業株式会社	「金属・プラスチック一体成形」による畜産用部品の自動生産システムの試作開発・構築	
140	化興株式会社	自社開発新工法PE（ポリエチレン）ライニングの自動溶接機導入による作業時間・作業工程の短縮による効率化。	
141	長野吉田工業株式会社	多色・異形状プラスチック製品対応画像検査機器の開発・導入	
142	有限会社エコナ	粉体制御システムの導入による、高生産性廃消火器薬剤回収工程の確立	
143	オルガン針株式会社	超硬製精密金型の開発によるファインニット用メリヤス針の競争力向上	Vol.2
144	株式会社マウント	4K映像制作で信州の魅力をアピールする「新・映像制作事業計画」。	
145	株式会社豊島屋	米麴を使用した安心・安全な無添加甘酒の生産体制の高度化	
146	日進精機株式会社	プレス金型製造技術、加工技術とインサート成形一貫製造技術開発	
147	有限会社深井製作所	画像寸法測定器導入による極小端子の高精度連続自動圧着技術の確立	
148	有限会社助屋グループ	固形型濃縮スープ「Kキューブ」の開発・商品化	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
149	カインシエレクトロニクス株式会社	スポット溶接痕を極小化させる溶接技術の試作開発	
150	日成機工株式会社	関節疾病患者向け人工関節の高精度加工技術の高度化	
151	株式会社広田ケミカル	成形・加工一括受注による次世代長尺3D樹脂切削加工技術の確立	
152	株式会社デリックくちま	管理栄養士による病態栄養食・介護予防食等の食事療法用宅配食事業	
153	株式会社ヨウホク	高性能板金設備導入により、低コストと短納期対応力を強化し受注を拡大する。	
154	越川工業株式会社	LNG船大口径ステンレスバルブ鋳物生産用大型高周波溶解炉導入	
155	日本プラパレット株式会社	航空貨物向け 超軽量プラスチック製パレットの開発	
156	有限会社原製作所	3Dスキャナ用高精度レンズの設置と3DCAD導入による設計データ作成方法の開発	Vol.4
157	新和工機株式会社	整形外科用手術器械の高精度及び短納期の実現	
158	ネクストリンクス株式会社	業績見通し予測型 リアルタイム業績管理システムの開発及びサービス提供	
159	株式会社NEXAS (採択時:株式会社赤羽製作所)	航空機構造部品加工を高効率・安定品質で進める為の三つの取組み。	
160	日本電熱株式会社	過熱水蒸気による簡便な洗浄・殺菌装置の開発	
161	有限会社シャンベルク・ヤマ	美容・エステ・貸衣裳のワンストップによるブライダルサービスの開発	
162	株式会社デリカ	堆肥散布機の特注品を短納期で製品化する全体最適化生産管理システムの試作開発	Vol.2
163	株式会社ロクハ精工	光学系部品等の高速・高能率切削加工技術の開発	
164	株式会社富士精機製作所	キャブレタ用部品の洗浄工程における増産対応と低コスト化	
165	株式会社倉科鐵工所	高速プラズマ切断機の導入による建設金物の生産能力向上及び代替エネルギー向けフレーム製作の新規事業分野への事業確立	Vol.2
166	株式会社小松製作所	パワーリハビリ機器部品における新工法の試作開発による事業の拡大	Vol.1
167	有限会社サンライズ	インクジェット印刷とインクの瞬時硬化（UV硬化）技術の導入による新事業の創出	
168	有限会社イケダエンジニアリング	独自の内作治具を活用した高精度深穴加工技術の向上と販路拡大	
169	株式会社サンクゼール	ワインのぶどう残渣を利用した高齢化対応健康ジェラートの開発	
170	有限会社アプローチ	工作機械用トランス製造における平角銅線の自動巻線技術の確立	
171	株式会社ウェブノート	長野県の魅力発信！ビュー技術活用、次世代集客WEB展開事業	
172	八幡屋産業株式会社	鋳物製品バリ取りプロセスの自動化及び治具の開発・販売	
173	有限会社フィット	ヘッドマウントディスプレイを用いた広視野眼鏡	
174	ハヶ根工業株式会社	多様化する超硬製測定工具の安定供給	
175	飯田精密株式会社	5軸加工機の導入による航空宇宙関連顧客要求への対応と売上げ・利益の向上	
176	日精電機株式会社	3D CADによる設計効率向上及びハイブリッド小型成形機による部品高精度化	
177	株式会社マイダス	パワーインダクタの製造技術確立に向けた革新的な成形機の開発	
178	株式会社エヌ・ピー・シー	プレス試作技術開発による新規開発品の短納期対応力強化	Vol.1
179	有限会社プライムシステムズ	アナログ・デジタル回路混載システム向け計測制御システムの試作開発	
180	有限会社エイチ・オー・エス	新型矯正装置の開発と製品化	
181	株式会社イズミ	3Dプリンターの導入に依る工期短縮およびコストダウン	
182	フジテックス株式会社	超精密検査治具の製造と新たな穴あけ加工技術の開発	
183	有限会社ニシキ精機	高精度・微細切削加工技術開発に伴う効率的生産システムの確立	
184	日本化材株式会社	食品添加物を主とする有機酸の混合技術を改良して重金属を含まない金属表面処理剤の開発	
185	有限会社金井精密	超小型医療精密部品加工における、高品質・低コスト実現の加工技術の開発	
186	株式会社アドライズ	積層造形機導入による小型で軽量の昇降扉用ギヤボックスの試作開発	
187	有限会社木羽製作所	一貫生産体制の確立による短納期、低コスト化の実現と技術者の育成。	
188	アカネ工業株式会社	三次元測定システムを活用した加工技術の改善と高度化による顧客要求の高精度加工エリアの拡大	
189	カザマエンジニアリング株式会社	医療機器用姿勢制御装置の試作開発	
190	アイキョー有限会社	高精度・高品質な鏡枠完成部品の付加価値増加と製造プロセスの構築	
191	コジマ工業有限会社	精密溶接加工の充実とコスト競争力の向上	
192	カ石化工株式会社	自動車部品加工の事業拡大を目指した量産型無電解ニッケルめっき技術と装置の開発	Vol.2
193	株式会社ホクト精工	プラスチック金型の設計製作のシステム化と人材育成による技術構築	
194	有限会社平林精機	難削材の精密加工技術の確立によるコスト削減と油圧部品の市場獲得	
195	株式会社レヂトン	回転均し機を用いた、オフセット切断砥石製造方法の開発	
196	株式会社アットランド	クラウドによる中小規模ホテル・旅館向け業務管理システムの開発	
197	株式会社矢沢光学	軟硝材光学レンズの研磨加工工程確立	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
198	株式会社メック	ダイカスト部品の画像処理応用による外観検査技術の確立	
199	株式会社日本シールボンド	高機能医療用注射針の量産事業化	
200	東京精電株式会社	高性能高機能 交流安定化電源装置の試作開発	
201	株式会社塚田メディカル・リサーチ	透析患者の医療情報管理を目的とした電子透析手帳の開発とクラウドシステムサービスの構築	
202	有限会社丸山クリーニング店	老人介護施設における介護の現場負担改善のための洗濯業務開発	
203	株式会社徳武製作所	工業用ライン生産技術を導入した病理検体染色機の試作開発	
204	株式会社オサチ	高精度で簡便に中心血圧を測定する血圧脈波検査装置の試作開発	
205	有限会社アキ精工	航空分野が求める複雑形状部品や難加工材の加工技術確立と高度化	
206	有限会社マルイ産業	業界初の暗黙知を形式知化した生産ライン導入による「ヘリ無し畳」の流通拡大事業	
207	マルコメ株式会社	大豆（穀類）の乾燥粉末化設備の開発と実用化	
208	株式会社桜井製作所	小径絞り部品における製品板厚以下バリ無し穴加工技術の開発	
209	株式会社松本微生物研究所	メタン発酵消化液の高温好気発酵型有機液肥化装置の試作開発	
210	マイクロコントロールシステムズ株式会社	配光制御可能なLEDランプを活用したモノポール型街路灯の試作開発	
211	有限会社ラジエル	オーダーカーテン市場の垂直統合化による、新たな付加価値の創造	
212	サンケン工業株式会社	曲げ・溶接工程の見直しによるコストダウン、短納期体制の構築	
213	三全精工株式会社	最新型ワイヤー放電加工機の導入と新生産保全システムの開発	
214	株式会社カミジョウパック	真空圧空成形機の導入による、生産プロセスの強化及び品質の向上、短納期ニーズへの対応体制の確立。	Vol.4
215	中野プラスチック工業株式会社	車載コネクタの高精度化への対応と品質監視システムの構築	Vol.2
216	有限会社三和興機	CNC旋盤加工機導入による加工技術の高度化と工程の最適化	
217	株式会社ワイドデンタル (採択時:有限会社ワイドデンタル松本)	CAD/CAMと自動研磨機による歯科補綴物の品質向上、製作時間短縮及び新素材加工実現化	
218	株式会社アート・プランニング	立体形状印刷を用いた施設向けオリジナルサインの開発と製造。	
219	黒澤酒造株式会社	麹（こうじ）の製造工程の改善による日本酒の品質向上と国内外への販路拡大	
220	株式会社ガリレオ	太陽光発電の効率及び安定性向上を可能とする製品の開発とサービス提供	
221	株式会社エンドレスプロジェクト	すり合わせ装置導入によるレース用高付加価値ブレーキパッドの商品化	Vol.2
222	株式会社協同電工	SMDタワー導入による画期的部品管理の構築	
223	太陽工業株式会社	医療用鉗子（かんし）部品の短納期・低コスト実現へプレス化技術の開発	
224	南信州菓子工房株式会社	6次産業化に寄与するために真空濃縮技術を応用した有機JAS規格に適合する国産半生ドライフルーツの試作ライン確立と商品開発事業の展開	
225	本多通信工業株式会社	多品種少量生産を支える、新しいコンセプトのカセット金型の開発	
226	信州吉野電機株式会社	医療機器向け精密金属加工品生産体制の構築	
227	有限会社宮城商店	おいしくて手軽な「(新) 乾燥漬物」の製造および販売	Vol.2
228	株式会社タキワ工業	高速マシニング導入により納期短縮、コストダウンを実現する。	
229	宮坂ゴム株式会社	パワーモジュール導電部に用いる印刷用導電性塗料の試作開発	
230	株式会社綿谷製作所	軸物内面研磨技術のシステム化と新鋭専用機導入	
231	有限会社野溝製作所	自社開発工具を用いた医療機器用超精密部品の工法開発及び設備導入	Vol.1
232	株式会社ヤマト	切削部品洗浄の高度化・効率化による収益性向上と受注拡大	
233	エコシンフォニー株式会社	小型差圧吸引混合方式、次亜塩素酸水成装置の試作開発	
234	株式会社サーキットデザイン	動物位置検知に特化したソフトウェア受信機システムの開発	Vol.1
235	吉田工業株式会社	鋳物仕上工程用NC制御型多軸加工機導入による複雑立体鋳物製品の高度化	Vol.1
236	有限会社小笠原商店	天然寒天製造設備の新鋭化と産学公連携による新商品・新販路開発	
237	株式会社ちの技研	業界初ピアフィル複合電気めっき技術の確立による高機能プリント配線板の開発	
238	株式会社サトー	ニットの弱点をカバーした新たな編機導入による新編地開発	
239	ゴコー電工株式会社	高性能トルクモータ製造における“新試験システム”の開発	
240	藤原印刷株式会社	書籍の電子化技術の新工法開発による新サービスの提供。	
241	株式会社前田鉄工所	機械加工と溶接技術で製作した高性能伝熱管を用いる熱交換器の開発	
242	信濃ワイン株式会社	瓶内二次発酵方式のスパークリングワイン製造設備導入とコンコード種ブドウでの製品化	Vol.3
243	株式会社シーピーアール	物流資材の軽量化のための新規試作開発	
244	有限会社南信テック	高収率・低廃棄量を目的とした多機能搾汁機の試作・開発	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
245	株式会社平出精密	精密钣金技術を使ったテーラードブランキング材加工技術の開発	
246	北陽建設株式会社	パネによるエネルギー吸収システムを採用した新落石防護柵の開発	
247	多摩川テクノクリエイション株式会社	航空機搭載用装置のシミュレーション高度化と手法開発	
248	プラテック工業株式会社	IT技術を活用短納期プラスチック金型の設計製作プロセスの開発	
249	パッシングポイント	ガード付マルチコプターを活用した新しい橋梁点検サービス	
250	ベストプラ株式会社	低強度なフィルム類を高品質・低コスト・短納期化のニーズに応える再生プラスチックペレットの試作開発	
251	有限会社辰野目立加工所	生産性向上の決め手、「バリなしドリル」の量産化を実施する設備導入	
252	株式会社駒ヶ根電化	特定顧客の多様な高品質製品に対応した亜鉛複合めっきバレル自動ラインの新設	
253	株式会社伸和精工	ワイヤカット放電加工機導入による超精密角絞り用プレス金型の製作	
254	株式会社タイドー	木工用マシニングセンター導入による生産性向上とこだわり家具事業の展開	
255	株式会社エスケー精工	医療用機械装置専用のアルミ加工設備の導入による超精密加工技術の開発と提供	Vol.3
256	マイクロテック株式会社	レーザー光源を利用した表面散乱光方式濁度計の試作開発	
257	株式会社ダイワ工業	パワー半導体（インバータ回路）向け高放熱性基板の開発	
258	セルフア長野株式会社	高密度実装用新型ポイントフラックス塗布機の開発	
259	株式会社コシブ精密	フォトリソ技術を応用活用した3Dパターン化による新規製品開発	
260	岡谷精密工業株式会社	水晶デバイス製品における気密封止用超小型金属キャップの試作開発	
261	ナノテック合同会社	可搬式災害用ソーラー浄水システムの開発	
262	有限会社吉澤物産（採択時：有限会社吉沢物産）	電気料金削減で生産拡大と品質向上に努め、売上増と雇用者の収入増を目指す	
263	trackwork株式会社	熟練職人の知識・技術を継承し、熟成肉の製造・食肉加工品の開発を核とした事業	
264	株式会社医学生物学研究所	細胞内動的分子挙動観察用プローブ試薬・キットの開発	
265	株式会社ハナオカエンジニアリング	機能を付加した大型立型複合機導入と、加工改善による収益向上	
266	株式会社カウベルエンジニアリング	基板・完成品検査装置の開発・製品化	Vol.1
267	有限会社宮坂精工所	ステンレス材高精度薄肉加工技術の開発	
268	プラズマ電子株式会社	産業機器用プラズマの状態を把握する連続計測装置の試作開発	
269	有限会社buono	パン製造工程における二次発酵室の増設による製品品質の安定化	
270	株式会社フジ技研	3Dレーザースキャナの導入による点検・診断技術の開発	
271	株式会社タキワ	収益向上と納期短縮を目指した金型製造工法改善と市場獲得	
272	有限会社ESアドバイザー	水処理用粒状活性炭の再生技術の開発と事業化	
273	セラテックジャパン株式会社	高精度表面形状測定機の導入によるパワーデバイス用基板の研磨技術開発	Vol.3
274	株式会社ナイトー	次世代自動車用電装モジュールのコストダウンと高精度化を実現するプレス金型の実用化	
275	株式会社スター精機	新工法開発によるコストダウンの実現	
276	株式会社竹村製作所	不凍水抜栓の構造変更による生産工程の効率化と製品の高品質化	Vol.4
277	株式会社アメック	高機能シートの高透明度、薄型化、厚さの均一性等を実現する金型加工技術の確立	
278	株式会社ナンシン	機能性マイクロチューブの試作開発およびその製造技術の開発	
279	有限会社ウインテック	高精度測定器導入による全行程・全数保証のための効率的検査システムの確立	
280	株式会社メイクワン	UVインクをガラスに凹凸を付けて印刷し、立体的に見せる新しい印刷技術の開発	
281	大共化成工業有限会社	発泡ビーズを使用した寒冷地・軟地盤の土地造成時の下地材の試作品開発	
282	株式会社エグロ	高速主軸を開発するための回転試験装置と測定装置の設備と運用	
283	株式会社サンリエ	バルブ開閉機能を付加した医療・産業用 超小型マイクロポンプの試作・開発	
284	マリモ電子工業株式会社	ADSを使用した高速基板設計技術確立による高周波計測装置の開発	Vol.2
285	伊東産業株式会社	太陽光パネルを電源とした圧縮空気動力による防潮堤の自動開閉装置の開発	
286	株式会社協和	X線検査装置導入による高信頼性評価技術と12層基板新実装量産体制確立	
287	株式会社南信精機製作所	業界初。振動モーター向け整流子のセグメント抜け防止対策としての円筒カシメ工法	
288	有限会社西澤研磨	次世代に必要なとされる樹脂部品の研磨技術開発	
289	有限会社堀川工業	多種多様な機械部品加工における短納期対応、製造技術の革新	
290	湖北工業株式会社	熟練技術と複合旋盤の融合による旋盤精密加工の新たな生産プロセスの確立	
291	株式会社マイクロネット	生活空間の静音要望に応える能動騒音制御装置の試作開発	
292	株式会社ヤマザキアクティブ	航空宇宙産業参入のための「特殊金属製ゆるみ止めボルト加工技術」の試作開発	Vol.1
293	有限会社小池精工	次世代自動車関連部品の高精度化に寄与するプレス型の技術開発	
294	株式会社バイタル	超小型軽量の瞬間式温水自動水栓の試作開発	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
295	信越ハーネス株式会社	次世代自動車向けワイヤーハーネスに関する技術開発	
296	株式会社KEC	小型部品供給機と小型ロボットを組合わせた生産装置製造の事業化	
297	株式会社広田製作所	大容量磁気ディスクの高速/高品質データコピー技術の開発	Vol.4
298	有限会社中信紙工	精細な立体段ボール製品実現のためのレーザー加工機と3D-CADの設備導入	
299	株式会社エスシープラスチック	機能性透明樹脂を用いた複雑形状部品の成形技術の高度化	
300	GAST JAPAN株式会社	高硬度金属材料を使った医療医薬関連部品の開発	Vol.2
301	株式会社永田製作所	品質と作業効率向上に寄与する、光学レンズ用洗浄治具の試作開発	
302	シナノカメラ工業株式会社	次世代自動車ECU向け部品実装に関する技術開発	Vol.4
303	有限会社アムス	難削自動車部品の工程及び治具改善等の高度化により40%コストダウンの達成	
304	有限会社芳川紙器	医療検査機器の海外輸送に対する梱包設計の精度の向上とサンプル製作の短期化	
305	株式会社トーキン	QRコード対応型高速システム切断機導入による高精度切断と生産管理の合理化	
306	レゾネッツ・エアフォルク株式会社 (採択時:レゾネッツ株式会社)	無線及び移動体通信網を使った高品位音声伝送装置の開発と試作	
307	株式会社アグリスタくましろ	『市田柿』をお客様へ早く・美味しく届ける為の生産工程の改善	
308	エムケーカシヤマ株式会社	プレス金型用部品のメンテナンス作業の効率化と汎用化の推進事業	Vol.2
309	有限会社川手製作所	超高精度真円度加工技術の開発による加工技術の高度化と生産性の高い短納期生産体制の実現	Vol.2
310	株式会社タカギセイコー	眼科医療機器製造における競争力向上の為の革新的な生産管理システムの導入	Vol.1
311	株式会社浜島精機	航空宇宙部品受注拡大に向けた加工時間短縮と精度向上による競争力強化	Vol.1
312	株式会社大和生物研究所	クマ笹抽出効率の向上と水の再利用による原価低減および商品安全性のための製造環境整備	
313	有限会社松本電子工業	高密度両面実装の高品質化・短納期化に対応するハンダ印刷治具開発及び実装設備導入	
314	株式会社久保田製作所	円筒研削盤導入による短納期・低コスト・超精密・高精度の金属加工の実現	
315	有限会社古川製作所	ロボットを多角的に利用した、多様な航空機部品生産システムの構築	
316	有限会社センタープロセス	難削材加工の製造プロセス改革による競争力の強化、構築	
317	株式会社湯川酒造店	清酒の輸出拡大・品質向上の為、高度な温度制御を行う加熱殺菌技術の開発	Vol.2
318	株式会社ミツギ	航空機次世代エンジン実験用部品の試作開発及び設備導入	Vol.2
319	カネテック株式会社	受注拡大を目的とした、高効率切削加工技術と最新機械及び治具研究の融合	Vol.2
320	有限会社矢城	地域特産品のハケ岳西麓産「玄そば」を活用した「どうづきそばパスタ」の開発・販売拡大事業	
321	アタゴシステム株式会社	世界初の果汁搾り機「CAJYUTTA」(カジュッタ)自動機の試作開発	
322	株式会社コーヨーテクノス	超高精密の検査治具作製のため、超微細の穴あけ加工が可能な加工機の導入	
323	有限会社タケイ工機製作所	高精度精密切削加工技術の改善、高度化による油圧部品の市場獲得	
324	伸和コントロールズ株式会社	燃料電池車向け水素ステーション用高精度・高効率冷却装置の開発	
325	株式会社ロータスプロモーション	炭酸泉生成システム(T2sys)の新規販売ルートの開拓	
326	株式会社八幡屋礒五郎	七味唐辛子の素材・地産食材を使用した自社ブランド喫茶・飲食施設の開業。	Vol.2
327	有限会社ナツバタ製作所	次世代自動車の部品加工を想定した応力低減切削加工技術の確立。	Vol.1
328	有限会社スワニー	デジタルモールド(射出成形特殊樹脂型)の事業化に向けた研究開発	
329	有限会社フジ製作所	工程削減による試作・量産部品のリードタイム短縮・低コスト体制の構築	
330	有限会社マックス	医療機器(内視鏡)生産設備構成部品の高精度「内R加工」技術の確立	
331	武蔵野通工株式会社	医用トランスに於けるフェライトコアの最適エアギャップ形成プロセスの開発	
332	株式会社アシエ	両頭側面フライス盤導入と加工プロセスの改善による高精度・短納期の実現とコストの削減	
333	株式会社丸山製作所	高精度実装機導入による試作から量産への高度化生産ラインの構築	
334	大信州酒造株式会社	新タイプのリキュールの製造環境改善と生産性アップによる販路拡大	Vol.3
335	有限会社測地	最新技術測量機械を使った三次元点群位置データの提供	
336	ミクロン精工株式会社	多軸加工機による半導体モールドパッケージ装置部品の生産性向上	
337	株式会社フォワード	超硬材微細切削加工の低コスト化に向けての新加工法開発	
338	有限会社佐藤製作所	低公害型ローコスト材料(再生砂)を使用した鋳物鑄造用中子の試作造型	
339	株式会社ノースウエスト	雪山を走破しきる極限雪上車の開発、試作、事業化	
340	有限会社一光精機	設備導入による大型製造装置用部品における研削加工生産能力向上事業	
341	多摩川精機株式会社	小型磁気軸受を使用した長寿命リアクションホイールの試作開発	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
342	株式会社アップルハイテック	航空宇宙関連顧客要求に対応するための5軸加工機導入と売り上げ増加・利益向上	
343	株式会社リニアック	CNC旋盤導入による短納期対応と価格競争力強化並びに新規受注の獲得	
344	浅間化学企業組合	トナーカートリッジの成形と組立を一体化した一貫生産体制の再構築	Vol.1
345	有限会社カワテ	NC設備導入による生産体制の高度化、高精度化、短納期化の実現	
346	新增澤工業株式会社	生糸製造工程に於ける革新的省力化機械の試作開発	
347	株式会社リソー技研	太陽電池パネル製造用設備の超音波半田付け装置・開発について	
348	昭和樹脂工業株式会社	家庭用医療機器（ポータブル電動吸引器）の開発による事業拡大	Vol.4
349	株式会社長野大崎製作所	樹脂成形品の高機能化、低価格化を実現する異材質成形技術の開発	
350	株式会社三葉製作所	ユーザーの次世代製品を支える、革新的構造の押出成形機ヘッドの実用化	
351	株式会社CPM	リレーコアの高清浄化の為にコンタミ制御と除去装置の開発と導入	
352	株式会社東亜	自動化技術を活用した加工プロセスの確立による医療機器部品の生産能力向上事業	
353	株式会社プリオール	製造（裁断）工程の自動化と管理システムの構築による生産性向上、および新商品開発	
354	有限会社愛光電子	航空宇宙用プリント基板組立工場内の適切な環境作りのための設備導入	
355	株式会社中部テクノ	高精度プレス金型および高速プレス加工用金型の加工技術の確立	
356	株式会社寿バイオ	高品質バイオディーゼル燃料製造設備導入により再生エネルギーの地産地消に取り組む	
357	株式会社協和精工	医療機器向け安全装置用特殊ブレーキの量産化による海外受注拡大	Vol.1
358	株式会社ミサワ金属工業（採択時：有限会社ミサワ金属工業）	人工衛星用部品の難加工材加工に伴う高性能化、複雑形状化対応	
359	株式会社ユニコン	航空宇宙用特殊材使用歯車部品の高速・高能率切削加工技術の開発	
360	株式会社ヒーテック	精密加工部品の熱処理変形を無くすための加工プロセスの構築	
361	伊那食品工業株式会社	天然物由来のポリイオンコンプレックスポリマーの開発及び製造技術の確立	
362	株式会社インフィニティ	美容サロン向け「経営・集客支援システム」事業の強化	
363	株式会社イシワタグラフィックス	機能性クリアファイルの少量生産即時納品サービスの構築	
364	株式会社乾光精機製作所	航空宇宙分野で使用される難削材・自由曲面加工の高度化	
365	有限会社多田プレジジョン	5軸マシニングセンタ導入による金型と高精度加工部品の生産能力強化	Vol.1
366	株式会社ヒューテック	下水道マンホール内の自動撮影及び図化作成システムの開発（通称:無事故君）	Vol.2
367	大栄産業株式会社	木製看板における新工法の試作開発による環境配慮型看板市場の開拓	
368	株式会社土屋酒造店	生酒の通年輸出を実現する保存技術開発とそのための設備導入	
369	株式会社竹屋	新製麹法による新しい味噌の商品化とその技術を用いた新食材開発	
370	株式会社ピーエーイー	最新切削設備導入による「航空・宇宙」部品加工の事業拡大	
371	パワフル健康食品株式会社	バイオ技術を用いた農産物の機能性植物発酵食品の製造設備導入	
372	北信地域材加工事業協同組合	工務店の住宅建設現場での騒音・ゴミ処理の軽減、および人材不足等への支援	Vol.1
373	アイビーテクノクリエーション株式会社	複合加工機とCAM導入による工程短縮及び新分野への展開	
374	日邦電機株式会社	ダイレクトドライブを可能にする超薄型ハイパワーモータの開発と専用製造ラインの構築	
375	有限会社諏訪ニチアイ精工	高速回転・高送り切削法による異形状多面体の高精度・高能率加工技術の確立	
376	有限会社ユーズテック	航空機部品の市場コスト対応と受注から量産のリードタイム短縮に向けた生産プロセス改善事業	
377	株式会社アイン	光通信向けモジュール用基板の製造プロセス改革	
378	株式会社信州セラミックス	ホルムアルデヒドを分解する空気清浄機フィルターの試作開発と事業化	
379	株式会社なかひら農場	精密多次元曲面を用いたスクリュープレスの開発	
380	有限会社タイム社	3Dスキャナーと写真測量用ラジコンを活用した3次元図面作成サービス	
381	株式会社山口電機	水封式真空ポンプ用部品の設備投資による生産性向上事業	
382	ユニプリント株式会社	高感度画像検査装置の導入による、製本加工の品質安定と信頼性の見える化で市場拡大	
383	有限会社シンワ工機	産業用ロボットの小型化に伴う切削加工品の薄肉細長形状への対応	
384	株式会社シミズテクノ	洗浄工程の自動化を実現する専用インライン洗浄機の試作開発	
385	有限会社ハイツシステム	タブレット機器を利用した、産業システム向けカスタマイズ可能な操作・監視端末の開発	
386	株式会社仙醸	どぶろく製造における加熱殺菌工程の高度化	
387	ラブジャパンブランド株式会社	伝統的帯地・着物地を活用したインテリア用品などリメイク商品の試作・開発	
388	株式会社角口酒造店	「フレッシュローテーション生酒」の開発と製造システムの構築	
389	株式会社オノウエ印刷	異形印刷物の型抜き加工機導入による新事業展開と受注拡大	
390	株式会社Aizaki（採択時：株式会社相崎電機製作所）	3D加工情報連動型検査システムの導入によるコストダウンと受注拡大	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
391	株式会社サワイ	大物部品の高速研削化並びに超精密平坦精度技術開発と量産化	Vol.1
392	有限会社ケー・アンド・エフコンピュータサービス	3Dスキャナによる3Dプリンタ向けデータのプリプロダクションサービス開発	
393	有限会社丸井伊藤商店	高品質な米麴の製造工程の高度化と地域産品を活用した甘酒ジュレの新商品開発	
394	伊那食品株式会社	消費者により安心・安全な食品を提供するための新設備の開発・導入	
395	株式会社ユタカ	圧力調整器本体加工の工程集約による高精度化とコスト競争力強化	
396	不二越機械工業株式会社	硬質材料等の高荷重・高速による研磨装置の開発	Vol.4
397	キャンテクノロジー株式会社	高速かつバリなし切削によるチタンの低コスト加工技術の確立	
398	須坂新聞株式会社	ローカル新聞社が行う新たなメディアによる情報提供・広告サービス	

平成26年度補正分

(受付順。事業者名は発刊時、事業計画名は平成26年度採択時の申請内容を記載)
(Vol.1～4は当該事業者が掲載されている成果事例集の巻を示します。本会ホームページでもご覧いただけます)

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
1	信越明星株式会社	機械製麺の弱点を克服し食感改善した冷凍信州そばを実現するための製麺機導入事業計画	Vol.1
2	株式会社荻原製作所	燃料電池を用いた産業車両のセルスタック冷却用水処理装置の開発	Vol.2
3	株式会社イングスシナノ	近未来ディスプレイに必要なとされる高度実装技術および装置開発	
4	株式会社西軽精機	医療機器部品高度精密洗浄体制確立	Vol.3
5	株式会社やまへい	機能性を高めた新たな野菜漬物の試作と加工技術確立による商品開発	
6	株式会社ヤハタ精工	医療機器部品における高精密金型の試作開発	
7	昭和樹脂工業株式会社	ブロー成形機導入による医薬品用小型容器成形技術の確立	Vol.4
8	株式会社明神工業	革新的高耐圧コイル巻き線自動機の開発	
9	東新精工株式会社	次世代家庭用燃料電池の熱交換機用プレス部品の試作開発	
10	東京モートロニクス株式会社	先端産業向けモータに対応した着磁ヨークの高精度・高密度化の実現	Vol.4
11	アルティメイトテクノロジー株式会社	ウェアラブルデバイス向けマルチセンサー付超小型カメラモジュールの開発	
12	株式会社ズー	ゲーム制作における、開発コスト削減を実現するゲーム内ステージ自動生成ソフトウェア試作版の開発	
13	エア・ウォーター・マツハ株式会社	高品質ゴム製シール材の低コスト検査システム開発	
14	喜久水酒造株式会社	消費者ニーズに対応した低アル・発泡性酒類の開発	Vol.3
15	株式会社岡沢製作所	フィルター業界における弊社独自の「高品質・低コスト」ブランドの構築と競争力強化	
16	コトヒラ工業株式会社	価格性能比と信頼性に優れた電解次亜水生成装置の開発と事業拡大	Vol.2
17	株式会社信州セラミックス	セラミック複合材を繊維へ加工する為の簡易加工装置の試作開発と事業化	
18	株式会社シナノ	3Dプリンターを活用した杖等の握り部の試作・評価プロセスの確立	Vol.1
19	株式会社永田製作所	球面加工を可能とするレンズ皿加工専用旋盤の開発	
20	株式会社カワムラ精器	三次元測定機導入による、QCDと組織力の改善及び競争力の強化	
21	有限会社イチコー	スライドヒンジユニット製造における新構造・長寿命金型開発	
22	GAST JAPAN株式会社	土壌微生物の検査に用いる、多点マイクロ培養プレートの開発	Vol.2
23	有限会社登内光学	光学レンズの革新的製造プロセスを実現する自動機械装置の試作開発	
24	合同会社信越バイオエナジー	廃菌床を原料とするバイオコークスの燃焼に最適なボイラーの開発	
25	株式会社小宮山土木	コンクリート構造物の耐震補強用資材ヘッドバーの高機能製品開発と増産	
26	有限会社茅野工業	原価低減・品質の源流保証を実現する多品種小ロット部品の高度化	
27	株式会社SYNAX	検査工程の高精度化による高速・高精度ハンドラーの試作開発	
28	長野精工株式会社	小型ディーゼルエンジン用燃料噴射ポンプ構成部品のカムシャフト加工・計測技術（設備）の開発	
29	上田プラスチック株式会社	成形工程、検査工程、整列ストック工程における工程集合と自動化	
30	宮坂醸造株式会社	シャンパンに対抗する“スパークリング清酒高品質化技術”の確立	Vol.2
31	有限会社伊藤テント装飾店	縫製技術の高度化により70%のコスト低減と、安心・安全な製品の提供	
32	有限会社保坂工業	レーザー溶接機導入による高精度・高信頼性・高品位溶接技術の確立。	
33	山清電気株式会社	省エネを可能にした凍結防止・融雪ヒーター用出力可変温度コントローラーの開発	Vol.3
34	株式会社三葉製作所	押出成形機最重要部品のCAD/CAM化による生産性23%アップ	
35	株式会社ミスズ工業	小型水素ステーション用セパレータの超高精度極細孔加工技術開発	
36	株式会社竹村製作所	水質評価サービスを加えた水処理装置の包括提案による顧客満足度向上	Vol.4
37	有限会社協和精機製作所	薄肉難形状に対する生産性の高い新加工法の開発と競争力ある製造プロセスの構築	
38	株式会社ハタ研削	航空機等の光通信用途に使われる小型軽量高信頼の光コネクタの開発	
39	セラテックジャパン株式会社	非接触式3次元測定機の導入と高脆材料の高精度多穴加工技術の開発	Vol.3
40	株式会社つばくろ電機	設計プロセスの高度化による自動化、省力化生産設備の納期半減体制の確立	Vol.1
41	株式会社松本製作所	真空ポンプ部品加工参入のための超精密切削加工技術確立	
42	コムバックシステム株式会社	段ボール生産機の大幅な生産性向上と品質競争力向上のライン構築	Vol.4
43	岡谷熱処理工業株式会社	高性能金属熱処理炉の導入による、製品の品質向上と電力の大幅削減	Vol.1
44	株式会社ミハマ	等速ジョイント用高性能クランプの開発と高効率生産設備の開発	
45	株式会社ライト光機製作所	世界最高の「高透過率・原色再現性」を実現したライフルスコープの開発	Vol.2
46	株式会社ハヤシ	複合加工機導入による高精度・高効率な加工体制の再構築	
47	株式会社山岸製作所	船舶用大型部品の高精度加工への取り組み	Vol.1

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
48	株式会社南安精工	腕時計自動針組付け及び針高さ調整機能付き自動組立機の開発	Vol.1
49	株式会社サイベックコーポレーション	サービスロボット用歯車部品の高精度化及び低コスト化技術の研究開発	Vol.2
50	株式会社みすず精工	機関系締結部品での量産計画においてコストおよび工数削減を実現するための製造設備ライン構築	
51	株式会社日誠イーティーシー	高効率モーターに使用される高密度コイル製造装置の開発導入	Vol.1
52	長野竹内ハガネ株式会社	研削加工方法の高度化によりダイス鋼の、高精度、低コスト、簡易加工化技術の確立。	
53	三映電子工業株式会社	レーザー光を用いた平角エナメル銅線皮膜の高精度剥離技術の開発	
54	株式会社ダイナ楽器	高機能設備導入と熟練加工技術の融合によるエレキギター高度化事業	
55	株式会社オフィスP'dj	農産物直売所が複数農家の出荷計画を正確に把握できるシステムの開発	
56	株式会社牛越製作所	精密小物部品の多品種中量生産用自動化システムの構築	
57	ダンクセキ株式会社	プロ・ハイアマチュア向け高精度オンデマンド写真集作成サービスの構築	
58	アルファデザイン株式会社	天吊多関節ロボットベースユニットの開発	
59	株式会社しなの工業	高精密旋盤導入による医療・健康関連顧客要求への対応と売上・利益の向上	
60	株式会社ジェー.ピー.イー.	果物の表皮の色測定装置（試作機）の開発と事業化への検討	Vol.3
61	株式会社島田製作所	プレス加工技術高度化のための高度測定設備の導入	
62	株式会社協和	ウェアラブル機器向け小型・軽量・高密度実装電子部品商品化	
63	味澤製絲株式会社	製糸残渣の蛹を活用した冬虫夏草量産に関する技術開発	
64	株式会社桜井製作所	SUS304ステンレス材の“非磁性・高精度絞り製品”の試作開発	
65	有限会社小池精工	プレス加工でのリードタイム短縮とコストダウンを目指す技術開発	
66	株式会社遠藤酒造場	業界初、夏季に超音波で活性にごり酒を生産し日本酒の消費拡大を図る	
67	長野オートメーション株式会社	自動車等の円筒部品内面の高速高精度な検査装置の試作開発・市場開拓	
68	オリオン機械株式会社	原発作業・感染症医療対策用の新温調防護服開発のための設備導入	Vol.2
69	株式会社バイタル	小型高性能なラッチングソレノイド式電磁弁の試作・開発	
70	エス・ピー・エアー株式会社	空圧機器の切削加工のコンタミ（残留異物）除去システムの構築	
71	三和ロボティクス株式会社	人と工作機械の生産性を向上するフレキシブル製造システムの構築	
72	株式会社グットアップ	ホームページの改善点が誰でも、一目で、直観的に分かるアクセス解析ツールの開発	
73	株式会社共進	次世代自動車の電動型制御ブレーキ小型化に係るガイド部品接合方法の開発	Vol.2
74	株式会社シンセイ	スマートフォン向け光学部品のレーザー加工及びめっき加工の高度化	
75	株式会社理学	導電性ポリマーの高導電化と高効率製造技術の試作開発	
76	株式会社ワカ製作所	世界初、JAXA規格による宇宙用同軸ケーブルアセンブリの開発。	Vol.4
77	株式会社中央測量	UAV（無人航空機）を用いた空中撮影による三次元測量・解析	
78	株式会社湯川酒造店	四季醸造による生産拡大および低コスト化を目指す、清酒製造設備の高度化	Vol.2
79	株式会社五味製作所	ロッカー錠のコストダウンを目的とした、シリンダー部プラスチック化の試作開発	
80	有限会社野口製袋所	高性能製袋機の導入による生産性向上とエコ封筒の積極営業による受注拡大	
81	吉田工業株式会社	3D砂型プリンター製アルミ鋳物の高度化による機械強度予測と新製品の応用	Vol.1
82	有限会社いわい	主食がつつり団子と包餡バラエティ串団子によるIROHAブランド確立	
83	大和電機工業株式会社	業界初の次世代半導体向けジンケートレス無電解UBMプロセスの開発	
84	株式会社LADVIK	多様な試作に対応可能な新複合フォーミング機械の開発	
85	豊実精工株式会社	クローム超微粒子被膜処理の性能向上・工期短縮のための生産プロセス改良	
86	ありがとう製麺株式会社	お鍋ひとつで安心・簡単調理、健康に役立つ食塩・かん水不使用麺の開発	
87	プラトール株式会社	自動車のパワーウィンドーレギュレータの軽量化と低コスト化	
88	株式会社栄光製作所	高速5軸ミリングセンター導入と高速用極細切削工具開発による安定量産技術の確立	
89	有限会社稲月製作所	生産プロセスの革新による生産性および品質の向上	
90	株式会社飯島精機（採択時:有限会社飯島精機）	基板検査用超精密コンタクトプローブの試作開発	
91	高島産業株式会社	卓上多機能加工機マルチプロ新機種開発による販売領域の拡大化	Vol.3
92	日本装置開発株式会社	光改質デバイスを利用した光合成増進・植物育成農業資材の設備開発と実証	Vol.1
93	本多通信工業株式会社	SDカードの次世代規格（UHS-II）に対応したソケット製造設備の稼働安定性確保と稼働率向上	
94	山本屋化粧品	麹の酵素力価を高める製造技術の開発及び自社商品の高付加価値化	
95	有限会社野中製作所	航空宇宙部品の受注拡大に向けた、生産リードタイム短縮による競争力強化	
96	カインシ工業株式会社	パレットチェンジャーを備えた横型マシニング加工機導入による高品質加工技術の確立と新事業の創出	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
97	山京インテック株式会社	航空宇宙部品ラインの拡張に向けた超薄肉形状加工設備の導入	Vol.3
98	株式会社中外製作所	赤外線アレイセンサを利用した高齢者見守りセンサの開発	
99	株式会社コシナ	レンズ加工工程における高精度面形状測定システムの構築	Vol.3
100	有限会社ニシキ精機	高精度微細切削加工に伴う洗浄工程の品質改善と効率化への取組	
101	有限会社新川	自動旋盤導入による産業機械関連顧客要求への対応と加工製品の高度化	
102	株式会社みのり建設	廃棄物の効率的な堆肥化を可能にする高性能攪拌機の開発	
103	有限会社中澤鑄造所	鋳物の精度向上と加工レスを達成し、新商品開発等新規市場への拡大を図る	
104	日本青銅株式会社	省エネ省資源化を実現する高度精錬機能を有する鑄造ラインの構築	
105	株式会社イツミ	小回り開発生産システムの確立による省エネ型衣類乾燥機の開発	Vol. 1
106	株式会社同志舎	木工ネットワークを構築し海外生産を国内生産に切り替える生産革新事業	
107	株式会社大東製作所	特許名「ボールねじ用ナット及びボールねじ」の実用化の試作	
108	飯田チーゼル株式会社	電熱油化装置によるバイオマスの液化燃料製造技術開発実証	
109	株式会社科学技術開発センター	県下初の環境負荷物質における自動迅速分析と低コスト分析の確立	
110	株式会社バイオテック	『有機栽培手法を革新し適正流通を実現するYM完熟堆肥の製造』	
111	株式会社信栄食品	食物（小麦）アレルギー対象者でも食することができる「グルテンフリー米粉餃子」の製造と事業の拡大	
112	太陽工業株式会社	全剪断面を実現する自動車部品「高品質・低コスト化技術」の確立	
113	株式会社丸宝計器	シリアルナンバー印字の自動化装置導入による生産プロセスの効率化	
114	有限会社金森軽合金	砂型造型作業における生産性の向上と製造環境の改善	
115	アタゴシステム株式会社	多品種少量加工用ローコスト無人加工システムの試作開発	
116	株式会社CPM	保磁力制御技術の確立による高精度車載リレーコアの事業の拡大	
117	株式会社竹内製作所	アルミ薄肉材加工時の熱変形防止技術の高度化を達成し事業の拡大を図る。	
118	株式会社マルモ青木味噌醤油醸造場	みその新規海外需要に応えるための専用充填包装機の導入	Vol.3
119	湖北工業株式会社	3軸マシニングセンタを簡易五面加工機化する新工法の開発	
120	森川産業株式会社	冷凍空調機器に用いる弁類の新冷媒対応のための高圧化製品開発	
121	マイクロコントロールシステムズ株式会社	ガス発電の熱と排ガスを再利用する半田付け装置の試作開発	
122	有限会社多田プレジジョン	冷却性能向上による新型プラスチック金型ならびに難加工材加工の生産性向上	Vol. 1
123	株式会社協和精工	サービスロボット向け世界初直径10mm（小径）ブレーキ開発	Vol. 1
124	株式会社nittoh（採択時：日東光学株式会社）	高精度ポリシングマシン導入によるガラスモールドレンズ鏡面駒の鏡面仕上げ技術の開発	
125	株式会社アイカム	ローコスト、短時間作業、簡略化を可能にした金型部品製造	
126	有限会社春日自動車工業所	板金塗装工程の改善による付加価値の向上と差別化の実現	
127	有限会社平林	次世代表面処理と生産性向上・環境負荷軽減を実現する塗装設備の導入	
128	株式会社ピーエーイー	「ロボットによる工程自動化システムの自社開発によるコスト競争力・品質管理強化」	
129	ハヶ岳食工房合同会社	信州産の素材にこだわった世界初酒麴、味噌麴を使った麴菌生ハムの開発	
130	株式会社プロノハーツ	3Dレーザースキャナを導入して、工場全体の3D化を行う革新的なサービスの実現	
131	株式会社オックスラボ （採択時：株式会社オービーティー）	安心・安全を実現するウェアラブルLTE魚眼カメラの試作開発	
132	有限会社米山金型製作所	超精密形彫り放電加工機導入による精密金型部品の更なる高精度化	
133	有限会社日本インテック	タッピングセンタに取り付ける遠隔手動制御型切削液ノズルの開発	
134	平和特殊鋼材株式会社	大型プレート鋼材の短納期化と高精度化を実現する加工手法の確立	
135	ヘルツ株式会社	極厚ハニカム定盤用折り曲げ板金製作機械装置導入による競争力強化と顧客ニーズの実現。	
136	株式会社キガサワ	高残存価値軽自動車の販売による顧客との生涯取引の実現	
137	カネテック株式会社	高速切削技術と最新機械の融合により生産量増加で受注拡大を目指す	Vol.2
138	三立電機株式会社	プリント基板製造工程における、新規工程統合プロセスの開発	
139	有限会社伸和工作	幾何公差指示部等難計測部の自動測定システムの構築による生産ネックの解消と事業拡大	
140	株式会社イトウパーツ工業	重要製品の受注拡大に向けた新工法開発及び設備導入	
141	みのわテック株式会社（採択時：株式会社矢島製作所）	高性能カメラ鏡筒における加工技術の高度化と生産プロセスの最適化	
142	西和テキスタイルプリント株式会社	昇華転写専用縫製品（Tシャツ等）を従来にない<高品質>で<高効率>に転写加工する	
143	株式会社オオタ	自動車部品軽量化に寄与する高強度材料に対応可能な高精度プレス金型製作の短納期化	Vol.3

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
144	株式会社サイコムテクノロジー	離設検知と徘徊抑止機能を有する施設内見守りシステムの試作開発	
145	株式会社タカギセイコー	顧客にとって真の使いやすさを追求した眼科医療機器の製造を目指して	Vol.1
146	太陽精工株式会社	非軟化曲げ技術による熱可塑性樹脂板の加工製品の開発と量産化	
147	株式会社ヤマト	少量樹脂インサート小物部品の技術力向上による品質改善と収益性向上	
148	株式会社エスケー精工	産業用ロボットの高精度複雑形状部品の無人化加工技術の確立	Vol.3
149	ハーバー電子株式会社	小ロット多品種生産ラインの導入（小型フィルムコンデンサ超大型素子含む）	
150	天竜丸澤株式会社	油圧機器向 部品加工技術及び生産性向上	
151	株式会社松本精密	炭素繊維複合材用金型 製作コストの50%低減と40%の日程短縮技術の確立。	
152	多摩川テクノクリエイション株式会社	小型高出力電子機器の高精度熱流体シミュレーション技術開発	
153	株式会社駒ヶ根電化	めっき使用水リサイクル装置増強による水インフラシステム高度化	
154	株式会社エヌ・ティー・エス	世界初の透明・難燃性コーティング剤の開発	
155	株式会社エプテック	第2世代高温超伝導線材に対応した銅めっき皮膜の開発について	
156	有限会社ジャパンマグネット	ブラシレスモータの高耐久性を図る革新的なマグネットロータ開発	
157	アイキョー有限会社	高精度・高品質な交換レンズ鏡筒・鏡枠の切削加工の能力向上と品質保証体制の確立	
158	NiKKi Fron株式会社	10倍のフレックスライフを有するPFA成形体の製造方法確立	Vol.2
159	株式会社マイクロジェット	MEMS技術を用いた極小カラーコードマーキング用インクジェットヘッドの開発	
160	有限会社中村金型製作所	世界最高水準のダイキャスト冷却部品型の製作技術の確立。	
161	株式会社オクト	IC検査治具における精密加工技術の確立によるコスト削減と市場獲得	
162	株式会社ミスズ	鏡面研削加工技術を軸とした医療機器分野向け高付加価値製品の提供	
163	ガイア・エヌピー株式会社	高度化原料及び生産設備を利用した市場競争力を有する梓練固形石鹸の開発・試作	
164	有限会社アムス	低周波振動切削による難加工品の高精度、安定生産とコスト低減の達成。	
165	有限会社金井精密	加工工程見直しで大幅コスト低減を実現して医療関連部品受注促進	
166	有限会社辰野目立加工所	究極の高精度の穴加工が可能になる、超硬総型リーマを短納期で製造する。	
167	株式会社田中機器製作所	洗浄装置における洗浄液循環経路のステンレス板金化	
168	タカヤマケミカル株式会社	クリーンシューズ用「クリーンドライシステム」の導入	
169	株式会社ニッター	4K8K高画質TV市場参入に向けたガラス研磨加工技術開発	
170	株式会社ヨウホク	精密板金およびパイプ加工部品のバリ取り工程を効率化し、自社商品のコスト改善と価格競争力の強化で、受注を拡大する。	
171	日邦電機株式会社	パイプレーションモータの開発に伴う「新工法採用専用製造ライン」の構築	
172	株式会社唐沢	精密電子コネクタ用プレス金型部品の試作開発	
173	二光株式会社	「超高品質レンズ」の「短納期」「低コスト」の実現	
174	若林醸造株式会社	植物性乳酸菌を使用した新感覚アルコール飲料の開発と生産体制構築	Vol.3
175	多摩川モータロニックス株式会社	空間安定装置システム内蔵のダイレクトドライブモータ及び角度センサ加工技術の革新事業	
176	株式会社日向製作所	EL発光式避難用誘導標識の試作開発	
177	窪田建設株式会社	乾式吹付工法を用いたコンクリート維持補修分野への革新的サービスの事業展開	
178	シスマック技研有限会社	放電テーパ加工技術導入による金型・治工具の高精度化・短納期化の実現	
179	株式会社みやま	PPS樹脂加工金型の高精度化によるFCV部品の軽量化	
180	佐久の花酒造株式会社	日本酒の麹製造工程の高度化による「三季醸造の確立」及び「品質・生産性向上」	
181	不二越機械工業株式会社	ミニマルファブに供給する0.5" ウェハ高効率製造ラインの構築	Vol.4
182	株式会社山田製作所	新たな消火設備の生産体制の整備及び新市場開拓による経営革新の実現	
183	ミマキ電子部品株式会社	3D外観検査装置による高密度実装基板の外観検査の確立	
184	サン工業株式会社	次世代自動車コネクタ向け耐摩耗性及び高電導性に優れた長寿命銀複合合金めっきの開発	
185	有限会社五味精工	特殊鋼材の切削加工手法の改善による高精度化・短納期化事業	
186	株式会社クラフト	航空機部品の量産体制に向けた高精度マシニングセンタの導入計画	
187	日本ミクロン株式会社	検査装置用ピン付きプリント配線基板の生産システム開発	
188	久保田製菓有限会社	柔らかくて不定形な餅菓子の革新的なピロー一個包装システムの構築	
189	有限会社吉澤物産（採択時：有限会社吉沢物産）	省力設備導入による作業負担軽減と生産性向上で売上増加・利益向上の実現	
190	株式会社neop	医療用機器レンズ分野進出に向けた製造工程における製品の高精度化	
191	有限会社イタクラ	同時切削加工化により品質安定と70%のコスト低減、80%短納短縮の実現	
192	株式会社綿谷製作所	ファイン・インジェクション型ナノ繊維製造装置の開発	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
193	松本スプリング株式会社	回生ブレーキ向けバネ生産の複合機能ロボット活用による自動化・省力化	Vol.2
194	夏目光学株式会社	接着面精度の向上を通じた通信用接合プリズムレンズ製造の高度化	Vol. 1
195	株式会社スギムラ精工	ハイツ薄板部品のプレス精密せん断加工後の2次加工ライン構築	Vol.4
196	有限会社浅間精機	フィルムインサート用金型製作とフィルムインサート成形品の量産。	
197	大信州酒造株式会社	温調設備導入に伴う製造期延長と生産増による国内外の需要増への対応	Vol.3
198	株式会社ナガタ	不可視光レンズと蒸着製品サービス高度化による付加価値向上。	
199	信州吉野電機株式会社	部品の成形高強度樹脂技術の確立	
200	多摩川マイクロテップ株式会社	航空機用歯車の加工時間短縮と精度向上による競争力強化事業	
201	株式会社サンジェム	ゼロ位相角抵抗器の開発	
202	株式会社丸信製作所	センタレス研削作業における段取り自動化による匠技能伝承の推進	Vol. 1
203	リジェンティス株式会社	中鎖分割ポリリン酸を用いた歯周病治療用再生医療材料の開発	
204	協全商事株式会社	有機廃棄物の短期発酵システム及び悪臭防止システムの試作開発	
205	有限会社フジ精密工業	プレス金型の精密加工部品の製造リードタイム短縮の実現	
206	株式会社石原産業	絶縁薄板部品の高速微細加工による付加価値向上と量産の新展開	
207	株式会社小松精機工作所	農業分野向け非接触・非破壊新土壌レベル計測装置の開発及び試作	Vol.3
208	小林興業株式会社	レンズの精度を変化させない鏡枠の開発	
209	株式会社ロータステクノ	医療用内視鏡の極小レンズの製造・販売	
210	ファーマックメディカル株式会社	人工膝関節手術の治療成績を格段に向上させる画期的手術器械の開発	
211	イデアシステム株式会社	小型・低価格な低体温療法装置の開発	Vol. 1
212	株式会社エムケーセラ	医療器械用高精度セラミック部品の高度化	
213	有限会社アース精工	超薄肉と一般肉厚の混在した成形技術の開発と試作用成形機の導入	
214	株式会社サンヨー	新構造・新工法による次世代複合機用高性能冷却ローラーユニットの試作開発	
215	有限会社オノガワ精機	NC加工における「段取り」及び「検査」工程の革新的改善による生産性の向上	
216	渋江精密工業株式会社	高精度測定器の導入により、成長分野向け製品の事業拡大を目指す。	Vol.4
217	サンエシステムズ株式会社	グローバルな環境規制に対応したハイブリッド化学物質管理システムの試作・開発	
218	有限会社竜東スチール	精密板金加工用CAD/CAMソフトおよびバリトリ装置の導入	
219	株式会社テクノマップ長野	レーザースキャナシステム導入で業務拡大と雇用の増進	
220	有限会社中山ステンレス	独自の溶接治具開発と最新溶接ロボットの導入で受注拡大を図る	
221	株式会社スター精機	複合加工機導入による高効率・高精度加工生産体制の構築	
222	株式会社アーキプラン	3次元建築モデル・BIMの導入による設計業務の効率化と品質向上	
223	ミサキ工業株式会社(採択時:有限会社ミサキ工業)	マウンターヘッド用基幹部品(フレームパイプ)の端面バリ取り装置の開発	
224	信越ハーネス株式会社	多品種少量短納期製品のリードタイム短縮とコストダウンへの取組	
225	株式会社ちくま建設工業	木造建物の完全倒壊防止または倒壊時間を延伸する新耐震補強工法の開発	
226	ナパック株式会社	粉末冶金における焼結ガス導入方法の省エネ型への変革	Vol.3
227	楠わいなりー株式会社	特殊タンクを利用した高品質ワインと発泡性ワインの安定的製造	
228	佐藤製作所	加工技術高度化による生産体制強化及び医療機器部品新規参入計画	
229	株式会社倉科鐵工所	鉄骨建築物の溶接技術の高度化による生産効率の革新的向上	Vol.2
230	株式会社レヂトン	柔軟性と高耐久性を両立した、研磨用砥石製造方法の開発	
231	中村漆器産業株式会社	漆器の商品開発力・顧客対応力強化による、新規需要開拓と事業拡大	
232	株式会社エフエス・リノベーションプランニング	そば処信州産地粉を使用した「からだに優しい」本格そば粉生パスタの開発・製造・販売	
233	株式会社加藤鯉店	信州サーモン及び信州大イワナのスモーク加工調理品の新規開発及び販売	
234	有限会社キショウ工業	ワイヤー放電加工機と研削盤の共用にてR150加工の精度向上	
235	株式会社宮坂ダイカスト	新規製品鋳造後の加工プロセス革新による加工能力・競争力アップ	
236	富士ケミカル株式会社	発泡プラスチックを用いた包装資材の製作用スライサー、カッターの導入	
237	株式会社トミック	最新3Dスキャナ導入による測定の省略化と高効率な金型加工作業の開発	
238	株式会社AOB慧央グループ	ロボット等自動機械導入による化粧品の革新的包装ライン構築	
239	株式会社信州ハム・サービス	食品製造ラインの生産実績が低コストでリアルタイムに可視化できるシステムの開発	
240	信越ビー・アイ・ビー株式会社	吹込み断熱工法に最新設備を導入し住宅の高断熱化事業を拡大する。	
241	オリオン精工株式会社	燃料電池用世界最高峰ナノX線CT装置開発のための設備投資	
242	有限会社山本精機	電磁鋼板の革新的な積層方法による高効率モーターコアの製造	
243	株式会社東和プラスチック	スマートフォン薄肉高精度嵌合ケースの試作・量産体制の確立	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
244	株式会社東陽	微細レーザー溶接による内視鏡用小型鉗子の高精度化及び高強度化	Vol.1
245	信州ハム株式会社	「無塩せき皮なしウインナー」の賞味期限を飛躍的に伸ばす革新的生産ラインの構築	Vol.3
246	大雪渓酒造株式会社	お米本来の香りと旨みを活かした『特別純米酒』の開発と事業化	Vol.3
247	株式会社マルヤマキャンパス	ニッチなニーズに応えて、高付加価値のカスタムメイドシートを開発し販売	Vol.3
248	有限会社ハラサクセス	スピンドル仕上げ工程生産性向上	
249	MGS	ソフトウェアによる効率化と測定技術による精度・品質・生産力強化事業	
250	株式会社テクノエンドウ	高性能小型切削加工機導入による新生産工程の構築と事業の拡張	
251	有限会社近藤鉄工	ボトルネックとなっている製函品機械加工工程の効率化による生産性向上	
252	株式会社AI精工	最新ワイヤ放電加工機導入による試作開発用部品の超高精度化および短納期化	
253	協和テクノ株式会社	鳥獣被害防止電気柵の稼働状態をインターネットで監視する新システム	
254	株式会社三立	板金部品のR面取りを用いた錆び防止技術の試作開発	
255	株式会社アンドー	CIM事業に向けた3次元微細地形モデルと設計サービスの構築	Vol.2
256	カザマエンジニアリング株式会社	高性能自動画像測定器導入による部品検査体制の構築	
257	中部日本電子株式会社	医療器具の高精度加工技術の確立による性能的優位性確保と世界市場拡大	
258	株式会社シュータル	小物専用ラインと管理システムの高度化により材料の即納体制、原価低減20%の実現	
259	有限会社吉沢製作所	異素材金属組合せローラー付きシャフトの軽量化試作開発	
260	株式会社タカノ	高性能プレスブレーキ導入による、通し曲げ精度加工技術の革新	Vol.2
261	株式会社サンユウ製作所	高精度画像寸法測定機導入による、精密加工部品の品質・生産性の向上および新たな検査体制の確立	
262	信越理研株式会社	半光沢ニッケルめっき量産自動ラインの確立	
263	株式会社ミールケア	耕作放棄地を再活用した地元農産物の商品開発と販売	
264	ブラテック工業株式会社	超小型コネクタ樹脂金型製造方法の改善、高度化により50%のコスト低減の構築	
265	株式会社イクシス	3次元スキャナーを活用して、立体造形試作のための3次元データを創生する事業	
266	飯山精器株式会社	医療機器部品の最新技術による生産体制の確立	Vol.1
267	マルコメ株式会社	味噌の品質（おいしさ）を向上し、他社と差別化を図る分析機器導入と実用化	
268	ウインテック株式会社	ベント式成形法に依る高効率ガス抜きシステムの構築	
269	株式会社くるまや	ブロッコリーが主役の携帯可能な彩り味付	
270	北信プラスチック事業協同組合 中野プラスチック工業株式会社 有限会社千曲合成	高難易度精密プラスチック成形品の短納期化対応と附帯サービス高度化による競争力強化	
271	信州打刃物工業協同組合 石田打刃物製作所 大義印鎌業 寺田福治郎鎌製作所	信州鎌のプレス刃型活用によるコスト削減及び品質向上	
272	株式会社白峰	高品質な黒染め及び無電解メッキ処理のための設備導入事業	
273	有限会社平林精機	旋削加工技術の高度化による精密油圧部品の生産体制確立	
274	上田エンジニアリング株式会社	高品質大型金型部品の加工体制構築のための設備導入事業	
275	有限会社プライムシステムズ	低クロックジッタの信号発生器の開発	
276	株式会社豊島屋	新たな製造技法を活用し、ふなくちの味わいを残した信州清酒の開発と製造の確立	
277	株式会社イメージリンク	世界初のフォーカスフリーで小型高画素数センサー搭載口腔内撮影医療カメラの開発	
278	株式会社共栄測量設計社	小型自走カメラを具備した地下配管計測システムの開発・実用化	
279	株式会社三星合成	成形プラスチック製品向けカラーペレットの色調評価設備の導入	
280	ミクロン精工株式会社	高機能SLD材を使用する金型部品の複合加工プロセスの最適化	
281	株式会社ダイヤ精機製作所	高速高精度スピンドルを搭載した振動切削微細穴加工装置の開発	Vol.3
282	株式会社小松製作所	産業用熱交換器の大型部品における新工法の開発による事業の拡大	Vol.1
283	株式会社東亜	客先が求める高効率な油圧式薪割機の試作開発と事業拡大	
284	株式会社ダイワ工業	3Dプリンターによりスルーホールを形成する加工技術の開発	
285	有限会社南木曾生コン工場	新型浄水設備を用いた、災害復興のための高強度コンクリートの安定供給を実現するプロセス改善	
286	株式会社Aizaki (採択時：株式会社相崎電機製作所)	コールドオイルミスト加工液の開発及び精密5軸加工への応用技術の確立	
287	有限会社小野製作所	航空部品の飛躍的な短納期化実現のためのソフトウェア導入	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
288	有限会社アサハラ	1材料から金型部品を複数個製造するマシニング加工技術の開発	
289	株式会社公害技術センター	24時間連続飛行可能な災害監視等に供する自律型飛翔ロボットの開発	
290	岡崎酒造株式会社	特定名称酒の高品質化と安定供給の実現及び新商品製造ラインの構築	
291	株式会社シーケイテック	難加工材インコネル・チタンの革新的切削・研削加工技術の開発	
292	株式会社協和精工	射出成形機用主軸ベアリング部品の新工法による試作開発	
293	株式会社杉浦歌吉商店	岡谷市名産品の高級食材桑の葉を使用した「桑の葉蕎麦」の開発・量産化	
294	株式会社森精機製作所	最新CNC複合旋盤導入による製造プロセス改善と生産力の強化	
295	有限会社小和田製作所	可搬消防ポンプ車の一貫製造体制構築による軽量、低コスト化	
296	チヨダエレクトリック株式会社	中小規模病院のニーズに応えるウォッシャーディスインフェクターの試作開発	
297	株式会社Digit Works	最新IT活用によるビジュアル工場管理システムの開発による売上・利益の拡大	
298	株式会社テクロック	姿勢誤差の少ない画期的なてこ式ダイヤルゲージの開発	
299	岡谷セイケン株式会社	自動車用電磁弁部品の加工時間短縮及び不良率低減による収益向上	
300	有限会社山岸紙器製作所	工程削減による新規業務部門確立、試作・量産部門のリードタイム短縮体制の構築	
301	加藤工業	射出成型による部品量産で液体燃料低炭素化器の製造費用2分の1低減	
302	株式会社デジタル・スパイス	低出生体重児の四肢動作記録・解析システムの製品化	
303	株式会社ソーデナガノ	金錫ロウ付き金属カバー開発による電子部品パッケージの技術革新	
304	株式会社新製作所	小スケール・サブミクロン加工プロセスの開発	
305	信濃ワイン株式会社	信州産醸造用ブドウによる日本ワイン高品質化のための製造プロセス革新	Vol.3
306	信州銘醸株式会社	氷温タンク増設による清酒の生産量増大と売上増加	
307	株式会社イズミテクノ	多種材料に於ける、耐熱クラックレスアルマイト皮膜を開発する	
308	株式会社シード・アドバンス	大型かつ屋外向け塗装製品の市場をリードするための高品質粉体塗装の開発	
309	有限会社百瀬家具製作所	保育・介護施設が求める安全ニーズを満たす特注家具の生産体制強化	
310	株式会社サーキットデザイン	登山者の位置情報を配信する画期的なサービスの開発及び提供	Vol. 1
311	ビジネスクリエーション株式会社	サービスエリアに特化したリラクゼーションサービスの展開事業	
312	有限会社旅館菊乃屋	神前・仏前挙式及び老舗旅館における披露宴のプロデュース事業	
313	株式会社JINRIKI	「けん引」式車いす補助装置JINRIKI」の改良及び周辺器具の開発	
314	株式会社フロンティア	二軸延伸ブロー成形したボトルを主材とする高耐圧複合容器の試作開発	Vol. 1
315	有限会社カワテ	連続加工プロセスの実現による外注工程の内製化と社内不良率の抑制	
316	株式会社信州蜂蜜本舗	はちみつ専門店が作る究極のソフトクリーム製造設備の導入	Vol.3
317	株式会社飯田コンサルタント	超音波フェイズドアレイ探傷法を活用した道路・橋の高度欠陥測定の実現	
318	株式会社アットランド	美術館・博物館向けクラウド型、多言語マルチメディアシステムの開発	
319	株式会社ツウウェイ	高度医療推進の確かな担い手！極小径穴加工技術の極限化を図る要素技術開発	
320	株式会社ナルコム	歯科医療機器の製品試作開発	
321	株式会社コウリョウ	生産性向上・品質保証高度化による新規受注獲得	
322	株式会社小野酒造店	微生物が持つ相互補完作用を生かした酒造を補助する為の設備導入	
323	有限会社日本光器製作所	自動車用ピニオンギヤの半自動寸法測定システムの開発	
324	有限会社東西金型工業	金型製造における高微細仕上げ加工の実現と生産プロセスの革新	
325	有限会社丸富自工	高機能塗装ブース導入による短納期の実現と塗装品質の向上	
326	みやま工業有限会社	企業連携で起こる流通ロスを低減。アルミダイカスト最速一貫生産ラインの構築	
327	民芸舎ガリヴァー木画	レーザー加工機と既存設備の併用による複合的な加工商品の開発	
328	有限会社タケイ工機製作所	加工の改善、高度化により油圧部品製造コスト40%ダウンの実現	
329	株式会社丸安精機製作所	設備と加工改善、高度化により世界最高水準の外装製品製造技術と価格競争力の確立	
330	株式会社イトウテック	水素バルブ装置部品の短納期・低コスト化実現のシステム開発	
331	小県精密株式会社	ダーツ初心者に向けた発音機能搭載パレルの新規開発事業計画	
332	キャッスルコンピューター株式会社	革新的な位置情報の品質保証アルゴリズムの開発と、実証実験のためのロボット制御ソフトウェア群の開発	
333	株式会社中島鐵工所	溶接ロボット導入による品質・生産・信用の向上と競争力の強化	
334	佐久産業株式会社	高利益製品を増産するための画像検査ラインの開発	Vol.3
335	株式会社TKエンタープライズ	菌床製造ライン構築によるキノコの省スペース高速栽培の全国展開	
336	平林産業株式会社	自社独自の瞬間凍結技術を活用した新規製品の開発及び設備導入	
337	シェルハメディカル株式会社	心疾患患者に使用する開胸器の製品化及び新素材を用いた次世代型開胸器の開発	
338	有限会社谷井精機製作所	セット受注拡大の為の最新型ワイヤー放電加工機の導入及び人材育成	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
339	大共化成工業有限会社	発泡ビーズを使用した寒冷地・軟地盤の土地造成時の下地材の試作品開発	
340	株式会社小野製作所	ジェットエンジン用治工具製作における新工法開発による高精度かつ短納期化の実現	
341	ヒットコンポジット株式会社	高精細な木製立体加工の生産性の向上及び製品実現化に向けた試作開発	
342	有限会社中村製作所	金属パイプ曲げ加工品を高精度・短納期・低コスト、かつ自社一貫生産する生産体制の構築。	
343	アスザックフーズ株式会社	真空凍結乾燥法による香り際立つ本格和風インスタント食品の開発	
344	株式会社青木製作所	油圧継手の高度加工の高精度・効率的実現	
345	北陽建設株式会社	高性能透水コンクリート用添加剤を活用した透水性モルタル吹付の開発	
346	城下工業株式会社	音響商品の顧客満足度の高い直販システムの構築と新型ICチップの開発	
347	富士ネオン株式会社	精度の高い樹脂及び、金属立体文字サインの開発	
348	有限会社サンテック	プレート専用フライス盤開発導入による高効率工場の確立	
349	有限会社宮城商店	健康的で保存性が高く常温流通可能な精進料理の開発	Vol.2
350	株式会社TOSCOM	市場ニーズに対応した革新的健康サポーターの種類拡充	
351	株式会社杏花印刷	オリジナルグッズの受注・製作を通じた印刷加工販促物創出プロジェクト	
352	有限会社テクノアイ信州	精密機器部品（金属・樹脂）におけるDLCによる表面処理技術の試作開発。	
353	株式会社エーシーオー	タグチメソッドを用いた“BGA”製造条件の整備と生産体制の構築	
354	NT&I 株式会社	光学用の透明ノンハロゲン難燃剤の開発	
355	株式会社コード・アール	調剤業務における高精度監査支援システムの試作	
356	日進精機株式会社	微細リフレックス・リフレクター（微細RR）の試作開発	
357	シナノカメラ工業株式会社	実装工程におけるスループットの改善に向けた評価技術の確立	Vol.4
358	株式会社山崎屋木工製作所	高断熱性木製サッシのIT利活用した情報提供システム開発	Vol.3
359	株式会社高橋助作酒造店	果実の瑞々しい美味しさが感じられる、高品質なりキュールの創造	

平成27年度補正分

(受付順。事業者名は発刊時、事業計画名は平成27年度採択時の申請内容を記載)
(Vol.1～4は当該事業者が掲載されている成果事例集の巻を示します。本会ホームページでもご覧いただけます)

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
1	株式会社荻原製作所	家庭用燃料電池システム向け循環水監視用 非接触式水流センサの開発と事業化	Vol.2
2	信越明星株式会社	連続殺菌装置導入による焼きそばの生産効率の改善と海外を含む販路拡大	Vol.1
3	日動精工株式会社	医療機器の部品製造における高精度測定・短納期加工の実現	
4	ナパック株式会社	工作機械の高精度化に寄与する粉末冶金法による制御部品の製造方法の確立	Vol.3
5	株式会社西軽精機	難削材での医療用複合超精密部品の一体加工体制の確立	Vol.3
6	サンニクス株式会社	樹脂製により軽量・低コスト・環境配慮を実現した熱交換器の事業化	
7	株式会社ユタカ	流量計本体の無人加工化による高精度化と国際コスト競争力強化	
8	有限会社ハイメック	高輝度高精細な空中光学結像装置の開発試作と販路拡大	
9	有限会社R&K JAPAN	高電圧直流給電用アーク遮断モジュール内蔵コネクタの試作開発	
10	有限会社穂川樹脂製作所	検査工程の高度化による樹脂成形部品の生産性・品質向上、短納期化の実現	
11	マテリス株式会社	低糖質食品の量産化技術向上及び海外への販売事業拡大計画	
12	株式会社中野屋ステンレス	曲げ・切削工程の生産性向上とブランク・曲げ工程のIoT化の実現	Vol.4
13	株式会社くるまや	惣菜的漬物の漬床回転攪拌法による製造期間4割短縮の生産性向上	
14	GAST JAPAN株式会社	紫外線励起蛍光分析方式による土壌可給態窒素計測の装置開発	Vol.2
15	株式会社ミハマ	ゴム・樹脂ブーツ兼用多機能クランプの開発及び高トルク精密塑性加工設備の開発	
16	有限会社大西製粉	信州産「粗挽き」そば粉の量産体制構築	Vol.1
17	有限会社田中紙工	ただの梱包用の段ボールを「魅せる什器」に。観光・農業・特産品PR事業への新展開	
18	株式会社千曲ライト	低圧射出成形機を用いたインサート成形における封止技術の確立	
19	岡谷熱処理工業株式会社	最新鋭高性能真空焼戻し炉とIoT導入による熱処理生産革新の実現	Vol.1
20	株式会社西山精密板金	板金複合加工機導入による高機能板金生産体制の構築	
21	有限会社村田商店	信州産原材料のフリーズドライ納豆を使った新商品の開発	
22	株式会社スカイワークス	低振動・最軽量化を実現する革新的ドローン用エンジンの開発	
23	ミクロン精工株式会社	次世代半導体モールド金型製造の革新的加工プロセスの構築	
24	株式会社ナガノ建築サービス	屋内熱を損失させない次世代換気システムの開発と事業化	
25	飯山精器株式会社	医療機器産業に対応した精密洗浄技術の開発	Vol.1
26	株式会社タク技研	最新鋭レーザー微細加工機の導入による短納期化と超精密部品の開発	Vol.1
27	株式会社イツミ	高効率生産設備の導入による原価低減を活用したIoT型ワイシャツプレスの開発	Vol.1
28	有限会社吉原製作所	真鍮製六角材複雑形状加工の高度化を実現する革新的量産加工技術の開発	
29	日邦光學株式会社	高精度画像寸法測定機導入による、高精度検査体制の確立及び、新たな業界への新規参入	
30	株式会社住まい工房	子供が描いた手書きの間取りで家が建つ「バーチャルモデルハウスサービス」の開発	
31	飯田精密株式会社	IoTを用いた設備投資による、革新的な生産プロセスの改善	
32	システムクラフト	クラウドと各種端末を利用した地域密着サービス事業の開発と展開	
33	株式会社ワカ製作所	日本初、次世代0.8mm(DC～145GHz)ミリ波コネクタの開発	Vol.4
34	コトヒラ工業株式会社	風の流れの可視化による業務用集塵装置の性能向上と開発期間短縮	Vol.2
35	平和産業株式会社	航空部品用超高速切削加工機の複数台運用で稼働率向上に資するIoT 技術導入	
36	伴野酒造株式会社	東南アジアの富裕層向けに輸出する日本酒の生産効率の改善と日本らしさの追求	
37	内堀醸造株式会社	和食普及に貢献する高品質な米酢製造のための技術開発	
38	株式会社エイワン・システム	業界初、抗菌・抗ウイルス性能を有する床塗料と施工技術の提供	
39	株式会社スター精機	車載重要保安部品の高品質・高効率生産システムの構築	
40	みやま工業有限会社	自社独自の鋳造技術を活用した画期的介護用製品の試作開発	
41	黒澤酒造株式会社	甘酒・甘酒リキュールの歩留・品質向上と地域農産物を活用した新製品開発	
42	有限会社福田屋商店	フルーツ酵素で健康になるジェラートの開発・製造・販売	
43	成和電子株式会社	高性能搭載機による高密度実装技術の確立	
44	ハヶ根工業株式会社	超硬製ブロックゲージの開発及び超高精度加工技術の高度化実現	
45	株式会社山岸製作所	複雑形状切削工具の製作と5軸加工機導入による加工技術の高度化	Vol.1
46	株式会社信州セラミックス	ウレタンシートにセラミック粒子を強固に固定する為の試作開発	
47	株式会社光和	最新鋭微細精密加工機導入による金型の超精密化と磨きレスの実現	
48	織処丸重	最新IT技術活用によるユーザーが求める短納期多品種少量生産工程の確立と品質確保	
49	三光工業有限会社	複合機導入による工程統合で生産性を向上させ、コスト競争力を高める	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
50	多摩川マイクロテップ株式会社	航空機搭載センサ・モータ用ケース加工技術の確立と生産性向上事業	
51	株式会社サワイ	薄肉中空ローターシャフト切削加工の高精度化と高生産性体制の確立	Vol.1
52	株式会社ヨシカズ	航空宇宙精密切削加工品の工期短縮による納期遵守及びコスト低減の推進	
53	株式会社テーケー	シャフトの外径多段同時加工用最新センタレス研削盤ラインの導入	
54	赤田工業株式会社	最新レーザー加工による、真空容器の溶接前部品の加工時間の短縮	
55	株式会社パニラ・アウローラ	パニラの品質保持と管理力を提供する新包装技術による革新的サービス	
56	株式会社テムソン	最先端5軸マシニング加工機導入による難加工及び生産プロセスの改善	
57	株式会社亀山	被災地向けの瓦破碎用4t車移動式リサイクルプラントの開発	
58	有限会社神津電子製作所	生産性・品質向上を実現する新規設備導入及び専用治工具開発	
59	株式会社高翔プランニング	狭い敷地での雪害対策用融雪機の開発と普及	
60	杉本印刷株式会社	優位性ある製品の大量生産体制確立による市場拡大と販路開拓事業	
61	有限会社田村製作所	測定困難な精密プレス部品の測定方法改善による精度保証と競争力の強化	Vol.4
62	株式会社ワークスベル	タイムリーな新製品開発と市場投入による国内外市場での売上拡大	
63	有限会社ヤマイチ小椋クロコ工芸所	真空吸着方式クロコ導入による付加価値 南木曾ろくろ細工の開発と生産効率の向上	Vol.4
64	株式会社デリカ	トラクタ連結機構主要工程の接合技術革新で、生産プロセスを改善	Vol.2
65	株式会社イングスシナノ	次世代ディスプレイを実現する最先端実装の生産性向上	
66	株式会社ナノ・グレインズ	医療機器評価システムの開発	
67	株式会社ふくやま	国産もち米最中皮の生産性と品質を強化して氷菓業界へ本格参入	
68	株式会社東陽	安価なCFRP用面取り工具の開発	Vol.1
69	株式会社ヒロタカ	革新的デザインにより消費者に新たな体験をもたらす高品質ジャムの製造	
70	株式会社ちの技研	IoT市場向け超微細加工及び低コスト化プリント配線板の製造	
71	有限会社野中製作所	航空宇宙部品製造の最新加工機・測定機・生産管理システム導入による革新的な生産性向上	
72	有限会社カナメヤ製菓	姫リング(アルプス乙女)を丸ごと1個用いた大福の試作開発	
73	高橋産業株式会社	額縁製作の能率向上、製品の高付加価値化と新製品の開発	
74	株式会社エーシーオー	多品種小ロットの基板実装ラインで大幅な生産性向上に挑戦する	
75	有限会社大原工業	医療用ポンプ製造用部品の設備導入とIoT技術による高度生産性向上事業	
76	有限会社いろは堂	安全で美味しい「急速冷凍おやき」製造による工程高度化と販路拡大	
77	有限会社茅野工業	多品種小ロットプレス部品の高精度化による熟練技能伝承と原価低減	
78	株式会社共栄測量設計社	地下空洞の革新的測量技術の実用化	
79	コムパックシステム株式会社	多様化・高度化する顧客ニーズの実現と生産性向上を両立する生産管理システムの導入	Vol.4
80	株式会社ヤマトインテック	ターボチャージャー用ベアリングハウジングの高効率生産体制の確立	
81	株式会社西飯田酒造店	花酵母を使用した季節及びブレンド商品開発と増産のための冷却装置の拡充	
82	株式会社レデトン	切れ味と耐久性をアップさせる可変密度型切断砥石の開発	
83	株式会社理学	ITO代替となる「世界最高品質の導電性ポリマーインク」の開発	
84	オリオン機械株式会社	輸出拡大に向けた高性能粉体コーティングロボットの設備導入	Vol.2
85	有限会社小林精螺製作所	複合加工及び加工径拡大のため旋盤複合加工機を導入し顧客の要求に応え、事業拡大を図る	Vol.4
86	株式会社ダイワ工業	LEDパッケージ向け一括銅インレイ基板の開発	
87	小林利製作所	旋盤加工および内径ホーニング工程の研磨技術向上による、次世代ブレーキシステムへの新展開	
88	サンライズD・L	型取りなし・金属なし・アレルギーなしの吸着型義歯への挑戦	
89	三協工芸株式会社	最新の焼付塗装用局所排気装置(ブース)と熱風発生装置(バーナー)の導入・実用化	
90	吉田工業株式会社	電気自動車向けプラネタリシャフト生産の高精度化事業	Vol.1
91	有限会社大塚精工	超高精度と短納期を両立！最新複合加工機導入による高生産性プロセスの開発	
92	丸一ゴム工業株式会社	高精度の大型コンプレッション内製化に依るゴム製造社内一貫生産の確立	
93	有限会社セルバ	高精度の膜厚を標準化させる新たな電解めっき工法の確立	
94	有限会社プライムシステムズ	小型・多チャンネル振動測定検出器の試作開発	
95	有限会社コイデ彫刻	刃物研磨機能付き数値制御加工機による精密彫刻技法の確立	
96	有限会社オリイ	保育・介護の現場に適した、安全な縁加工を施した木製家具の製作販売事業	
97	株式会社ビオカ	市場ニーズに合わせた有機小袋タイプドレッシングの開発	
98	株式会社今井酒造店	高性能ビン詰機導入による甘酒を柱とした小ビン製品の生産向上と市場開拓	Vol.3

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
99	有限会社パティスリーヒラノ	北信濃の新ご当地みやげの開発と自動包餡機導入による洋菓子製造の効率化	
100	株式会社竹村製作所	62年の殻を破った鋳物部品加工の無人化・見える化による高度生産体制実現	Vol.4
101	株式会社フル里農産加工	高品質なヘーゼルナッツ加工製品の開発で自社のブランド力強化	
102	株式会社三九	即席味噌汁袋詰め工程の自動化ライン構築	
103	株式会社マスターマインド	高速フードプリンタを用いた新規印刷サービス	Vol.1
104	有限会社セルコトロン	需要急増の連結コイルの多角化及び量産化	
105	株式会社オグラテクニカ	大型金属部品加工への対応力強化と自社ブランド製品のラインアップ拡充	
106	株式会社サンクゼール	真空釜と高速キャッパーを用いた高付加価値ジャムの製造及び生産性向上	
107	大和電機工業株式会社	最高の実装信頼性を有するピンホールレスNi/Auめっきの開発	
108	株式会社ダイヤ精機製作所	燃料電池車の水素バルブ部品の生産合理化	Vol.3
109	森川産業株式会社	鋳鉄鋳物製品の機械加工技術の開発	
110	野村ユニソン株式会社	3次元ツール活用による構想設計プロセスの構築	Vol.4
111	株式会社一柳	高剛性・高速マシニングによる量産金型三次元一体加工の開発	
112	株式会社アールエフ	個人開業医向け歯科用X線室一体型CTの試作計画	
113	東洋技研株式会社	欧州主流方式端子台と自動組立装置の開発に向けての設備導入	
114	有限会社フリースケール	ユーチューブ動画サイトを利用した、3Dデータ計測サービスの新戦略	
115	株式会社仙醸	米麴を原料とする新しい高濃縮甘味調味料「甘麴」の製造販売	
116	信州ハム株式会社	無添加ハム歩留まりを有添加ハム並みに！革新的結着技術開発のための設備投資	Vol.3
117	株式会社軽井沢IT経営センター	高齢者向け地域におけるIoTを活用した見守りサービス	
118	宮坂醸造株式会社	清酒製品のユニバーサルデザイン化促進に向けたラベラーの導入	Vol.2
119	株式会社日研コンサル	いつでも・どこでも測量できる【土地測り隊】という新サービスの開発	
120	株式会社宮坂精機(探採時:宮坂精機)	最新NC機の導入と技術の改善、高度化により原価低減80%と日程を1/10に短縮する	
121	信越ハーネス株式会社	社内ネットワークシステムを積極活用した生産プロセスの改善	
122	有限会社米山金型製作所	医療・燃料電池向け微細金型部品の低コスト化と新たな微細ニーズへの挑戦	
123	株式会社エフプラス	プラスチック成形工場の生産現場のIoT化により生産性向上20%を達成	
124	株式会社マイダス	『高品位・低コスト』を効率的かつコスト低減を実現する開発工程の確立	
125	株式会社今井商工	インデックス付両頭フライス機導入による、細長形状プレート加工能力の拡大	
126	株式会社高松製作所	4軸マシニングセンター導入による生産プロセスの抜本的改善と新分野進出	
127	有限会社黒栄工業	難加工材を微細穴加工する新工法の開発	
128	大雪渓酒造株式会社	高品質・高付加価値商品の安定した生産システムの構築	Vol.3
129	有限会社北信樹脂工業	射出成形品の計測レベル向上による品質向上と作業効率化	
130	企業組合山人	バイオマス資源を活用した人工薪の製造と販売	
131	有限会社円研工業	内径テーパ角度の測定に関する革新的な計測器の開発	
132	ハード技研工業株式会社	薄型金属コイル材の縦型水性ナノコーティング装置の開発	
133	株式会社ワイエス	研磨工程合理化による加工プロセスの全体最適化及び製品高精度化	
134	株式会社西澤電機計器製作所	医療用照明機器事業の製品ラインナップ拡充と非臨床・現場評価	Vol.1
135	株式会社井賀屋酒造場 (探採時:株式会社井賀屋酒造店)	革新的商品「五割麴」の販路拡大と、増産の為に設備投資計画	
136	マルコメ株式会社	日本の長寿を伝承する「味噌・糀」の醸造技術をいかした新規機能性食品の素材開発	
137	北安醸造株式会社	地下水を使用した「酒母」による高付加価値清酒の開発と商品化	
138	株式会社オート	精密測定器を導入して、品質の向上と納期短縮による受注の拡大	
139	有限会社肉の鈴木屋	多品種・大量生産ライン構築による遠山郷ジビエのブランド競争力強化	
140	株式会社信越工機	ウェアラブルPCとクラウドを利用したNEW機械保守サービス開発実証事業	
141	有限会社岩城工業	簡単組立、作業性抜群の中重量対応の汎用組立作業棚の開発	
142	インフィニティソリューションズ株式会社	ラピッドプロトタイピングのための2台のロボット同時制御技術の開発	
143	化興株式会社	大型めっき治具表面処理装置の導入による絶縁用コーティング生産性向上	
144	有限会社宮島精工	長尺アルミ部品の高精度加工技術と高効率生産体制の確立	
145	有限会社パルテック	移動式ペレット製造器導入による家畜用高栄養飼料の高付加価値化	
146	株式会社ムカイ(探採時:有限会社向井工業)	高品質・短納期・低コスト化の実現に向けてハイブリッドカシメ機導入	
147	有限会社カサイツール	難削材加工用総型エンドミル製造の効率化及び高精度化の実現	
148	株式会社大地の卵	平飼放牧鶏の環境・品質向上と有機JAS認証卵の試作開発	
149	シスマック技研有限会社	大型部品加工内製化による生産設備の製造体制構築と海外市場拡販	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
150	株式会社ハイライト	カーエレクトロニクスを支える貴金属めっき処理技術の導入と開発	
151	イデアライフケア株式会社	車いすから移乗がしやすい簡易移乗器の開発	
152	株式会社丸宝計器	医療現場における監視カメラによる画像解析ソリューションのシステム開発	
153	有限会社エイテック	活性ガスと多種類ガスを混合する超小型ナノバブル発生装置の開発	
154	有限会社福沢製作所	産業用機械部品等の微細加工を実現する高精度細加工機の導入	
155	株式会社丸眞製作所	高精度な素素濃度制御装置による革新的表面改質技術開発と事業拡大	
156	有限会社高木製菓	信州新特産カシスのブランド確立による優れた健康機能と美味しさの提供	
157	白ほたる豆腐店	ブランドの普及・拡大を目指すための“豆腐作りの全体最適化”	
158	有限会社電算オフィスオートメーション	スマホで簡単に管理できる革新的な「田んぼ見守りシステム」の開発	
159	松澤印刷株式会社	デジタル印刷による「和」の文化を用いた上製本の開発	
160	長野オートメーション株式会社	超精密平面・成形研削盤導入による自動化装置生産プロセスの構築	
161	株式会社ニューマインド	コンベア型ラインヘッドを搭載したプリンターヘッド監視システム(生産プロセス改善)	
162	有限会社吉澤物産(採択時:有限会社吉澤物産)	市場ニーズに合わせた業界初の革新的なマルチフレキシブル生産体制の確立	
163	株式会社伊藤測量設計	革新的測量技術TLSの導入による業務の拡大と競争力強化	
164	株式会社みすず総合コンサルタント	測量図作成の生産性向上のためのドローンを使った測量システムの開発	
165	株式会社サーキットデザイン	アンテナ内蔵型動物首輪発信器の試作開発	Vol.1
166	株式会社協進製版	デジタル比較検査ツールを用いた新たな校正サービスの開発	
167	多摩川テクノクリエイション株式会社	最新技術による開生産性・速度向上と技術コミュニケーションの確立	
168	有限会社宮城商店	老舗漬物メーカーが独自システム確立により介護医療現場へ参入	Vol.2
169	信州バイオフィーム有限会社	ブランド力強化でTPP対策と顧客満足獲得する為の、環境制御装置の設置	
170	Anglo Japanese Brewing Company 合同会社	地域ブランド「野沢温泉物語」クラフトビールの国内外への生産・販売力の強化	
171	株式会社キャストワン (採択時:サンタ軽金属株式会社)	海外・国内展開に必須な低コスト高品質生産プロセスの強化事業	
172	株式会社ヒートテクニカル	医療機器部品の高精細プラスチック成型生産プロセスの改善による技術力向上・競争力強化	
173	NiKKi Fron株式会社	最新設備のIoT化による半導体製造装置PTFE部品の高生産ライン構築	Vol.2
174	株式会社ナフィアス	ナノファイバー不織布の高機能成膜加工技術の開発	
175	松代金属株式会社	IoTと曲げ加工ノウハウを融合させたスマートファクトリーの実現	
176	日本ミクロン株式会社	高耐熱材料を含むプリント配線基板積層工程の生産システム構築	
177	使えるねっと株式会社	IoT活用で価格1/10を実現するホームセキュリティサービスの事業化	
178	株式会社NEXAS	航空宇宙関連顧客のニーズに対応 最新鋭5軸制御マシニングセンター導入	Vol.1
179	パワフル健康食品株式会社	販路拡大に伴う乳酸菌発酵物の生産効率を上げる機械設備の導入	
180	JCマイクロ株式会社	低コスト・生産性向上を実現する基板検査治具の新工法の開発	
181	株式会社匠電舎	PLC(シーケンサ)ソフト変換機能を有する次世代型コントローラの開発	
182	株式会社信陽	長尺物を自重でたわませ簡単固定!新発想治具開発と設備投資による生産性向上	
183	イシダ事務機株式会社	国内初、自然エネルギーを利用した防災用IoT電源供給システムの開発	
184	有限会社紅葉軒	「旬」を味わう「内藤とうがらし」と「伝統野菜」の「旨辛味噌」新商品開発	
185	株式会社ヒューブレイン	世界初の空気浮上式の次世代型超微小部品パーツフィーダーの開発	
186	株式会社柴田合成	放電加工機・三次元測定機のIoT管理システムによる生産性向上	
187	ベストプラ株式会社	プラパレット再生パレット化の発泡抑制高効率製造プロセスの実現	
188	株式会社カナエ	高速デジタルラベル印刷機及びレーザーカッターの導入による高度生産性向上	
189	株式会社マルトシ	「郷土の伝統を活かした機能性食品の商品開発」による地方の小売業成長モデルの確立	
190	株式会社サンジェム	サブギガヘルツ帯域のチップ部品向けインダクタンス標準器の試作開発	
191	エスティエル株式会社	高付加価値のリフレックスサイトの開発	
192	日本濾過器株式会社	ナノファイバー製造技術を応用した革新的オイルフィルターの開発	
193	株式会社ぶらんつ	新製法「30秒で酵素たっぷりスムージー」の生産体制の構築	
194	太陽工業株式会社	高精度・低コストで工程内保証を実現する自動車用金型製作システム	
195	株式会社中善酒造店	海外市場にチャレンジする味と香りが飛び抜けた個性派純米酒の開発	
196	ガイア・エヌピー株式会社	2種類の特許技術を組合わせた入浴用化粧品2種とその同時利用による高付加価値入浴剤	
197	株式会社丸世酒造店	進化系純米酒による日本酒市場の活性化及び長期的な販路の拡大	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
198	株式会社ダイエー測量設計	地上型 3 次元レーザスキャナを用いた高精度な 3 次元データの提供	
199	株式会社サイベックコーポレーション	超精密金型プレート向け高効率研削と超平面研削技術の確立	Vol.2
200	有限会社小池精工	難塑性材深絞り精密プレス加工の面精度面粗度向上に関する技術開発	
201	株式会社浜島精機	航空宇宙部品対応での設備の最適小型化による、生産性向上とコストダウン対応	Vol.1
202	株式会社マイクロジェット	研究開発用 3D プリンターを活用した特殊材料による 3D 構造物の試作製造	
203	多摩川精機株式会社	創薬研究用および診断薬用の機能性ビーズの開発と量産化	

平成28年度補正分

(受付順。事業者名は発刊時、事業計画名は平成28年度採択時の申請内容を記載)
(Vol.1～4は当該事業者が掲載されている成果事例集の巻を示します。本会ホームページでもご覧いただけます)

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
1	株式会社ドリーム	カチオン電着塗装(鉛・錫フリー)ラインの構築	
2	株式会社オージンドクト	最新の多目的形鋼加工機の導入による、生産性の向上と生産プロセスの革新による競争力強化と市場拡大	
3	アスク工業株式会社	樹脂加工に関する自社一貫生産体制の確立による事業複合化の取組み	
4	デイリーフーズ株式会社	圧力技術を活用した生食感で風味保持可能な果実・野菜食品の開発	Vol.4
5	小県精密株式会社	チタン・SUS材の加工技術高度化による超高精度放電加工及び生産性向上の実現	
6	株式会社西軽精機	IoTによる難削材加工フレキシブル小ロット生産体制の確立	Vol.3
7	有限会社丸山精工	全自動洗浄機を導入活用し、環境改善・高品質化・受注拡大の実現	
8	株式会社エーアイテック	IoTによる故障予知と部品内製化による稼働信頼性強化	Vol.2
9	株式会社ちさと東	賞味期限を2倍にし生産量を1.5倍にする煮卵生産システムの開発	
10	ヤマカ精工株式会社	こだわりの生産方法による信州伝統野菜の今までにない新商品開発	
11	ナパック株式会社	環境車輛用部品の粉末冶金工法によるIoTとロボット活用システム構築と確立	Vol.3
12	信越明星株式会社	冷水装置(エコキュート)の導入とIoTによる、品質の安定と省エネ対策	Vol.1
13	株式会社ミナミサワ	水栓機器補修用製品のオーダーメイド・短納期供給サービスの事業開発	
14	北村機電株式会社	多品種・少量生産変圧器の高効率生産システムの構築	
15	シェルハメディカル株式会社	医療用インプラントの表面処理技術の確立	
16	株式会社ミクロ発條	当社独自ばね成形工程への搬出装置導入による自動化	Vol.1
17	大永工業株式会社	AIをフル活用したIoTネットワークとファイバーレーザーパンチ自動化システムの構築	
18	山本食品株式会社	世界初「十割乾そば」専用工場によるグルテンフリー市場の開拓	
19	株式会社仙醸	上槽工程の高度化による、世界に通用する高品質スパークリング日本酒の開発	
20	株式会社日東ボタン	美麗かつ繊細な模様が内層に一体形成される新たな服飾ボタンの開発及び実用化	
21	楯木工製作所	日本遺産「木曾路」の伝統技術を未来に繋げ世界に発信する	
22	多摩川精機株式会社	IoTを活用した民間航空機用装備品の検査工程の自動化	
23	有限会社中山技研	三次元測定機導入によるトータル品質向上と加工ノウハウ蓄積体制の確立	
24	よしだ精工	新型マシニングセンター導入による高精度加工および深穴加工技術の確立	
25	株式会社エスケー・シナノ	自動運転技術搭載車の操作性高度化に資する部品の革新的量産加工技術の開発	
26	コトヒラ工業株式会社	産業用大型機械装置の設計製造手法革新による品質向上と製作期間短縮	Vol.2
27	サカイ技研	円筒研磨加工の繰り返し加工精度向上による嵌合部品の品質安定化の取組	
28	アスリートFA株式会社	世界初φ30μmはんだボール搭載技術の開発	Vol.4
29	株式会社サイベックコーポレーション	高機能画像処理システムによる多品種対応型外観検査装置の開発	Vol.2
30	株式会社小林コンサルタント	無人航空機搭載型3Dレーザー導入による高度3次元計測技術の構築	
31	株式会社坂井化工	耐摩耗性・耐クリープ特性に優れた摺動部材の量産体制構築	
32	株式会社ミクロン精工	成長産業向け段付き形状研削加工シャフトの量産体制構築	
33	株式会社山岸製作所	防災車両に搭載される特殊エンジン部品の生産体制構築	Vol.1
34	市村工業株式会社	板金加工の品質向上用窒素ガス発生装置の導入	
35	株式会社ヨシカズ	航空機及びロボット向け切削部品の空間測定計測システムの構築	
36	株式会社遠藤酒造場	香り高いフルーティな純米吟醸酒を開発して海外市場にチャレンジ	
37	有限会社睦坪製作所	医療機器部品に参入する加工・測定精度の向上と生産効率の最大化	
38	有限会社R&KJAPAN	データセンタ等におけるHVDC給電用接続器の開発	
39	有限会社末岡製本所	長野県初の最新型Vカットマシン導入による革新的製造プロセス開発と事業拡大	
40	株式会社セルコ	「丸線による圧縮成型高密度コイル」の製品化とHV用モーターへの応用	
41	有限会社田中工業	IT等を活用したダクト製作効率化による新規提案型清掃サービス	
42	株式会社小林製作所	ロボットによる自動化とIoTの活用による生産プロセスの革新	
43	豊田化工株式会社	厚肉高精度非球面プラスチックレンズの成形条件確立と高歩留り全自動量産ラインの構築	
44	ゴコー電工株式会社	特殊モーター製造における立体造形技術による大幅な開発期間の短縮	
45	有限会社トップギヤー	専用加工機要らず! マシニングセンタによる殊形状歯車の多品種少量生産体制の確立	
46	高島産業株式会社	精密加工技術の革新による医療機器の製品化	Vol.3
47	有限会社上野製作所	長尺製品の高品質化と生産性向上による差別化と競争優位の実現	
48	株式会社中野屋ステンレス	革新的な酸化皮膜除去手法の確立と生産性向上による差別化の実現	Vol.4

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
49	有限会社カワテ	海外市場向け大型製品の自動加工・生産革新による参入障壁の構築	
50	昭和樹脂工業株式会社	ワンステップストレッチブローによるPP樹脂製透明容器の製造	Vol.4
51	有限会社ソリッド工業	高品質大型部品の加工体制構築のための設備導入事業	
52	株式会社アルカディア	高精度溶接技術の開発と生産体制の刷新による新規医療用機器受注獲得	
53	五一精工株式会社	アルミ材部品の高能率・高精度加工開発と生産能力15%向上	
54	株式会社エスコ	AIを利用した農産物安全性試験圃場の高度化事業	
55	有限会社山崎塗装工業	自動塗装システム導入による高品質塗装品の量産体制構築	
56	有限会社ボディーオート桜井	最先端スポット溶接機導入による「数字で見える溶接技術」のサービス提供	
57	株式会社プロダクト	木目にこだわった高級キッチン部材で、国内外のキッチンを華やかに演出する。	
58	株式会社伸和精工	リチウムイオン二次電池用部品の複合一体化を可能にする超精密板鍛造プレス金型の製作	
59	信州吉野電機株式会社	射出成形ユニットの複合機能化による炭素繊維強化プラスチックの多色成形低コスト化	
60	株式会社みすずコーポレーション	味覚センサーを活用した味の数値化技術による商品開発期間短縮	Vol.2
61	株式会社スキノスNAGANO (採択時：エイチ・シーテクニカル)	信州発、多用途ウェアラブル発汗センサモジュールの開発	
62	株式会社サンジュニア	自然調和型無廃熱太陽エネルギー高効率利用システムの開発	
63	有限会社山本精機	自動運転技術に不可欠な車載カメラ用フィルムの特種テープ加工の確立	
64	藤屋わさび農園有限会社	業界初、安曇野わさびの鮮度保持凍結を実現する事業	
65	ファーマックメディカル株式会社	特殊ネジ加工技術の確立による日本人向け膝関節治療用医療機器の開発	
66	吉田工業株式会社	電気自動車向け複雑立体形状鋳造部品高品質評価体制確立	Vol.1
67	杉本印刷株式会社	新たな市場参入による販路開拓のための革新的生産プロセスの改善	
68	クリーニング工房木下	不可能と言われていたウールの背広の水洗いを可能に。	
69	村山人形店	オーダーメイドお雛様受注システムの開発と導入	
70	藤澤醸造株式会社	伝統発酵食品の製造高度化事業	
71	株式会社ケイテック	ステアリング部品の高精度化・短納期化に対応した金型設計・製作工程の一部自動化による大幅改善	
72	有限会社酢屋亀本店	有望商品の業務用パックの試作開発及び販路拡大のための工程機械化	
73	株式会社タカノ	金属3Dプリンター導入による血液滴下針の加工技術革新	Vol.2
74	株式会社ケンシン工作	建設機械部品の精密加工技術の拡充と事業拡大	
75	株式会社ウッドテック秋富	良質の木製内装品を効率生産、子育て教育施設に販路を広げ少子化に歯止め	
76	株式会社小林製作所	最新生産管理パッケージ導入と業務プロセス改善による生産性向上と受注拡大	
77	株式会社新井製作所	次世代自動車向け高機能性発泡スチロール対応金型製造技術の確立	
78	マルコメ株式会社	味噌製造におけるIoT監視・制御とAIエキスパートシステムの構築	
79	株式会社ハルディン	長野農場での接木ロボットの導入によるリレー生産体制の構築	Vol.4
80	株式会社マルダイフーズ	新製法「シート状ドライフルーツ」の製造プロセスの確立による販路拡大	
81	株式会社シリコンテクノロジ	既存工程を生かした高品位ゲルマニウムの開発	
82	株式会社北澤電機製作所	手仕上げ加工削減への挑戦と要求を上回る品質確保で競争力とブランド力向上を図る	
83	株式会社キザキ	新規性の高い新製品の開発及び生産性・品質向上のための機械化	Vol.2
84	三協工芸株式会社	最新の焼付塗装用局所排気装置（ブース）の導入とアルカリ電解水適用による品質向上・コスト削減の実現	
85	株式会社インターリンク	輸入車に特化した生涯顧客獲得のための新サービスの提供と修理技術の高度化	
86	有限会社小笠原商店	異常気象に備えた新鋭寒天生産設備の導入による品質歩留り向上と商品の多品種化	
87	コスモス工業株式会社	多品種・少ロット・高機能段ボール箱の高効率生産体制の構築	
88	太陽工業株式会社	高精度・恒温環境の高度化による鍛造金型加工プロセスの構築	
89	株式会社創エンジニアリング	成形条件と成形品測定データの傾向分析に基づく試作回数削減コンサルティングサービス	
90	上田プラスチック株式会社	自動車部品の先駆的新素材による製品開発と革新的な量産工程の構築	
91	有限会社元島塗装所	自動塗装機導入によるエアバッグ塗装の量産体制確立	
92	有限会社はなのみ	新規性があり高付加価値な新商品の試作開発及び設備導入	
93	株式会社木曽アルテック社	高周波接着機導入による曲げわっぱ生産体制の高効率・低コスト化の確立	
94	有限会社プライムシステムズ	高感度・汎用微小信号検出装置の試作	
95	株式会社コソブ精機工業舎	治具加工技術を活用した生産向上のためのネジ製品製造方式の開発	
96	有限会社堀内精機	歯科治療用インプラントの新規開発及び生産提供	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
97	有限会社永井精機	小型ギヤ加工の高度化による部品加工・組み立て一貫体制の確立	
98	中信特殊鋼株式会社	複雑加工の内製化と納期管理システム改善による新営業体制の構築	
99	小布施ワイナリー株式会社	逆転の発想！フェノール系化合物を制御した新ワイン商品の開発と品質の安定化	
100	NiKKiFron株式会社	高精度画像処理、加工技術の最適化による自動車用摺動部品の工法確立	Vol.2
101	株式会社ミヤコー	レーザー加工の内製化による生産性向上とIoT化による差別化の実現	
102	株式会社デジタル・スパイス	耐水性を有するウエアラブルな小型尿流量率計の開発	
103	株式会社タンケンシールセーコウ	次世代要求に対応する非接触把持技術によるガラス浮上精度の高度化	
104	小林利製作所	旋盤加工および内径ホーニング工程の研磨技術向上によるプラットフォーム事業への対応	
105	イミー株式会社	特許技術「発芽コーヒー」量産体制構築による大手チェーンへの展開	
106	株式会社宮崎製本工業	紙折りの総合対応サービス開発事業	
107	白ほたる豆腐店	「白ほたる豆腐」の加工商品を製造するための加工技術の導入	
108	有限会社NAZCA	世界初の電磁波3次元可視化ロボット装置の開発	
109	株式会社松葉屋本店	生酒によるアジア新展開における衛生向上生産ライン構築事業	
110	有限会社吉田建材	ドローンを活用した生産プロセスの革新とIoT化による生産性向上と差別化の実現	
111	有限会社工房大倉	IoTトレーサビリティ性向上の為に計測システム開発	
112	株式会社カミジウパック	生産管理システムの再構築による材料廃棄ロス削減と業務効率化	Vol.4
113	株式会社矢崎製作所	航空機部品製造におけるIoTとロボットを活用した生産性向上及び品質管理強化事業	
114	岡谷熱処理工業株式会社	イノベティブ（革新的）コーティング技術開発による新たな高硬度・長寿命金属被覆膜の実用化	Vol.1
115	長野オートメーション株式会社	CNCターニングセンタ導入による自動化装置用部品の生産方式の改革	
116	株式会社エイム	精研削研磨装置導入による受注機会の拡大	
117	株式会社クエストコーポレーション	自社製可変ピッチプロペラ機構付無人航空機の量産プロセスの構築	
118	株式会社フジテック	橋梁長寿命化修繕計画に伴う効率的な計測技術導入と専門技術者の育成	
119	有限会社アオキビルド	大型鉄骨柱の製造において、溶接ロボットの導入によりコストダウンを実現する	
120	株式会社大原建設	未熟練者でも低コスト・短期間で施工可能な橋梁ジョイント工法	
121	ベストプラ株式会社	新素材に対応した破砕性能向上による自動車部品リサイクルへ進出	
122	株式会社NEXAS	航空宇宙関連金属部品加工の更なる進化、サーマルデパリング加工機の導入によるバリ取り自動化の実現	Vol.1
123	マテリス株式会社	3Dプリンター及び複合材料向け樹脂粉末量産技術の開発事業計画	
124	株式会社山崎屋木工製作所	高付加価値な木製防火ドアの新生産体制の確立と生産性30%向上	Vol.3
125	山京インテック株式会社	方位ガラスレンズに代わる金属レンズの日本初量産化事業	Vol.3
126	有限会社ティーズギター	3次元削り出し加工によるバイオリン構造の精密エレキギター（ホロウボディエレキギター）の試作開発	
127	株式会社寿精工	パワーLED向け超小型・複雑形状放熱板の開発	
128	肥後製作所	金属切削航空部品をプラスチック成形部品に置換する成形加工技術の開発	
129	株式会社オーシャンズ	世界最細線パネ加工とこれに対応した検査プロセスの革新的改善	
130	株式会社タイヨーエンジニア	3D測量技術の活用による生産性向上と新規顧客獲得を実現し受注拡大を図る。	
131	小口精工株式会社	超高精度曲面加工の実現による極小部品パーツフィードの高度生産体制構築	
132	伊那食品工業株式会社	業界初の寒天ゲルのシート剥がし自動化による生産性向上と寒天の高品質化	
133	有限会社プロス	未普及の粉殻ペレット量産開発計画	
134	株式会社ナカヤマ	医用機器高精度ユニット品製造に必要な高難度加工の実現に向けた加工条件の最適化	
135	株式会社やまへい	高機能りんご寒天ジュレの開発と最新設備導入、新商品供給体制確立	
136	佐久産業株式会社	高剛性タイプの綿棒太紙軸を製造する加工機の試作開発	
137	株式会社サトウシューズスタジオ	足の悩みを解決。オーダースューズ・インソール事業とギャラリー導入	
138	浅間エンジニアリング株式会社	横形マシニングセンタ・IoT稼働監視装置導入による生産性と加工能力向上	
139	堀金工業株式会社	溶接ロボット導入による建造物鉄骨製品の信頼性と技術高度化による生産効率の革新的向上	
140	有限会社エス・アイ工機	切削加工リスクを制御！ロボット用高精度マグネシウム合金部品の量産体制確立	
141	株式会社日商印刷	短納期・高品質・環境負荷低減を実現する新印刷機の開発・導入	
142	有限会社三井製作所	複雑形状の3D加工技術の開発及び設備導入	
143	有限会社宮島製本所	金属に代わり紙こよりを利用した製本製品の提供	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
144	有限会社アクシス	高精度対応による特殊プラモデル金型製造への進出	
145	三和ロボティクス株式会社	IoT活用による「多品種変量」部品加工の生産性革新事業	
146	有限会社前角製作所	高性能複合加工機と職人的技術の融合による航空機等新分野進出強化	
147	小池建設株式会社	3次元測量設計及び施工を主力とした自社内一貫ICT工事の提供	
148	有限会社中松井製作所	リール巻きリード線材加工の品質安定化を実現する生産体制の構築	
149	掛川木工	木製の福祉歩行器の試作開発	
150	不二越機械工業株式会社	超難加工材料の新規研磨プロセス(スマート研磨)の開発	Vol.4
151	ヤハタ精工株式会社	PPS樹脂材料へのLDS工法を確立させるためのレーザ加工量産体制構築	
152	有限会社マルイ産業	「熱圧着式置製造技術」導入による新サービス提供	
153	株式会社エスケー精工	5軸制御マシニングセンター導入による超精密高効率加工プロセスの確立	Vol.3
154	セラテックジャパン株式会社	高精度研磨装置の導入による薄厚基板の研磨プロセス改善	Vol.3
155	株式会社信生	旬の保存と商品化率向上による地場農産物の付加価値向上計画	
156	多摩川モータロニックス株式会社	エンコーダ用ガラスディスク加工におけるIoT化と自動化による加工技術の革新事業	
157	株式会社Aizaki	超音波振動援用による難削材研削加工技術及び無人運転技術の確立	
158	有限会社原製作所	航空宇宙産業参入へ向けた大型構造物高精度計測技術の開発	Vol.4
159	株式会社サンリエ	エコカー向け大径角度センサーコアの積層金型とロボット・IoT連動による生産性の向上	
160	株式会社アキュレイトシステムズ	コンパクトフォースセンサの生産ライン構築	
161	株式会社ぶらんつ	オリジナル青汁・スムージーの通信販売システムの構築	



好機逸すべからず 成果事例集 Vol.4

ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援事業（フォローアップ事業）
平成29年度補正ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金

発行 平成30年11月

編集・発行 長野県地域事務局
長野県中小企業団体中央会
〒380-0936 長野市中御所岡田131-10
TEL.026-228-1171 FAX.026-228-1184
URL.<http://www.alps.or.jp/>